満洲の展望

□□ 卷頭に □□

「大滿洲國」が創建された。その國のポスターに曰く、
「東北民衆の樂園は造成され、我等の光明來れり。」と、

なるほど舊軍閥の飽くなき搾取と、壓制極はまる暴政の下に久しく苦澁の離境に呻吟しつゝあつた滿蒙住民が、今やその陋弊から解放され、自由不羈の輝かしい新國家の誕生を迎へて、實にその感を深くすることであらう。

想へば數十年の昔、滿洲はたゞ雪や氷に閉されて、漠々曠々、不毛無益の地として、誰しもその輕浮の一瞥さへ與へなかつたものである。時偶、ロシア帝國が國勢の旺んなるに逸り、無謀にも東洋侵畧の野望をもつて、漸次、滿洲を經て朝鮮まで進出し來つたのである。

かくして我が日本國民にとり、終生忘れることの出來ない彼の日清、日露の兩大戰が勃發したのである。それは洵にわが皇國の一大試練であつた。幸ひ、我國は連捷して一躍世界にその名を成すと共に、從來等閑に附してゐた滿洲そのものが實に東洋平和の鍵を握るものであり、わが帝國の浮沈を決する生命線であることを知り、俄然重要視するに至つたのである。然し、同時に世界の各國も亦、滿洲に對する注意を怠らなかつた。乃ち期せずして永年埋れてゐた滿洲が一擧に世界論議の俎上にのぼり、東洋問題の中心となつたのである。

これは滿洲の位置が啻に我國の興隆にかゝる死活の要地であるといふよりも、一つに滿洲が持つ無盡藏の富源そのものゝ力によつてゐるのである。蓋し『ものゝ甘きにつく蟻』の如く、一度世に現はれたこの驚くべき滿洲の富源に對し誰しも目をふさぎ得なかつた。それは寧ろ當然とすべきであらう。

然るに我國の一般は未だ眞の滿洲を知つてゐない。たゞ滿洲と云へば寒いところだ位のことでその利害休戚に關心することの比較的少いのは頗る遺憾である。尤も今次の滿洲事變によつて、余程その見解が改められ、興味をもつものゝ多くなつたことは邦家のため大いに慶賀すべきであるが、いつまでも日清、日露當時の滿洲を想像し、徒らに雪や氷に閉された滿洲とのみ思ふことは甚だしい誤りである。

なるほど、滿洲は内地に比し寒いであらう。又荒涼たる平原は内地の箱庭式な風景に較べ、殺伐たるものがあるであらう。だが翻つて、寒氣には防寒の設備があれば充分でないか、或は寥々たる風景も、その大陸的な風貌によるものとすれば、小島國のせゝこましいものより、却つて雄大な天地の氣魄にうたれるではなからうか。

何しろ日本の本土、台灣、朝鮮、北海道をひきくるめて、その二倍半あるといふ茫大な滿洲である。その主要物產の石炭は撫順炭礦のみでも、十億噸の埋藏量を有し毎年一千萬噸づゝ採炭して行つて、裕に百年間の供給に足り、其他、煙台、本溪湖等の炭田もあつて、文明の原動力たる石炭は殆んど無盡藏と云つて好い程である。又豆油、豆粕として有力な大豆は現在年產三千萬石であるが、それでも世界全產額の約半額を占めてゐるのであつて、今後耕土の開拓と農民の增殖と相俟つて、その生產力は層一層增大するばかりであらう。鐵は鞍山站の鑛山だけでも、その鑛量二億噸と註せられ、毎年二百萬噸の割合で製煉して尙ほ百年間の供給力を有してゐるものである。

我國は日露戰役後巨額の資金を投資し、今ではその額二十億圓に達せんとしてゐる。併して諸般の事業を興し開拓機關の整備を圖つたのみならず敎育、道路、衞生等凡ゆる文化施設を完成し來つたので、滿洲の面目は一新した。例へば大連にしろ、奉天にしろ、又新京にしろ何れも我が國の大都市に劣らぬ面目を具へてゐる。殊に是等は一大平原に自由に建設された都市であるから、今更ら都市計畫の必要もなく眞に理想のまゝを實現せしめたものと云つて好い。

人口は日露戰後僅かに六、七百萬であつたものが今や既に三千萬を超え、中我が内地人は二十萬、朝鮮人は百萬を數へてゐる。貿易額は昭和四年七億五千五十萬海關兩で、ロシア進出當時の二十七年前に比し三十七倍の增加を示してゐる。然かも餘裕綽々として、人口の增加を歡迎し、天惠の生產力は更に更に促進されんことを望んでゐる。

この秋、徒らに肩摩轂擊の内地に惱みつゞけるより、須らく自由不羈の大陸に勇躍し、思ふさまわが大和民族の發展を示すべきでないか。それは延いて日本帝國の安固を計ることゝなるのみならず、實に東洋平和のためである。併して我等が勇士の曾つて、その尊き生命を擲ち、御國のために盡された素志にも報いる所以ともなるであらう。偶々、今次の滿洲事變によつて、舊來の陋弊は一掃され、我等の感慨も新たとなつた。將に機會は到來してゐる。

茲に於て今や滿洲は我等の興味をそゝること頻りである。願はくは試に本書を繙いて頂きたい。恐らく本書は滿洲の地を縱橫に描いて遺憾なきものと信じてゐる。殊に本書はその豐富なる材料を以つて精密詳細に、滿洲の姿を現はさんと努めたところに秘かな誇りを感じてゐるのである。

滿洲を知らんとする人々、特に滿洲を旅しつゝある人々のためには絶大の好伴侶として、或は將來好個の記念品として、よくその目的に副ふものと御賞讃頂くことを期待しつゝ、江湖の淸鑑に供する。

目次

◉満洲國地圖
◉満洲國々旗
高粱の原……1
一望無涯……2
大陸近し……3
大陸の門戸(大連)……4
放射の街(大連)……5
街々の粧ひ(大連)……6
美しき都(大連)……7
埠頭雜觀(大連)……8
大連所見(大連)……9
活動の都(大連)……10
大連スケッチ(大連)……11
星ケ浦公園(大連郊外)……12
勳は輝く……13
いさをしを語る(旅順)……14
苦戰のあと(旅順)……15
金洲附近(金洲)……16
風光る(熊岳城)……17
慈愛普く(熊岳城郊外)……18
娘々祭……19
營口と遼河(營口)……20
明けゆく峯々(千山)……21
くろねをふく(鞍山)……22
煙台など(煙台)……23
遼陽の街(遼陽)……24
白塔……25
湯の香漂ふ(湯崗子)……26
奉天停車場(奉天)……27
曠野の大路(奉天)……28
奉天の偉容(奉天)……29
美しき奉天(奉天)……30
城内スケッチ(奉天)……31
豪商の街(奉天)……32
史跡を訪ねて(奉天)……33
満洲事變を思ふ(奉天)……34
黄甍美しく(北陵)……35
陵は尊し(北陵)……36
奉山線に沿ひて
(打虎山、溝幇子、盤山、北鎭
錦州、胡蘆島、山海關)……37
熱河の邊り
(北票、朝陽、凌源、赤峰、承
德、古北口)……38
承德を訪ねて
(承德、承德離宮)……39
喇嘛寺院(熱河)……40
柴河の流れ(鐵嶺、開原)……41
北滿をめざして
(四平街、公主嶺)……42
首都のプロフイル(新京)……43
國都の偉觀(新京)……44
懐しき新京(新京)……45
松花江を溯る
(吉林、圖們、敦化)……46
國士は薫る(ハルビン)……47
北滿の大都(ハルビン)……48
春來りなば(松花江)……49
北滿深く
(綏化、海倫、通北、拜泉、克山、
泰安鎭、寧年鎭、拉哈、訥河)……50
興安嶺を越ゆ
(鄭家屯、洮南、昂々溪、齊々哈爾
札蘭屯、海拉爾、滿洲里)……51
蒼穹の下に(撫順)……52
地底に探る(撫順)……53
炭に榮ゆる(撫順)……54
安奉線を行く……55
楪鎹の街(本溪湖)……56
岩に題して(釣魚台)……57
國境の出湯
(五龍背、鳳凰城)……58
秀麗の峯(鳳凰山)……59
大江を渡る(鴨綠江)……60
國境第一驛(安東)……61
國境の街(安東)……62
安東素描(安東)……63
國境に跨る(安東)……64

―― 以上 ――

高粱の原

The Koryo fields

Koryo (a kind of maizu), the principal crop in Manchuria, is the steple food in the Nothern China. Besides, it is used for fodder and koryo-shu and its stalk is also used for fuel, building materials, bags foe sugar and a substitute for pulp.

The verdant fields of Koryo extend boundlessly, through which the train of the South Manchurian railway rushes and over which the passenger-plane flies between Dairen and Mukden.

高粱の原

滿蒙――も一度呼んで見よう。マンモウ、何と云ふ鈍重な、然も豐饒な響きだらう?そこに動かし難い巨大さを感じないか。

山を廻して、烏蘇里、豆滿、鴨綠江、それに長白山脈を境に、露領沿海州、朝鮮に連つてゐる東部、一望涯しなき大平原の蒙古を過ぎて、漸く興安嶺に遮られてゐる西部、亦黒龍江を隔て、露領黒龍州に隣する北部、黄海及び渤海に臨んで、その一部は萬里の長城を界して、支那と接壤する南部、この廣袤實に百二十四萬方粁、それは我國の二倍强に當るのだ。

そこには蒼い〳〵高粱の原が際涯なくつゞいてゐる。たわゝな實が一面に褐色の波をうたせてゐる。滿洲は高粱の原に明けて高粱の原に暮れる。

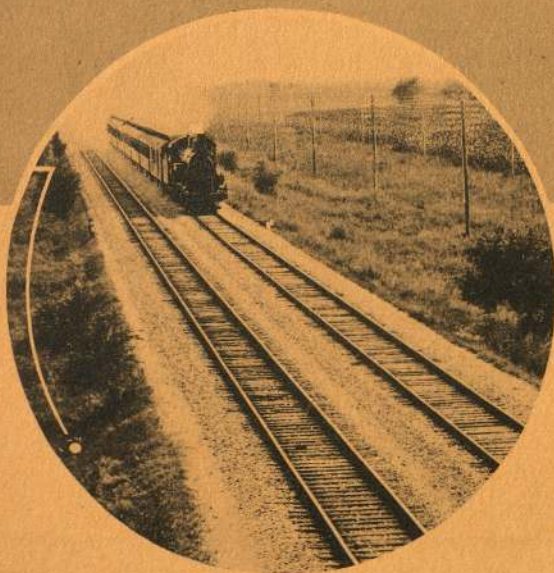
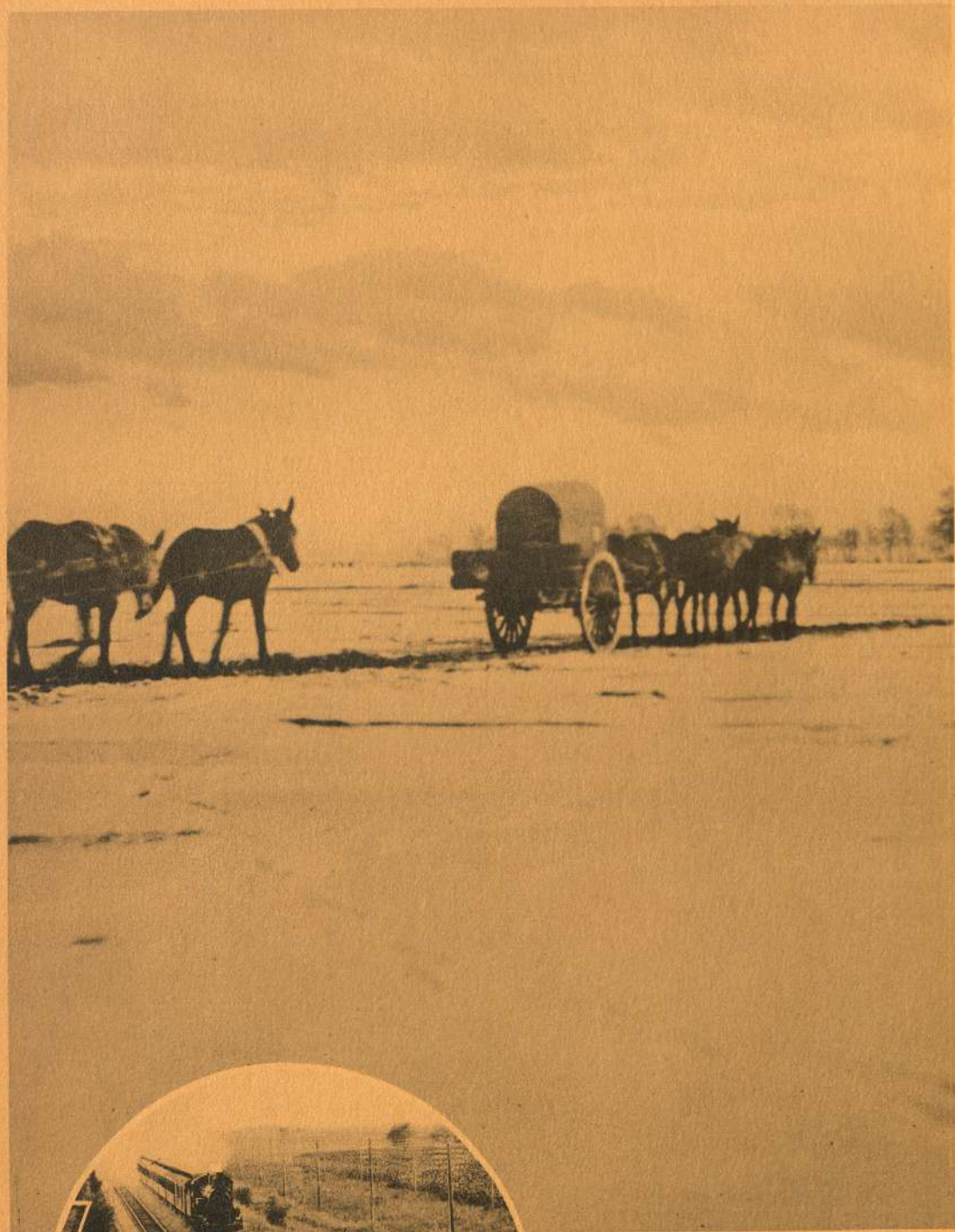
高粱は滿洲の代表的農作物である。我國の米と同じく北支那地方の主食料品である。だから其作付最も多く、年產額四千萬石に上ると云はれてゐる。食料の外に家畜の飼料、高粱酒の原料として用ひられ、更にその稈は燃料、建築材料、アンペラ製造材料となり、又製紙材料のパルプ代用にも供せられる。

この高粱の原を潜つて、土龍のように汽車が走つてゐる。南滿洲鐵道だ。又灰色の雲蟠る空を大連から京城へ旅客機が飛んでゐる。

鐵路に鳴る車輪の音、エンヂンの響、渺茫涯しなき空に輝く銀翼の亂舞!

みな勇しい開拓へ、發展への躍動でないか。

高粱の根を匍ふ一匹の百足　　芥川龍之助

高粱畑に日が落ちて
高粱畑に星が出る　　野口雨情

The boundless prospect.

This boundless prospect is the Gulf of Pechili from a hill in Manchuria.
There are gently sloping mouutains which have no woods.
Only, Korean pines and oaks grow here and there in the lower places.
So, it is no wonder that the railway, from Dairen to Herbin, never goes through a tunnel.

一望無涯

「お前、靑森から下關まで、幾つトンネルあるか數へたことがあるかィ?」

「ハハ………馬鹿もいゝ加減にしろよ。アノ太かいことあるトンネルを一々數へてゐられるかィ。」

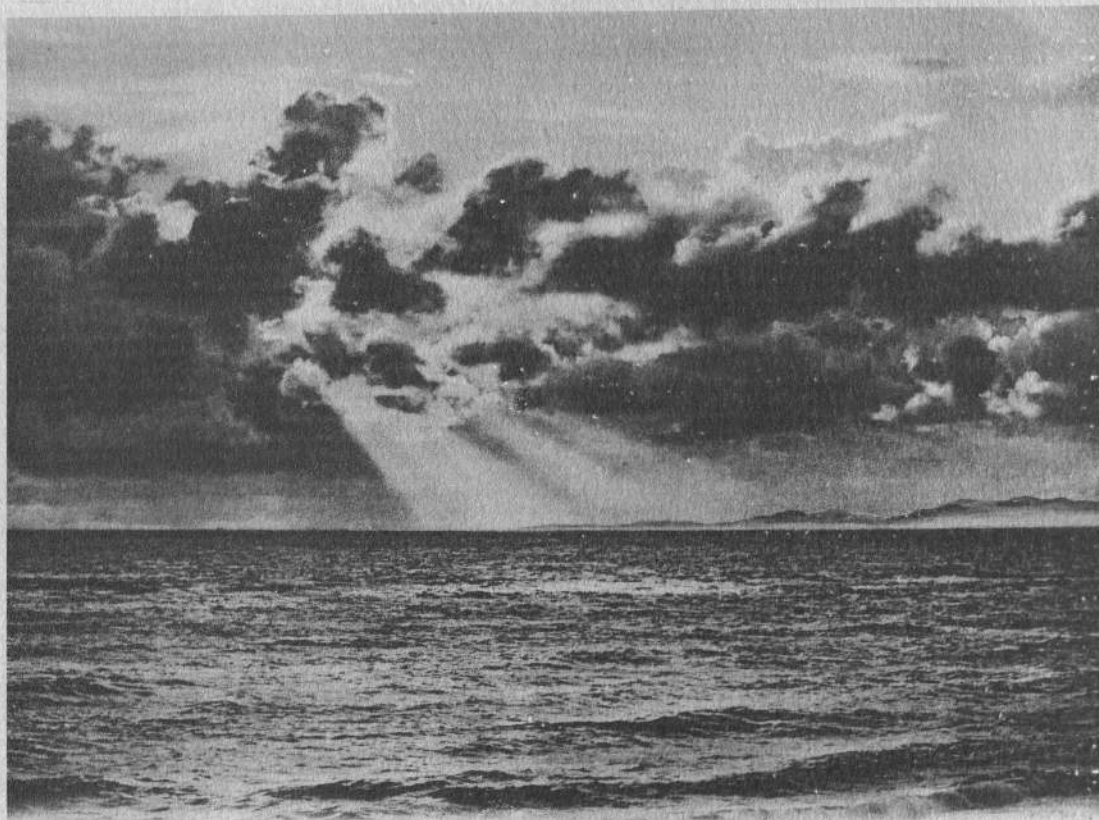
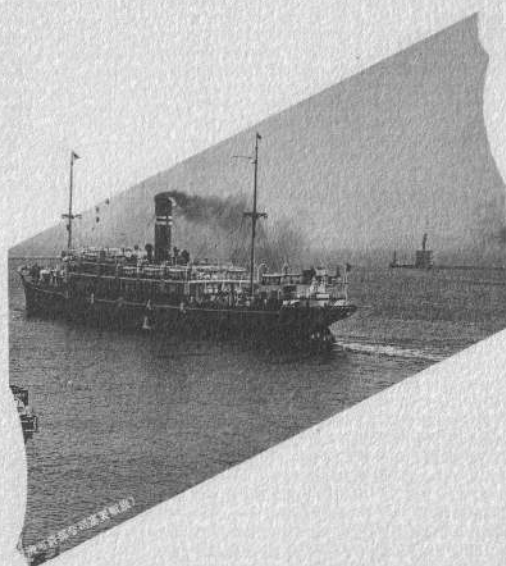
「だが滿洲ちゆう所はそれ位長い間トンネル一つなしで、ポッポと汽車が走つてるといふんだ。ナント剛氣なもんでねエか。全く數へる手間が省けるちゆうもんだョ。」

いつか聞いたこんな笑ひ話も思ひ出される、それは一望無涯の境である。見よ、なだらかな山の傾斜――そこには森らしい、林らしい木蔭は、見たくとも見られない。僅かに点々としてテウセンマツやナラ、カシハが生え、平地には楡の木が處々に見られる。そして楡の林の下には必ず村落がある。

向ふにボンヤリ霞んで、漸く視野から外れようとして、白く雲のように浮いてゐるのは渤海灣の水だ。アヽなんといふ遙けさであらう?悠久そのものゝ地の容姿を感じるでないか。

遠くの山は近づくと軈て丘となり、丘だと思へば、いつか高原となる。そしていつの間にやら峯を越えて、亦、彼方に新しく山を見るといふ。そんなになだらかな山が畝のように涯しなくつゞいてゐるのだ。何と云つても滿洲だ。滿洲ならではの景だ。箱庭のような日本の山水を眺めてゐた者には到底想像も及ばぬ大きさだ。

だからこそ、大連からハルピンまでトルネル一ツなくて走る鐵道があると云ふのだ。亦、それになんの不思議があるだらう?

野の遠にやがて名殘も見せぬまで、あわたゞしかりき冬の落日
太陽は地平はるかに匂ひ居れ野に立つひさに涙あらすな
（富田碎花）

大陸近し

一等船上

コロンブスがアメリカ大陸を發見せし、その時の心持ちも斯くやさばかり、船旅の長きに厭き、陸を見たる歡び、然かも島ならぬ大陸を見たる嬉しさ、そこはスペインの端にも、スカンヂナビヤ半島の果てにも續くものかさ、未だ辭かぬ前より、そこかしこの想ひ頻りさ湧き起り、大陸の雄大、大陸の豪放は、勃々たる魅力さ相成り、雀躍の胸に迫りて、船の歩みの故に遲れたるが如く、鶴首跂望、只管ら上陸の時を待ち憧れ申候…………。

The land is near!

When we see the faint blue line of the land in the horizon after the pleasant sea-voyage of Genkai, we are deeply impressed with the delicious throng of sensations which rush into our heart.

Besides, drewing toward the delighiful harbour entrance of Dairen, when we see near at hand the very long breakwater after two days from Moji, which surrounds its harbour of about 3,3000 are meter, we are more deeply impressed.

大陸近し

大陸！大陸！

門司を離れてこゝに二日、水、水、また水の中から憧れの地の影を見出した歡び。

「ソラ見えた。ソラ見えた。」

雪崩れを打つて出た甲板の上、人々は轉げるように嬉しさ一ッぱいに叫ぶ。

黃海の海は靜かだ。むくみ上つた雲間から、赤い〳〵夕陽が廣々とした海の所々に射してゐる。空は黃金色に、雲は赤紫に燒けてゐる。海は黃に、赤に、紫に、樣々な色を映して光つてゐる。そして船はひた走りに走る。

舳先に鳴る快い潮の音、艫に渦卷く美しい泡の群。

やがて山が見え、土が見え、港が見える。黃海の名に負ふ濁水は次第にその色を失つて、いつの間にか紺碧に澄んだ美しい潮がひた〳〵と船腹を洗つてゐる。

いよ〳〵近づいた大陸、そこには夢に見た高粱の原が限りなく擴がつてゐるのだ。又一望無涯のアノ山、丘、原がどんなに遙かな悠久さを見せてつゞいてゐることか。

「ボー、ボー」

汽笛が暮れ方の海の上をおほろかに響く。

見よ、一百萬坪の港面を劃する里餘の防波堤は指呼の間に迫つて、憧憬の大連港口を示してゐるでないか。

人々は甲板の手摺に蝟集して、足を鳴らしてゐる。眼は大陸を臨んで燃えてゐる。

——雨すぎて海の上の雲照る妙に大き株虹あらはれにけり（橋田東聲）

大連埠頭

（旅順要塞司令部許可濟）

東洋一といふ名ばかりでないことを證してゐる大連の埠頭は、かくして見たばかりで、その感を深くします。こんな立派な、大規模な埠頭は、他のどこの東亞に見出すことが出來るでせう？

埠頭待合所玄關

（旅順要塞司令部許可濟）

The Pier of Dairen

The harbour of Dairen, they say that it's the largest scale of harbours in the East, communicates in all the world as a free port which amounts to six hundred million yen in trade which five thousand vessels and ten million tons of commodities move prosperously a year. Indeed, it's well worth the pride as the grand entrance to the modern Manchuria.

There is a waiting house in which can take ten thousand men and which has the most splendid equipment and decoration of its interior and exterior.

大陸の門戸

港口に印せられた水雷除去の跡の文字も往時を偲ばれて今や東洋一を誇る大連港は一年五千隻の船舶、一千萬噸の貨物を呑吐して、貿易額六億圓に上る自由港として世界に發達し、將に近代滿洲の表玄關である。碧い潮にひたる遙か彼方の白い防波堤、その先には夜となれば紅と白の火をつけて、五粁半の遠くを照らす燈台がある。そこを船は靜かに通つて、二萬噸の巨船でさへ譯けなく横付けられるといふ埠頭に、ピッタリ寄添ひ、長旅の疲れを憩める。憧憬の大陸を踏む第一歩に誰しも心躍らせて、船から降り立つ大連埠頭の、なんと嬉しき心地よさよ。

美しく着飾つた出迎への人々に迎へられて、なつかしげに交はす微笑！快笑！暫時埠頭は人の波に渦巻かれ、非常な賑かさである。それが壯麗な埠頭待合所と相俟つて、此處ならでは見られぬ華かな盛況を呈する。一萬人を收容するてふ待合所は内外の施設裝飾共に東洋一の名に背かず立派なものである。その玄關には前の廣い街路からアカシヤの葉に香る微風がハタハタと訪れて、壯大な圓柱を訾める。靴、下駄、草履などの音が半月形の高い高い天井に谺して、波紋のように擴つてゐるコンクリートの幾階段から、絶えず人々は吸はれ、吐き出されて行くそれは確かに近代滿洲の表玄關を飾るに足るものだと思ふ。

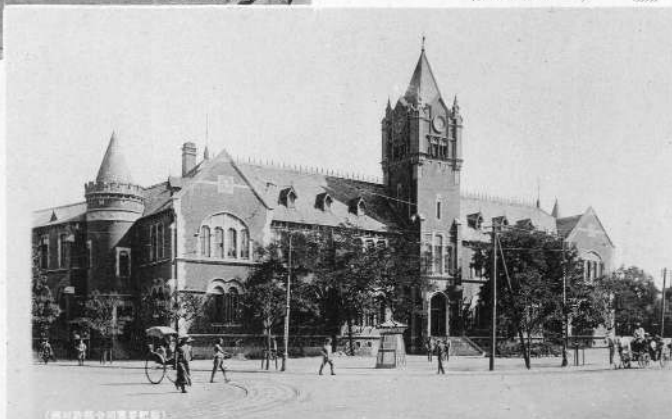
埠頭の大きな建物の上から一目に見下した大連港は、流石に私の心を惹いた。私はこの港と汽車と汽船との連絡に由つて、滿洲の野が、そこに藏されてある物資が、荒涼としてはゐるけれども何處かに大きな豐富なものを持つてゐる怪物が、日夜世界に向つて動きつゝあるさまを想像した。また、私はこの汽車と汽船との連絡によつて、世界の形勢がいかに不斷に此方に靡き寄つて來てゐるかを想像した。大きな埠頭に又は岸壁に無數に碇泊して、太い黄色い煙突から湧くやうな煤煙を漲しながら頻りに豆粕や大豆や油を積んでゐる汽船がボゥと汽笛をあたりに響かせて徐かに港を出て行くさまを私は想像した。私はぢつと深く眺め入らずにはゐられなかつた。（田山花袋）

大連大廣場

放射の街

大連市役所

大連警察署

ヤマトホテルミ大島閣下の銅像

The great square, Dairen.

The great square, about 360 are meter, is the centre of the Dairen city, where all the important offices, Yamato hotel, the police station, the city office, the civil administration station, the local colour, the communications bureau, the English consulate, etc. gather roundly.
There are a mile stone on the centre lawn-ground and the bronze statue of General Oshima, ex-Governor General of Kwantung, which towers high against the lawn-ground there.

放射の街

若し飛行機から俯瞰するなら、汽關車の車軸のやうに見える十條の放射路が、人口四十萬の街衢を幾何學的に整理して、先づ近代都市の面目を發揮する。それは露治時代から踏襲されたもの丈けに、ロシアの植民都市に多いパリー好みの街形である。

車軸の中心と見られる大廣場はまた大連市のセンターである。廣さ一萬八百余坪、そこにはヤマトホテルあり、警察署あり、市役所、地方法院、遞信局、英國領事館などがあつて、すべての樞要機關はこの一圓に集つてゐる。

そして中央の綠樹爽やかなローングランドは街行く人の疲れを休め、憩ひに喝いた人の心を癒やす。又夏なれば、宵闇せまる綠樹の蔭に、ヤマトホテルの屋上庭園からオーケストラの心よきメロディが靜かに洩れて、色艶やかな紅い電光に、そこはこよなき納涼場となる。

尙ほ中央の芝生の台には里程元標があり、それに向つて最初の關東都督子爵大島大將の銅像が儼然として屹立し、仰げば軍帽を戴く眼庇の下に、大將の眼は開けゆく大連の海を望んで喜ばしげに輝いてゐる。

ロシアは兎に角驚くべき計畫を實行したものだと云ふことが分ります。彼等はコンパスと鐵道を持つてやつて參ります。そうして大連やハルビンの町を作りました。今でも到る所のステーションに水入れタンクがずつと立つてゐます。このタンクは滿洲の風景を形造つてゐます。日本人は良く申しますと秩序と平和と云ふ風なものを持つて參りました。大連でも長春でも日本人はすばらしい道路を持つてゐます。併し日本人は鍬といふものを持つて參りません。民國人は犁を持つてやつて來ました。

（佐藤惣之助）

山縣通

浪速町

伊勢町

大山通

The main street, Dairen.

The principal main streets in the Dairen city are Naniwa-machi, Ise-machi, Yamagata-dori and and Oyama-dori. Naniwa-machi and Ise-machi, the commercial street, have full customers all the time and they are most prosperous. When we stroll through the streets, we are certainly charmed by beautifully-decorater show-windows of stores there.

Yamagata-dori and Oyama-dori are so lovely building street that, some time, a white beautiful lady's fase appear at a high window of a building to look at an automobile which is running away and she smiles lonesomely.

街の粧ひ

蒙古嵐に夕陽は燃える、戀し大連歩道を行けば、鈴懸アカシヤに砂が降る。

君よ、召しませロシヤ馬車に。

コツ、コツ、その蹄の音もなつかしく、マカダム舗装の滑らかな車道をロシヤ馬車が走る。綠葉繁き並木の蔭に辻待ちの車夫が佇んでゐる。そして街燈が二、三間毎に立並んでゐる。その根には花崗石を疊んだ側溝が雨水や汚水を流してゐる。又甃石を敷詰めた歩道の側に、大厦高屋が軒を並べて、西歐の都市さながらの美観を呈してゐる。

かうした街路全体の幅員は、特等四十五米四五余、一等以下六等まで、三十二米七二から五米四五まであるといふ。

大連の銀座、大連の丸の内、それは浪速町、伊勢町であり、山縣通り、大山通りである。晝夜買客の引も切らぬ商業街浪速町、伊勢町は最も殷賑を極め、美しく飾つたショウヰンドウは行きづりの人々の眼を蠱惑する。殊に電飾の眩ゆい光を浴びる夜の漫歩に歩道は人で溢れる中央廣場から出た山縣通りはずつと埠頭まで走り、同じく大山通りは大連驛へ走つてゐる。何れも十條の幹線道路中代表的道路であつて、そこに自らビルディング街を作つてゐる。ある時はビルディグの窓からツと覗いた白い顔が、ニツコリ笑つて消えて行く。そんなこともある果敢ない思ひのビルディング街である。

大連は滿洲の入口、はや寒からんと思ひし冬支度が、恰も四温の節に當つて、むしろ毎日汗染みる切なさ、公園のドライブにも

アカシヤの影趁ふ秋の早かな

と思はず呟かざるを得ず

（巖谷小波）

中央公園忠靈塔

美しき都

電氣遊園

日本橋

常盤橋附近

電氣遊園内

Noted places, Dairen.

The Monument to the Loyal Dead, on the hill in the Central Park, is dedicated to Japanese officers and soldiers who were killed in the neighbourhood of Dairen in the Russo-Japanese war.
The Electric Park is situated on the hill of Fushimidai where the best place for commanding the whole view of the city and its neighbouring.
Nippombashi is a land-bridge which is built at the cross with the street of Oyama-dori and railways in the station precincts of Dairen. Under the bridge is the station precincts which present a beautiful sight at night by illumination.
Tokiwabashi, a land-bridge, is the cross of electric-cars, leading to the Central Sguare, Nippombashi. Rokotan, Fushimidai, Shokoshi and the important points.

美しき都

忠靈塔　中央公園の丘上にあり、明治三十七、八年戰役に、蓋平以南大連附近で陣歿した皇軍將士の靈灰奉安所である。こゝに詣でゝ前景に展開する大連港市の活々した發展振りを望めば、そゞろ陣歿將士の偉大なる犧牲のほども偲ばれて、肅然襟を正し、感激の熱涙に咽ぶであらう。

電氣遊園　市の中央伏見台の一角、滿鐵會社の設立に係る。全市街を一眸に收め、灣を隔てゝ大和尚の連峯を望む形勝の地、園内には溫室、花園、植物園、圖書館、演藝館、スケーティングランド、ボーリングアレー、メリーゴーランド、喫茶店、支那料理店等あり、各種の娛樂機關備はる。特に樹木に代つて卓越せる電氣裝飾が遊客の目を樂しませ「電氣遊園」の名を辱しめぬ。

日本橋　南滿洲鐵道大連驛は市の東北部にあり、中央廣場より西北に通ずる大山通りのこれに交はるところ、陸橋を架したのがこの橋である。構造優美な鐵筋石造、十五萬余圓の工費と二ヶ年の日子を要して完成、橋下は大連驛構内で、夜間は數千の電飾に一層の美觀を呈する。

常盤橋　日本橋と同じく陸橋で、その附近は恰も大廣場、日本橋、老虎灘、伏見台、小崗子方面より達する電車の交叉点となり、瓦斯、電氣會社、市場、バス營業所等市民生活に必須な機關は蝟集して、市の重要な地点となつてゐる。又近代的施設たる連鎖街も有り此のあたり最も往來頻繁を極めてゐる。

滿洲一帶の地は實に我が國民の鮮血を以て購ひ得たる靈域である。今や此の靈域の草木は勇士の碧血に實のり、文明は先人の足迹に花さいて大連の港には危檣林の如く聳え、高粱の影には龍蛇雲煙を吐いて走り、茲に一大殷賑なる國民の新發展場を現出するに至つた。

（文學博士　幣原　坦）

大連港口
（關東要塞司令部許可濟）

埠頭船客待合室

出帆へ
（關東要塞司令部許可濟）

苦力の怪力

各國の船旗
（關東要塞司令部許可濟）

埠頭雜観

A tearful scene and a sweaty on the Pier.

When the steamer starts the pier of Dairen, five coloured tapes, thrown from the handrail on the deck, are snaped, and only left in hands of wayfarers and senders-off. It is a tearful scene, repeated on the pier, every time the liner leaves there.

Ships Fully loaded by sweaty coolies carrry some lumps of bean-calce, leave and reach very frequently here. It is a different scene full of work.

埠頭雜観

定期船出航間際の埠頭待合所はタヾ廣々として美しい柱と、窓と、壁は白く侘びしげに光つてゐる。人々はすつかりそこから埠頭ヴエランダに出てしまつたのである。船に乘る人は移動式跨線橋を渡つて行つた。見送りの人々はヴエランダから、又跨線橋の上まで群をなしてゐる。それは着船の時と同じような賑かさである。

「ボー、ボー」

汽笛は鳴つた。船は靜かに動き出さうとしてゐる。ヴエランダからも甲板の手摺からも投げられるサーベンター！たちまちの内に船は五色の綾に包まれる。船は動いて行く。テープは殘り惜しさうに切れる。ヂット見送る人の眼にモウ船は遙かだ。右左に燈台の立つた白い防波堤の端を外れようとしてゐる。そして行く人も、送る人も未だ握つてゐたテープの端を思出しては涙することであらう。

けれど貨物船は又別だ。豆粕かついだ苦力は汗にまみれて積荷する。大小の起重機は五十噸もの貨物を譯けなく持上げる。石炭積込機は電力裝置で一時間千八百噸の積込みをする。涙するには余りに激しく、忙しく、船は出ては入り、入つては出で、そして一年一千萬噸の貨物を呑吐するのだ。

かうした大連港の埠頭は、恰ら人生そのもの丶やうに、涙と汗のカクテルである。

大部分は裸体で働いてゐた苦力も、今は其名も華工と呼ばれ皆服裝を纏つてゐる。（教育家の目に映じた滿洲事情）

船橋をのぼらんとしてふと冬の潮のひかりをさびしめるかな

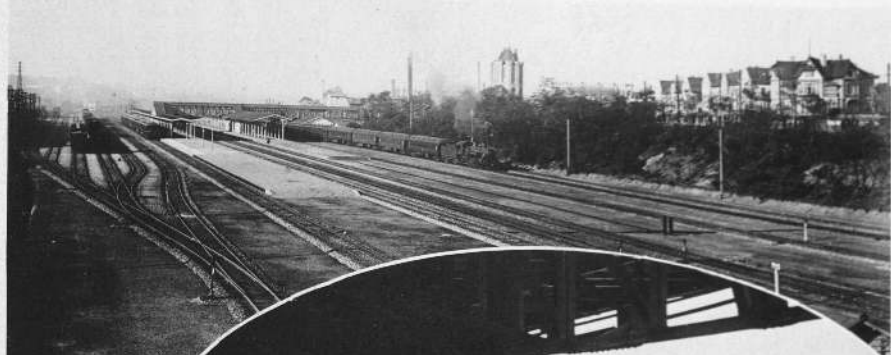
（土岐哀果）

大連醫院

天后宮

小崗子

大連停車場

大連グラウンド

Dairen Hospital, etc.

The Dairen Hospital is under the management of S. M. R. with respect to the large and the perfect accommodations, no other hospital can be compared with it in the East.
The China town in Dairen is not formed especially on account of Chinese who reside together with Japanese there. But great Chinese stores form a line in the whole depth of the commercial district in the city.
The Dairen Station, near Nippombashi in the noth-east of the city, is now a temporary to complete a full-dress before long.
The Great Ground, in the Central Park, is furnished with the track and the field surrounded by the great stand.

大連所見

大連醫院 中央大廣場のヤマトホテルと市役所の間を拔ける放射路を、プラタナスの並木に沿ふて行けば、突當りが滿鐵會社經營の大連醫院である。

東洋一の大病院として、大正十二年三月新築に着手し、三年の日子を要して竣工した。近世ローマネスク鐵筋コンクリート煉瓦幕壁張りの一大建築で、本舘は六層、その工費六百余萬圓總延坪一萬三千六百六十余坪、病床五百八十余を數へ、各科の施設悉く完備し、滿洲醫界のため絕大な貢獻をなしてゐる。

滿洲街 滿洲人は市の商工業地域で日本人と雜居してゐるので、特別な滿洲街といふものはないが、商業地域の奥町一帶には大きな滿洲人商賈が軒を並べてゐる。また小崗子には古雅で纖細な滿洲寺が、わが平安朝の昔を思はせるような床しさを見せて香煙絕ゆることなく善男善女が集つて居る。

大連驛 市の東北部日本橋の畔にあり、未だ假驛であるが、近く本驛を完成することゝなつてゐる。こゝから長春まで南滿洲鐵道本線(七百五粁八)が走つてゐる。それはもと露支共營であつた東支鐵道の一部であるが、日露戰役後わが國がロシアから讓受けたもので、五呎の廣軌式複線である。

大連動場 中央公園内にあり、トラック、フ井ールド共に備はり、大スタンドは之を圍み、メインスタンドには大鐵傘が空高く聳えてゐる。

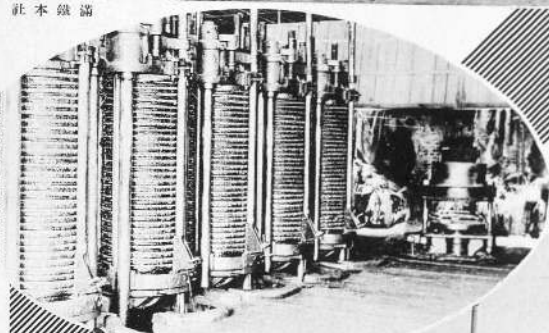
小生は大連を見る每に實に快感を禁ぜず、その規模の雄大なるわが帝國中唯一無二なり、關東州の將來は商工にあり、大連の地位は之を兼併せり。 (大谷光瑞)

滿鐵本社

大豆の輸出

油房工場の一部

重要物産取引所

滿鐵埠頭事務所

埠頭野積場

ジャンクの群集

The developed city, Dairen.

A trivial fishing-village named Chinniewa in former times, being completed all the civilized institution, has gotten now the civilized city in the world, and the population has increased some tenfold, and the trade amount has swollen some centuple or some thousandfold.

It has grown so during twenty years, and it is still growing more and more.

This expansion is in consequence of unflincing activity which continues now and old there.

活動の都

その昔、青泥窪(チンニーワ)と云つた一漁村が一切の文明的施設を施し、今や世界に誇る文化都市となつた。そして人口は幾十倍となり、貿易額は幾百千倍となつた。それは僅か二十年間のことである。然かも尚ほ膨脹に膨脹をつゞけて行かうとする大連、そこには今も昔も賑々として打續く絶えざる活動がある。

八億圓の資本金を有する南滿洲鐵道株式會社は「滿鐵」(S・M・R)の畧稱で天下に響き、滿鮮地方のわが鐵道を經營する外、鑛業、製鐵、海運、港灣、教育、衛生等を兼營して、滿洲の發展に資する活動の一大根源をなしてゐる。

年産三十七、八百萬石の大豆は世界全産額の六割を占め、大豆として、又油として海外に輸出され、滿洲貿易の最重要品である。その油を大豆から搾取する工場を油房と云ひ、滿洲發展の上に見逃せない活動の一資源となつてゐる。

大連重要物産取引所が大豆取引の圓滿を期して、滿洲經濟界に寄與するところ、亦活動の一資源となる。

埠頭事務所のもとにあつて、大豆出廻期には六萬五千坪の廣い〳〵構内に廿六萬噸まで、寡雨を幸ひ野天に貨物を保管することの出來る野積場は、之亦大なる活動の一資源である。

ある油房では私はエンジンの廻轉する凄じい光景の中を通つて、大豆の山を踏んで、光線の薄暗ひ無氣味のところへと行つた。私はそこに、熱い湯氣の白く漲つてゐる中に、大きな圓体をした支那の勞働者が、丸裸で一枚の截物をも前に着けずに、うだつた大豆の袋を運んで來て、それを丸いせいろに入れて油を搾める機械へと挿んで行つてゐるのを目にした。………

「あれで不思議ですよ、女に見られるのを嫌ひましてね、異性がひとりでも入つて來ると此の仕事を放つたらかして逃げて了ひますからね………」

………………

「あべこべに、女の裸体なら、野郎は喜ぶでせうね——」

一緒に行つた人はこんなことを云つて笑つた。

(田山花袋)

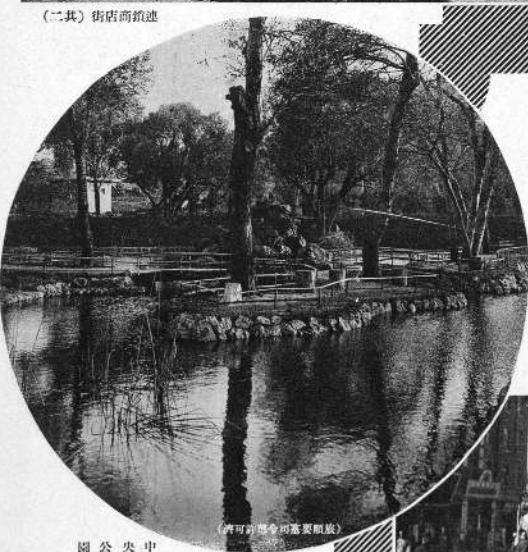
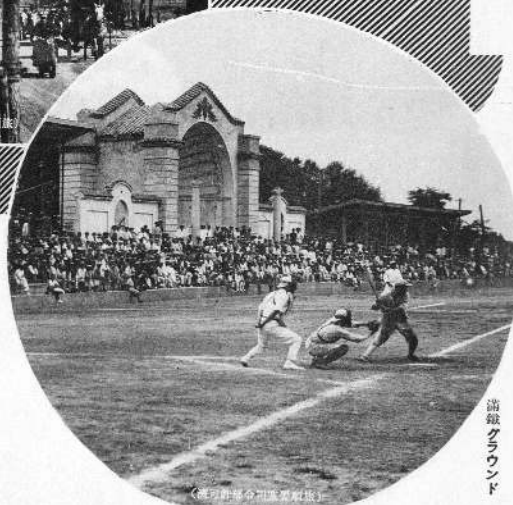
連鎖商店街（其一）

大連スケッチ

連鎖商店街（其二）

滿鐵グラウンド

中央公園

滿洲人の行列

Here and there in the city.

The Chain-store Street, where is worthly of the name of Modern city, is a new interesting place in Dairen.

Bothside of the shop-street are lined with two hundred special shops of every kind which are organized in one systematic form.

The Centrel Park. the widest in the city, is extend to south west from Tokiwa bridge which is built in the centre of the city, with the place of about one million meter square.

It is a park which we feel calm and peaceful there by natural beauty and luxuriant trees.

大連スケッチ

連鎖商店街　百貨店の街、いや街そのものが百貨店だ。二百有余の各種專門商店が協同して一ツの統一ある体制と形式の下に整然とした商店街をつくつてゐる。あの三越や白木屋など所謂エレベーター式高層式なのに反して、總べて平面的に出來上つた百貨店である。

「何と云つても大陸だネ、そして滿洲だネ。どこにも屋上屋を架するあのデバートの狹苦しさを感じないヨ。かうして心置きなく歩いて行けるのが一等嬉しいぢやないか。」

「ほんとうですワ、連なつたお店がその儘百貨店の陳列台だなんて、全く素的ヨ。それで銀ブラ氣分タップリですからネ?」

彼氏と彼女の輕やかなステップ。飾窓を覗いて、かく朗かに語る。

そこは將に大連の誇るべき新名所である。尙ほ此處には映畵殿堂や兒童遊園、大浴場、支那料理店等、諸設備遺憾なく整へられてゐる。

中央公園　市の中央常盤橋以西から以南に伸び、南には南山の小松林の丘を負ふ。面積五十萬坪、市內公園中で最も廣い。天然の地の利を巧みに用ひ、樹木鬱蒼と茂り、幽邃閑寂な公園である。園內には忠靈塔、野球場、庭球場、大運動場、射的場、馬場、音樂堂、保健浴場等があり、又旗亭、休憩所もあつて、四季の草花の美しい眺めと共に、旅人の疲れを慰めるに充分である。

滿洲人行列　大連の街でふと出逢ふ滿洲人の行列、なんとも知れぬ滿洲特有の騷々しい音樂そして異樣な裝飾、それが街を練つて進んで行く。初めて見た眼には尠からぬ驚きを感ずる。

燉い夏の日を受けて、瑞々しい若葉の枝もたたわゝに咲いたアカシヤの花、その香に包まれた大連の市街は、殖民都市としての動しがたい根深い基礎と國際都市として欣賞すべき淸新な元氣の潑溂さとを有つてゐる。雨の少ない上に手入れの行き屆いたタール・マカダムの鏡のやうな道路を挾んで、大小六個の廣場から、蜘蛛の巢形の放射線に、競ひ立つ大厦高樓、私は東洋に於ける大埠頭都市に較べて、上海にはこの整美がなく、香港にはこの淸新がなく、新嘉坡にはこの高閑がない。

「滿鮮趣味の旅」より

Clear sea-sides.

The Hoshi-ga-Ura Park is five miles south-west of the Dairen city and there is the electric car service from the city to this place.

The scenery, facing the sea to south, is very beautiful.

The statue of Viscount Goto, the First Governor of S. M. R., towers high on a hill there.

The Rokotan, at a distance of about two miles from the Dairen city, is famous for its beautiful scenery as well as the Hoshi-ga-Ura Park in the suburbs of the city.

星ヶ浦公園

星ヶ浦 なんといふ優しい名であらう。暮れて行く黄海の波濤に、鷗睡むる島蔭浮び、早くも空にかゝる星一ッ二ッ。漁帆絶えて潮風徐ろに、薄闇迫る白き砂濱に、小松茂る濃綠の丘に吹く。

それは滿洲唯一の海邊遊園地であり、相州の鎌倉、逗子に比すべき避暑地である。

大連市から電車の便あつて西南へ二里余、北に大連富士の緩かな傾斜を負ひ、南に海を抱いて、その境域十余万坪に亘る。海濱に沿ふ松林の中には貸別荘あり、ゴルフリンク、海水浴場等完備し、内外人の淸遊するもの四時殆んど絶えないといふ。

そこには第一次滿鐵總裁後藤新平伯の銅像が雄大な黄海の景を望む丘の上に立ち、又海波靜かに寄する砂濱近く滿鐵經營のヤマトホテルがある。

老虎灘 大連市外南一里余、電車の便あり、星ヶ浦と並稱の景勝地。星ヶ浦を曲線の名勝とすれば、此處は直線の奇勝で白波岩礁の美を誇る。

邊は松樹の翠滴る山岳重疊としてゐるが、決して視野を壓する程でなく、前方に開けた岩峡から海水深く灣入し、煙波浩蕩として遠く白帆の去來するのを眺めることが出來る。乃ち西の方海中に突出した一大岬角が恰も老虎の空に嘯くに似てこの名がある。

或は舟を浮べて釣魚を樂しみ、岩を傳つて魚貝を漁る。又旗亭茶寮に凉風を入れ、潮を浴びて炎暑を忘れる。それは老虎灘の持つ、夏の滿洲の魅力である。尙ほこゝの磐狀硅岩の「リッブルマーク」は學術上著名である。

それは碧い美しい鏡のやうな海であつた、波といふものは殆んどないと云つても好いくらゐで、船は少しの動搖だも感ぜず、老虎灘や星ヶ浦の山と島とを前にして靜かに航行した。　（田山花袋）

旅順 白玉山頂表忠塔

勳は輝く

The Monument to the Loyal Dead at Port Arthur.

On the summit of the mountain of Hakugyokusan where is more than 100 meters above the sea-level a white tower rises to the sky with a cylindrical form of ferroconcrete, and it is about 218 feet high.

This is the monument which was originated to build there by General Nogi and Admiral Togo for the loyal and brave dead of Japanese officeres and soldiers who were killed in the attack of Port Arthur in the Russo-Japanese war.

勳は輝く

海拔百余米の白玉山頂に、聳立する白塔、それは圓筒形鐵筋コンクリート高さ六十六米余、明治卅七、八年戰役に際し、旅順攻圍軍に參加して戰歿した將士一萬八千九百四十人の英靈を千載に傳へん爲め、乃木、東郷兩將軍の發起して建てた「表忠塔」である。塔内には鐵製の螺旋形階段九層及び直線階段一層あり、それを經て塔頂に昇ることが出來る。

旅順の市街はこの白塔を狹んで左右に新舊兩市街を作つてゐる。その舊市街は東部を占め旅順東港に面し、市役所、防備隊、民政署等あり、一般に商店街、產業街である。又新市街は旅順西港に面し、西部一帶を占め、官衙、學校街である。

廣瀨中佐の閉塞隊のこと等思ひ出される旅順港は、黃金山と老虎尾半島の間一握の地峽を開いて、港口を作り、灣入してゐる。今は南滿四港の一として重要な開港場である。

是等は表忠塔頂上から手に取る如く眺められ、更に北視すれば東鷄冠山、二龍山、松樹山、二百三高地等、當時の要害を望み得られ、肉彈血雨、決死の諸勇士が惡戰苦鬪した慘憺のほども思はれて、今は昔となつた日露戰爭、殊に幾多の悲しきローマンスを生んだ旅順港の激戰が想ひ新しく胸に湧く。

况して表忠塔に用ひた石は、すべて閉塞船に積込んだ石材であると云ふに、一層感激の緊切なのを覺える。

旅順は鶉の名所、その盛んに群る時は、手網をもつて尙ほ捕ふべしさや

朝風や追はれ鶉の横ッ飛び　巖谷小波

二龍山堡壘

坑道内

爾靈山頂記念碑

いさをしを語る

水師營會見所

東鷄冠山北堡壘

水師營會見所碑文

The place of the Russo-Japanese War, Port Arthur.

Popla in the days of Russia and pine in Japan grow abundan'ly over the 2o3 hill, Tokeikwanzan, Bodai, Niryuzan, etc. now. However a very large number of Japanese officeres and soldiers were killed to capture these places in the war. At that time there were piled up their dead bodies so high as a mountain, and their blood run in streams there.

The village of Shuishihyin is famous for the place of the interview of General Nogi, Commander of the besieging army and Russian Lieutenant General Steesel.

いさをしを語る

ロシアの置土産だといふ輕快な幌馬車に乗つて、碧い靜かな旅順の海に沿ひ、戰蹟へと走る山裾には桃と杏と櫻が、紅白の花をつけて、民家の部落を点粧してゐる。その昔、赤禿山だつたといふ二百三高地、東鷄冠山、望台、二龍山等には、ロシア時代から日本時代へかけての松樹が今は段々と繁茂してゐる。

「迚ても好い所ネ。旅順の街が一目ですワ。」

「だから日本軍は必死になつて奪つたんだョ。それだけに敵軍は又必死になつて守つたんだからネ。こゝまで來るのにどんなに惱んだか知れないと思ふョ。」

爾靈山(二百三高地)上に立つて両人は語つた。側から案内人が

「日本軍三回に亘る總攻擊には約一万の傷死者が出來ました。」

と說明するのも、成る程と肯づかれた。

二龍山堡壘は永久堡壘で備砲數最も多く、我軍前進部隊が地中に生埋めとなつた慘史もあつて、占領の時生殘つた敵兵僅か三名だつたと云ふ。

水師營では明治三十八年一月五日旅順開城に際し、乃木大將とステッセル中將が會見した。向つて左室は日本軍、右室は露軍の控室。「庭に一本棗の木」は今も尚ほ綠濃に榮えてゐる。露將コンドラチエンコが軍議中、二十八珊榴砲のため戰死した東鷄冠山北砲壘は旅順背面の砲台中最も頑强であつた。

泣かずして旅順の山を踏みがたしこぼるゝ砂もむせぶこゑする　與謝野寛

十萬の戰骨かほる菊の花　大町桂月

我が軍の士氣は非常に沮喪した。日本軍が二百三高地で活潑に働いてゐるのが明かに看取することが出來た。彼等は、其の山上に大砲を据ゑた。我が軍は誰れも手を束ねて砲擊しない。初めの内は屢々一砲臺より他の砲臺に向つて、相呼應して二百三高地を砲擊して日本人の作業を妨げやうと提議したが、誰も砲擊を開始しようとせず、又誰しも困憊して最早砲擊する事を好まなかつたのである。………

「チョッこんなに多額の犧牲を拂つて最早回復がつかぬ！」とは甲乙一様の呟きである。

（露國士官レインガード）

松樹山堡壘

東鷄冠山北堡壘掩蔽部

苦戰のあと

爾靈山頂

東鷄冠山北堡壘

大案子山堡壘

The place of the hard fight, Port Arthur.

We can scarcely find harder in the battle-history of the world than the violent besieging-fight of the batterie at Port Arthur, during about half a year from the attack to Kenzan on June 26th, 1904, to the occupation of Tokeikwanzan and Bodai on January 1 st, 1905.

In that fight, about 20 thousand brave Japanese soldiers were killed as a human-ballet.

苦戰のあと

崩れかゝつた堅固な堡壘、今尚ほ頑として動かぬ掩蔽壕、砲火に燒拂はれた山頂、美しく築かれた掩蔽壕の外廓、嘗つては碧血に色どられ、死屍埋れて未だ草さへ生えぬ山と塹壕。——如何にその戰の激しかつたか、如何にその爭ひの苦難であつたか、今こゝに其跡の何れにも涙なくして見ることが出來ぬ。

明治三十七年六月二十六日劍山の攻撃を始めてから、約半歳、翌三十八年一月一日東鷄冠山及び望台占領をもつて終る旅順砲台攻撃の激戰は、世界戰史上稀れに見る惡戰苦鬪であつた。

わが勇敢なる兵士の肉彈として飛ぶこと約二万。四ヶ師團、二ヶ旅團の發射彈數火砲約三百万發、銃彈約千三百万發である。

或時は漸く日章旗を立てゝ後、再び擊退され、又突擊して占領するを優勢な逆襲に惜しくも退却、或時は猛烈な機關銃に掃蕩されて全滅し、又或時は土囊對壕の積進に敵火を蒙り失敗する等、その苦戰の樣は到底筆紙に盡されない。

けれども勇敢にして執拗、頑固なわが軍のあらゆる策畧は、辛じて功を奏して行つた。危險な火藥庫の爆破や、堡壘の破壞に、敵兵自ら退却し、又全滅し、降服したのである。そして今苦戰の跡として見る靜かな旅順砲台には、其時も同じ赤い夕陽が射してゐる。

乃木中尉は腹を射貫かれた。その體がかつがれて閻家樓さいふ村の野戰病院へ行つた。

天幕の一すみに横たへられた中尉のそばに、軍醫たちが集つて、手術するかどうかを評定した。併し、もうどうすることも出來なかつた。

……………

翌くる日保典少尉が來た。そして死体のそばに默したまゝ立つた。

「兄さんのあさを追つて行きます。」さ誓つたであらう。

櫻井忠溫)

大和尚山

金州城門

南山戰蹟記念碑

地獄極樂

金州附近

Chinchau and the neighbourhood.

Chinchau is the old town which has ever been prosperous as the capital of Ryoto, and it is the most clear China town in Manchuria.

The mountain of Nanzan, in the neighbourhood of Chinchau, is famous for the violent fight in the Russo-Japanese War, and the monument to the loyal dead rises on the summit.

The Gokurakuji temple, Chinchau, is visited by spectators for the Jigoku-gokuraku (the Hell and the Paladise) in this temple. Especially it is flourishing on the festival on March 18th of lunar month every year.

金州附近

金州は遼東の首都として古くから繁榮した街で、滿洲中最も井然とした滿洲街である。街には滿洲各都城に見る方形の金州城があり、それには四ツの門がある。新市街よりすれば南門に至る、その門の入口には駄菓子、果物等を並べた店があつたり、二頭立ての馬車が出て來たり四門のうち最も交通頻繁である。東西兩門には南山攻擊に際し夜間奇襲を試みた戰の痕があるそれほど日露の役には乃木軍の奮戰した地である。

山川草木轉荒凉　十里風醒し新戰場　征馬不進人語らず　金州城外斜陽に立つ

かうした乃木將軍の陣中詠吟、亦當時を髣髴たらしめるではないか。

金州驛から馬車を驅つて大和尚山に登れば、一望に開ける高粱の原、そして彼方に碧い〳〵渤海の海が擴つてゐる。それは滿洲色豊かな美しい眺めである。だから最近散策地として持囃され、大連邊りから續々遊客が詰掛ける。山中には朝陽寺、万鼓寺、唐王殿、響水寺、觀音閣等がある。

南山は日露戰役の有名な激戰地で、山頂には記念碑が立つてゐる。こゝからは大和尚山が右に連らなつて見え、遙か金州城を望んで、ひろ〳〵と展開された野に激戰の跡を顧みられる。

金州極樂寺は寺内の地獄極樂により、訪れるものが多い。殊に每年陰曆三月十八日の緣日は賑かである。それは東西廡に冥府の十王を始め、勸善懲惡の奇異な塑像が安置され、來世應報の苦樂を語つてゐるのである。

柿賣るや金洲城の大通り　　高濱虚子

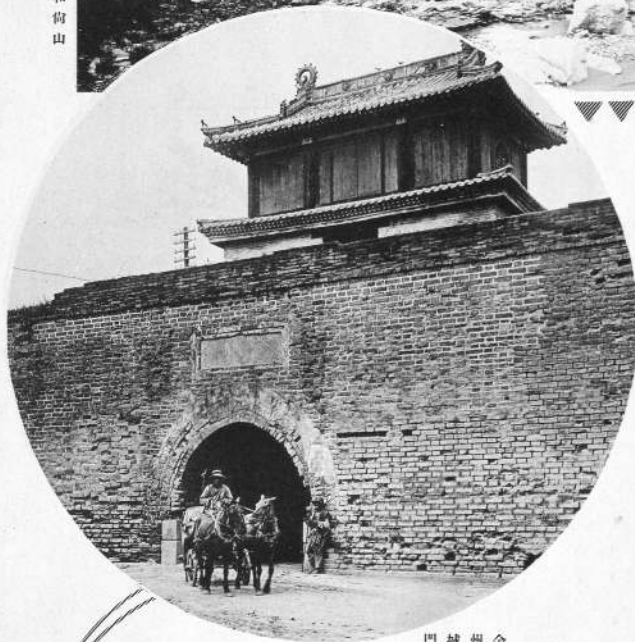
或日驢馬を傭つて和尙山の麓邊を駈け廻つたことがあるが、途中此驢馬君牝馬を見るとヒン〳〵と嘶いて立辨慶するので、業を煮やすと、別當の小孤子の云草が面白い「このロバは近頃サイコ〳〵しないからじや」と、サイコ〳〵は日露戰爭後、北淸一帶に通用した言葉で、性交の意味がある。この言葉の起りは我兵が晩方が來ると「サー往かう〳〵」と同僚を誘つて出かけるので、是を耳にする吞込みの早い支那人は男女媾會の意味に解して通用し出したものだと謂はれてゐる。

（支那土俗下司話）

風光る

望海寺

温泉郊外 松遊園

特産リンゴ梨

熊岳城温泉 砂湯

The suburbs of Hsiungyocheng.

The Hot-springs, in Hsiungyocheng, gushes out everywhere on the sandy bank of the River Hsiungyocheng.

This hot-water is transparent, alkaline and it is good for rheumatism, nervous debelity, scrofula, hemorrhoids, etc.

The Bokaiji, in the suburb of Hsiungyocheng, is the old temple which is on the top of Mt. Kampo (or Seiryo).

There are moss-grown huge rocks on which old pine-trees grow wondrously in a coiled form of a dragon.

We can obtain a very beautiful view from this point.

風光る

林檎と紅梨（フランシー）――殊に紅梨の靜かな香りと、サク〳〵した味ひ、それは熊岳城に來て始めて親しめる嬉しさである。

秋の夕、疲れた旅の憩ひを砂湯に慰して、ホッとりした頃、樂々と足を延ばして紅梨を食する歡び！ほんとうに紅梨はなつかしい果物である。しみ〴〵旅の秋を思はせる果物である。

熊岳城はこの紅梨と林檎と温泉で旅人の足を止める。

温泉は熊岳河の河床を掘れば隨所に湧出するので、最近河中に近代的な浴舍を建てゝゐる。又その溫湯をプールにも引いてゐる。湯はアルカリ性無色で、リユーチマス、神經衰弱、腺病、痔疾等に効く、附近の綠樹生並ぶ中に、熊岳河潺々と流れ、岸近く砂湯に浸る女、子供、中には肉体美裕かなロシア婦人も見える。それは滿洲の珍らしい溫泉風景である。

尙ほ熊岳城郊外には觀寳山（俗に青龍山と呼ぶ）があり、その頂上に望海寺がある。そこは蒼苔巖を覆ひ、老松巨龍の如く蟠踞し、滾々として汲めども盡きぬ神聖の井があり、全く仙境そのものと云つてよい。又山上から脚下の平野を隔てゝ遙かに渺茫たる渤海の碧波を望むことが出來、山中には幽暗鬼土の喇嘛洞その他將軍石、羅漢峯等あつて奇勝と絶景に滿ちてゐる。

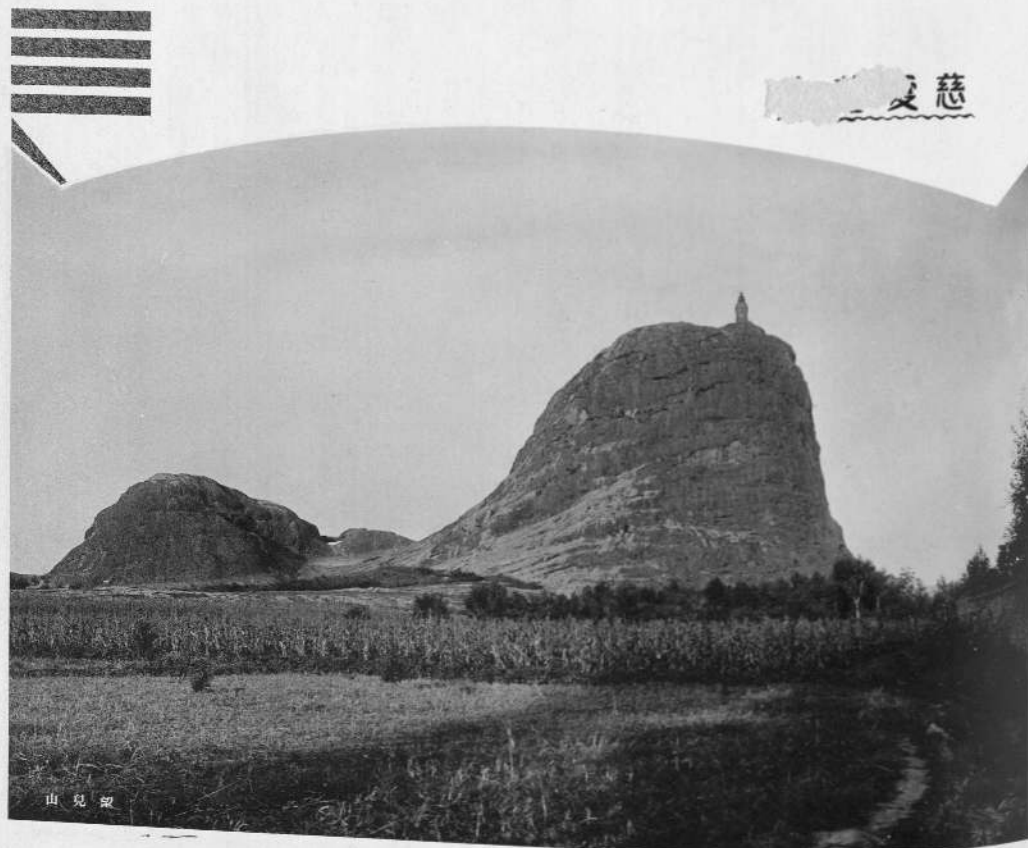
おしまひの女も立つて往つた砂湯の西日　河東碧梧桐

黍遠し河原の風呂へかち渡る　夏目漱石

熊岳城外を行く幌馬車

城は目近し

慈愛

望兒山

The Bojisan, Hsiungyocheng

There is a hill rising alone in the vast Koryan-field of the suburbs of Hsiungyocheng. It is called the Bojisan (or Boshozan) on which a solitary tower stands. A sorrowful legend, preaching of the heart of parents for their child, left there. Once, according to it, a widow longed for her son on the hill, who never retuerened from the capital as he went up there and she writhed herself to death there at last. So the name of Bojisan is due to it.

城は目近し●慈愛普く

赤い夕陽が荒凉たる野の果てに沈もうとしてゐる。空も地も皆晒色に染つて終つた。靜かに水を湛へ、緩やかに流れてゐる熊岳河を、今しも一匹の驢馬に牽かせた幌馬車が一日の働きを終へて、街を指して歸つて行く。城は目近かに、街は直ぐそこだ。車の輪にせゝらぐ水の音、驢馬は耳を振り〳〵水を踏んで渡る。

暮れ方の微風が川面を辷つて幌馬車の前庇をハタ〳〵搖る。馬子は手綱を弛めて、ボンヤリ家のことを想つてゐる。ゆるい陽射しがカタ〳〵廻はる濡れた輪に佗しく光つてゐる。

「ア、滿州獨特の景だ。」

さう思はずにゐられない、それを眺めた旅人の心である。そして熊岳城郊外のローマンチックな、その情景をいつまでも忘れないであらう。

それから高粱の原つゞく中に、獨り立つ一孤丘がある。望兒山(一名望小山とも云ふ)と云ひ丘山に一孤塔がある。昔この地に一人の寡婦があつて、或時その子が渤海を渡つて京に上つたが、その儘幾年經つても歸つて來ないので、寡婦は日夜その子を想つて心を痛め、寸時も忘れることが出來なかつた。遂ひに此の丘に登つて遠く渤海の海を望みながら、子の名を呼びつゞけ、到々悶死して終つたといふ、子を思ふ親心の哀れさを傳へる悲話がある。望兒山の名はこの傳說に生れたものである。

熊岳城驛の東方に突兀たる兜形の岩山が目に就く、望小山といふ上に大きな石佛が立つてゐる。海に浮んで歸らぬ息子を慕うて此の山上から歸帆を待ち兼ねた母親が遂にこゝで悶死したといふ望夫石もどきの傳說のある所。其の山名なり、位置なり、山形なりから起りさうな話である。　(文學博士　喜田貞吉)

娘々祭

The Nyannyan Festival

The Nyannyan festival celebrated from May 16th to 19th of the lunar month every year, is the largest in Manchuria.
It is said that girls and lads dangling after girls crowd there from far and near districts at those days, and they are reckoned by more than a hundred thousand.
The Nyannyan-byo-temple on the mountain of Myochinsan, which has this festival, enskrins three godesses for a blessing, a cure-eye-disease and an easy delivery, and it is believed to give them a good wedding knot.

娘々祭

毎年陰暦五月十六日から十九日までの間に催される娘々祭（ニャンニャンサイ）、それは滿洲唯一の大祭典で、當日遠近から集る年若い娘、そしてそれらの娘を慕ふ若衆が十萬余に上ると云ふ。

「楡の若葉の風薫る、窓に衣縫ふ小娘が、針の手しばし憩めつゝ
指折りて見ぬ幾日にて、娘々祭來るかと」　（滿洲唱歌より）

それほど娘達は祭の日を待兼ねてゐる。そして祭の日ともなれば、新調羅の晴衣に美しく粧ひして、「迷鎭山娘々廟」に續々お詣りする。

そこには福壽、治眼、子育の女神が鎭められてあり、よき緣を結び給ふと信ぜられてゐる。お祭の日、小高い迷鎭山は美しい娘で埋まり、娘々廟への參道は馬車で一ッぱいだ。その兩側には色々な緣日店が滿洲らしくアンペラを引廻はして小屋掛けをしてゐる。騷々しい支那樂の音、客を呼ぶ物賣の聲、雜沓の土埃、其れが山一杯であつて迚ても素晴らしい大がかりのお祭舞台である。

日露の役で名高かつた大石橋はこの名所をもつて知られてゐる。大連からは約二百四十粁、南滿洲鐵道營口支線の分岐点である。市街は道路整ひ上下水道共に完備してゐる。附近の地方からマグネサイトや滑石、リグノイト等產出されるので亦有名である。

「ソラ彼處にお社が見えるだらう、戀の女神を祭つてあるんだ。」と云ふ。戀し合つた若き男女が親が夫婦になることを許して吳れないと、彼の山へ駈け登つて藝を先途と許り、神樣の理解と同情を求めるんだ相な。さうすると、お利益忽ち授かつて、それからと云ふものは高粱の中へ二人が隱れても親は急に見ぬ振りすると云ふ。何といふ甘いも酸いも嚙み分けた有難い神樣だらう　（奥野多見男）

遼河の夕照

營口と遼河

營口滿洲人街

營口埠頭

營口停車場

遼河の大觀

Yingkau and the river Liaoho

Yingkau (or Newchung), at the mouth of the river Liaoho, had been the only prosperous trade-port in Manchuria before the harbour of Dairen became extremely flourishing. But it is equally compared with Chief and tingtao as an important commercial city in eyes of China-merchants.

The river Liaoho, at the length of about 1100 miles, rising in Khingan mountains in Inner Mongolia, passes the town of Yingkau through the plain of South Manchuria gathering many branch rivers and flows into Ryoto bay.

營口と遼河

夕陽が靜かに山海關の彼方に沈んで行く。千古の濁流洋々と流れる遼河の水は、花紫に燒ける雲の影を映して、美しく光る。ジャンクは帆を下ろして、梶を休める。やがて夜となれば船には紅や青の灯が燈く。そして船人は淋しい江上を離れて營口の市街へと出掛けて行くのである。

營口は又の名牛莊とも云ひ、滿洲の商業地として、民國商人間には芝罘、青島と等しく重要視されてゐる。昔は滿洲唯一の貿易港であつたが、大連の發達に伴ひ、次第にその勢力を失つてしまつた。

港は西に渤海灣を隔てゝ、葫蘆島と相對し、遼河々口から二十四粁を溯る深處をトして埠頭を設備したもので、遼河流域の農産物はすべてジャンクによつて、こゝに搬出され、更に汽船で海外へ輸出される。だから埠頭は汽船・發動機船を寄せるものと、民船ジャンクを寄せるものと、その棧橋を區分してゐる。

毎年十一月から三月まで結氷し船舶の出入不可能となるが、數尺の堅氷の上を橇が通ふ。

遼河はその源を內蒙古興安嶺に發して、南滿洲平野の諸水を併せて、營口を過ぎ、遼東灣に注ぐ、其の延長約二千百六十粁。それは河といふよりも海に似た感じを持つてゐる。海の潮は上流二百五十支里(一支里約六丁)の邊りまで及んでゐると云はれ、舟の通ふことの出來る四洮鐵道鄭家屯、營口間は下り十四日、上り二十二日かゝると云ふ。

遊舟や向河原の支那芝居

「ほとゝぎす雜詠集」より

千山頂上の展望

明けゆく峯々

千山の美觀

The Mountains of Chienshan

The mountains of Chienshan are ten miles east of Anshanchan with an electric car survice to the foot. The name of Chienshan is owing to mountains which rise abreast to the sky in the form of the teeth of a saw.

There are five big Zen-temples and twenty-three Dokwan-temples among mountains consisting of three high peaks of the Sennindai, Shotaiho (or Hotaisan) and Gohorei (or Gobutcho) and forty-eight glens. It is said that their unique beauty are counted by a hundred, but no one can visit all them in less than three days.

明けゆく峯々

千山の朝は亦格別である。千山中その勝景の雄大さ大安寺に亞ぎ、道觀の宏壯美麗その第一を稱へる無量觀の廣い境内にあれば、ほの〴〵と明けてゆく雄大な峯々に、朝靄のうすれて、松の繁つた青い山々が靜かに浮んで來る。そこには奇岩怪石の或は懸崖となり、小丘となつて覗いてゐるのが見られ、未だ霽れ切らぬ深い谷間では朝の鳥の快よく鳴き渡るのが聞える。そして檜の梢につるされた古鐘には幽寂な朝の山氣が忍び寄つて、あるかなきかの神秘な音を立てる。又悠容として立つ道士の粗らな赤茶けた顋髭に、朝の光がゆら〳〵と搖れ動くのも眺められる。

かうした朝にゐて、人々は何事も考へない、何事も思はない、たゞこの朝にして、その日のあるを知る位なものである。それほど千山は超然自適の仙境である。

その山は鞍山の正東十六粁、山麓まで電車が通つてゐる。千山の名は鋸齒狀に聳立する山々の相並んでゐるより起つてゐる。山中には五大禪寺、二十三道觀があり、皆いくらかの山林と梨園をもち、信徒の喜捨によらず立つてゐると云はれる。

山は仙人台、松苔峰（寶台山）、五峰嶺（五佛頂）の三峰と四十八の谿谷を有つてゐるが、その奇勝は百景を數へ、一々探勝すれば三日かゝつて未だ足らぬ位である。

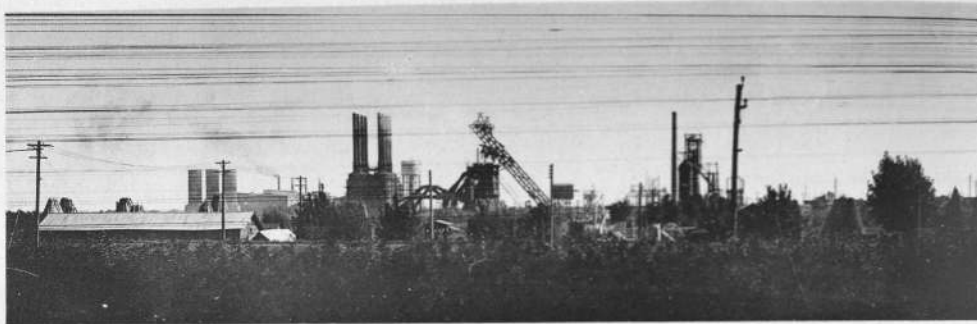
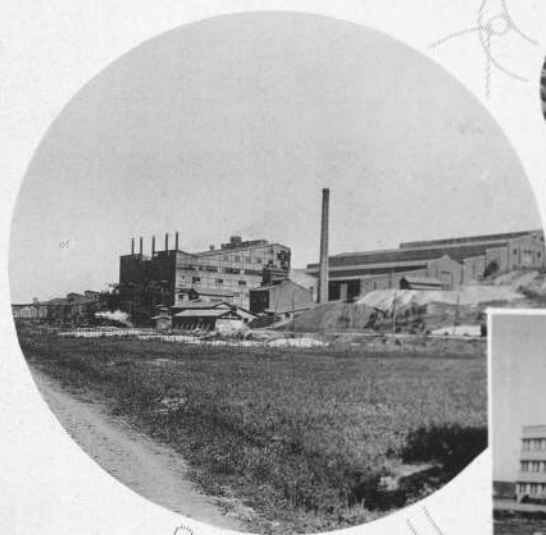
鞍山から山中一泊の遊覽を行つて、湯崗子溫泉に出で、登山の汗を洗ふのが最も便利であるとされてゐる。

五佛頂は裏から、青雲觀の方から入つて行くやうになつてゐるが、その青雲觀のあるところが旣にかなりに山の中で、海岸平野からは、二重も三重も山を隔てゝある形になつてゐた。青雲觀から馬の脊のところにのぼつて行く間は、丸で板でも竪てたやうな嶮しい急な勾配であつた。私は喘ぎ喘ぎ辛うじて登つて行つた。五佛頂の頂上に行つた時には、やつと此處まで來たといふ氣がした。

岩によりて五ッの佛ゐますなる山の上までわれは來にけり

（田山花袋）

くろがねをふく

昭和製鋼所本社

Iron Foundries

On the forested poplars of the wilderness about 121 kilometers from An-shan station there rise a number of great smelting furnaces. The Showa Steel Mill is located there.

In 1908, at time the Manchurian Railway Chief Geologist visited the Tang-kang-tzu spring resort. He explored the nearby hillock, Tesseki-zan or iron-stone hill, which interested him and discovered the mine.

The An-shan city prospered through the iron foundries, so according to the regular changes of the iron industries it influences itself on the condition of the market.

くろがねをふく

昭和製鋼所は鞍山 から約一粁半である。白楊茂る邊りの曠野に數基の壯大なる鎔鑛爐が空高く聳えてゐる。

明治四十一年、時 滿鐵地質調査所長が湯崗子溫泉に遊び、偶々程近き小丘の鐵石山と云ふに興を感じ、自ら踏査してこの礦山を發見したといふ。その礦量實に三億噸、最初日支合辨事業として採掘を行つてゐたが、滿鐵の經營に移されてからは鞍山製鐵所として百萬噸産出計畫を樹て大正五年鎔礦爐二基を設けて大々的に事業を開始した。先づ第一期計畫に於て年産十五萬噸の目的を達し、更に第二期計畫に向つたが、不幸にして歐洲大戰の終息と共に財界變調の影響を蒙り、爾來鎔礦爐を一基として年産七、八萬噸の製鐵に甘じてゐた。

然るに滿洲國の建國と共に再び大活躍の必要に迫られ、昭和八年六月一日、三千四百六十萬圓をもつて昭和製鋼所に買收された。

昭和製鋼所は資本金一億圓で、銑鐵と鋼材の製造を目的としてゐるが、鋼鐵製造の爲めには新に製鋼工場を建設しつゝある。その完成は昭和十年の豫定で、完成後は年産四十萬噸（鋼材十三萬噸、銑鐵七萬九千六百噸、鋼片二十萬噸）を産出することゝなつてゐる。

鞍山の街は元來製鐵所によつて榮えたものであるから、製鐵事業の消長により自ら市況に影響を示してゐる。市街は整然として、上下水道完備し、甞て大計畫と共に築かれた宏壯の建物も、今後昭和製鋼所の本格的活動と共に夫々利用され、グレート鞍山市街の出現となるであらう。

どく、どく、どくと白氣を噴きつゝ飴のごとく緩やかに流れ出たのは、その熔鐵であつた。沙の畦の要所に立つてゐた工夫達は、手輕く十字形の木鍬を操つて、その流れを數十畦の畝へと道を啓いて導びくのである。火龍のさまに蜿蜒と流る、熔鐵は、次第にその畦に流れ入つて海鼠型の銑鐵となり熔鐵の流滓は別路を傳ふて臺上から、 道の瀑布となつて地上に落下するのである。唯だ見る、火の霧、火の川、火の畦、火の瀧である。 「滿鮮趣味の旅」より

三塊石山

煙臺炭坑

煙臺など

燕州 寺山

Yentai and so on

The town of Yentai is a place having once been a signal-fire hill there, and so it is named Yentai.
The Yentai coal-mine is situated about 9 miles of the station of Yentai or about 16 miles north east of Liaoyang and puts out semi-smokeless coal.
This coal was stored 20,000,000 tons before it is remained 18,000,000 tons to have been digged 1,800,000 tons.
The Sankuaishih hill stands ruggedly in the plain of the suburb of Yentai. It was the most important point at the battle of Sha-ho in the Russo-Japanese War, and for the occupation of it Japanese army fought a very severe fight.
There is a small shrine on the summit, from where we can command a wide view.

烟台など

烟台の街は往時敵の急を告げた狼煙台のあつた所で、街の名もそこから來てゐる。烟台炭坑は驛から約十五粁、遼陽城の東北二十八粁の地点にあつて、半無煙炭を出してゐる。その埋藏量は二千萬噸、既に百八十余萬噸を採掘され、未採掘量は千八百余萬噸となつてゐる。

煙台郊外は蒼茫際涯なき大平原で、日露戰役で有名な沙河の戰は概ねこの地で行はれ、その苦戰の跡は諸所に殘つてゐる。煙台炭坑々口の磨臍山と相並んで日露戰での重要地点であつた三塊石山は、荒凉たるこの平原に突兀として二見型の小骨を表はし、單調な曠野に一沫の色彩を施してゐる。同石山の頂山には小さな祠があり、そこより日露の激戰を偲ぶ數々の跡が眺められ、山麓から平野一帶に開けてゐる滿洲の主産物大豆畑の夥しい豆の葉の茂りを見ることが出來る。

この平原を潤してゐる太子河の上流には、奇岩絶壁をなして岸に懸り、そこから遙かに見下す緩やかな曲流に、本溪湖奥の山林から伐り出された筏が數連靜かに下つて來るのが、如何にも悠長に眺められ、川上らしい閑靜さを感じる。昔、高句麗の勢力下にあつた頃、その附近の土人が洞窟に隱匿したといふ立派な陶器が、その洞窟と共に發見され、事わけの知らぬ者達によつて二足三文に賣られてゐるといふ未開地らしい話もある。燕州城はそこの懸崖に近い山上にある。

寺山は三塊石山に行く道すがら、ふと目を牽く丘である。そこには廢寺のような城のようなものが淋しく立つてゐて、さゝやかな流れがその裾に注いでゐる。別に何と云つて取立てるような丘でないが、それでも何故か見逃せない丘である。

この附近は到るところ朝鮮式山城の石山あり、これを高句麗の城趾といふ。更に角敵軍襲來を報じた大規模の狼煙臺のあつた所であらう。
（世界地理風俗大系）

遼陽市街全景

滿洲人街

遼陽の街

白塔の街、遼陽……
廣漠とした滿州の野に、
突高く聳えてゐる白塔。
遼陽の街はそこに開けてゐる。

春が來れば……………また
冬近き秋の末、
曠野を渡る鳥の群は、
朝も、晝も、夜も、ひそやかに白塔をかすめて行く。
それは街に來た歡喜さ、街を去る悲哀を、
なつかしい白塔に想ひ出すのである。

遼陽は白塔の街……………
鳥だつてさう思つてゐるだらう。

大山總司令官駐營記念室

滿洲軍總司令部駐營記念碑

Liaoyang.

In old times, Liaoyang was prosperous as the capital in Manchuria and now it is one of important cities.

After Japanese army had captured the castle of Liaoyang in the Russo-Japanese War, more than a thousand Japanese men and wamen immigrated to this city in a little while and they built the new streets to west out of the castle.

But it is gradually going out of prosperity at present as well as all the cities which were directly built in Manchuria, after the War, for the important products, with which Dairen, Mukden and other main cities become prosperous, are not gathered and dispersed there.

遼陽の街

「遼陽城頭夜は更けて、」

今も更ほ兵隊さんが勇しく唱つて行く(橘中佐の歌)に、忘れられない遼陽の名——

遼陽は昔滿洲の首都として榮え、今も尙ほ主要都市の一ではある。日露戰爭當時は、日本軍の遼陽城占領に續いて一千余名の日本人男女が早くも移り住んで、遼陽城の西廓から西へ新市街を開いたが、滿洲特産物資の集散に惠まれないため、漸次その繁榮も奉天、大連等に奪はれ、戰爭後最初に開けた多くの都市の例に洩れず、逐年沈衰しつゝある。

遼陽城は東西六支里、南北四支里に城壁を繞し、六門あり、滿洲一の古都として名高く、城内の滿洲街の商業は盛んである。

遼陽の大會戰は露軍約十三ケ師團に對し、日本軍は十ケ師團をもつて六日間に亘り連續激戰したもので、城外三面の丘陵は皆當時の對戰地である。又諸所の高地には殘壘塵堡、よくその慘狀を物語つてゐる。

忠魂堂は停車場南方約一粁余にあり、日露役の蓋平煙台間陣歿者一萬四千余名の英靈を祀つてゐる。

橘少佐之を率ゐ八月三十一日の午前四時頃から、此所の高地に突擊し、山下の狼穽や、鐵條綱の防禦工事を破壞し、機關銃亂射の下を物ともせず、終に進んで此の傾斜面を攀ぢ上り山上の敵を驅逐して、太陽の未だ山肩に昇らざる前に、日章旗を山頂に樹てしが忽ちにして東方は新立屯、西方は首山堡、北方は方家屯の三面から敵砲の十字火にかけられ、金鐵ならぬ身は忽ち夥多き死傷者を出せし、と同時に、一旦北方の山背に追ひ下されたる敵は、俄かに逆襲し來り、此所に一大格鬪を山上に現出し、平生擊劍の達人として聞えたる橘大隊長は自ら軍刀を揮つて敵を斃すこと三人、尙ほ數人に傷つけしも、先刻來の砲擊に味方は過半死傷して、今は血河屍山の大慘劇を演出し、少佐また身に數瘡を負ひ、終ひに起たざるを知り割腹して死せんとせしを、傍なる内田軍曹僅かに扶けて山下まで下り、鐵條綱や狠穽の繞らされたる傍の小松原にて、終に絕息せられた相だ。

(遼陽從軍記坪谷水哉)

白塔の玉は朽ち、壁は崩れて行く、いつかその姿さへ見えなくなつて終ふのでなからうか。形あるもの必ず滅す、そんな古臭いこと等も思はれる白塔である。でも塔下に茂る楡の樹蔭には、いつしか變らぬ若々しい戀の囁きがある。いつか塔は朽ち去らうとも、戀の生命は永遠に朽ちない。營々として續く常に新しい戀の生命は、人間の最も偉大な、誇るべき名譽ある事業よりも大きいのだ、美しいのだ、尊いのだ……さ、崩れ行く白塔の影にラブ・イズ・ベストと人はいふだらう。

The White Tower, Liaoyang

The white tower rises to the sky in front of the station of Liaoyang. It is a relic of the Koyuji-temple built in the period of Tokwan about one thousand years ago, and it is the octagonal, twelve-storied white tower around which many statues of the Buddha are carved, being 230 feet high. When we are appraoching the city, we will find first its white tower from a window of our train. It is a only symbol of Liaoyang, but it is now left alone to decay without repair.

白塔

カン、カン……澄み切つた滿洲の高い〳〵空に物悲しく鳴り響く列車の鐘、漠々たる渾河の平原、そこには高粱の原がどこまでも〳〵續いてゐる。時折りそこゝに捲上がる砂塵が車窓をかすめて行く。そしてその砂塵の彼方に、ほんのり見える奇妙な白塔、「遼陽が近づいたのだ。」

旅人は遼陽の名と共に、その名を表徴する白塔のことを思ひ浮べるであらう。

白塔は遼陽の驛前にある。古の廣佑寺遺跡で、寺は東漢時代の創立にかゝり、塔は唐の尉遲恭重修の時之を建つと傳へ、又一説に高勾麗時代の建造とも云ふ。要するにその年代は詳かでないが、先づ一千余年の星霜を經たものであらうとされてゐる。

高さ七十米、八角十二層をなし、周圍には佛像が彫刻されてゐる。

今では手入れが行届かず、徒らに燕雀の巣を營む儘に委してゐるが、ポプラの樹生ひ茂ける中に、萬石蒼茫として、朽ち去るものゝ哀れな影を止どめ、風なきに瓦礫サッと陷ちて樹の葉を打つなど、見るものゝ心を淋しくする。

因に又の名を喇嘛白塔とも云ふ。

天空の上方は紫紺色の雲が濃く重り、その下方は著しく明るく、そこには殘暉を映じた黄紅の雲が棚引く、この雲空を背景としたる高塔の美は、實に塔の建築者が其遠見に多大の考慮を施したさいふことを實證するものである。余は未だ嘗つてかくの如く美しき遼陽の白塔を見たことはなかつたのである。

（木下杢太郎）

湯崗子温泉場全景

對水閣

白雲閣

The Tangkangtzu Hot-spring.

The Tangkangtzu hot-spring is completely furnished with all kinds of the civilized equipment and it is very comfortable. Its hot-water qushes about eight thousand gallons a day, and it is transparent, alkaline, contained radium.
So it is very well for Rheumatism, Hysteria, disease of woman, Scrofula. In the Russo-Japanese War, the sanitarium of Japanese army was set up at this place for wound and sick soldiers, and now all equipment is made better under the management of a joint-stock company. This place is after an hour to south of Liaoyang or half a mile north-east of the station of Tanghangtzu.

湯の香漂ふ

「神經衰弱など滿洲に來れば消し飛んで終ふと云ふが、ほんとうにさうだネ。殊にかうした溫泉に遊んで、あなたのような美しい人の顏を見ると、一層そんな氣がするヨ。」

「マァ、隨分お上手を仰言いますこと。………」

美しい人は愼ましく笑つて、旅人の戯れを輕く撫した。

そんなに湯崗子の溫泉には、淑やかな美しい人が幾たりもゐる。そこには靜かな池があつた白楊やアカシヤや鈴懸の樹が池の周圍に綠の蔭を作つてゐた。胡藤が綺麗に石などに捲付いてゐた。池の中には掌のような浮島があつて、それに優美な三段橋が懸つてゐた。湯から上つて眺める其處此處、綠の葉蔭に美しい人の白い顏がチラ〳〵動いてゐる。それは落莫たる滿洲の原を通つて來た旅人の心に暖かい人なつかしさを與へた。

かうした湯崗子溫泉は文化的設備の行屆いた氣持ちのよい溫泉である。一日の湧出量二百石泉質はアルカリ性ラヂユウムを含有した無色透明、リユーマチス、ヒステリー、婦人病、腺病等に効能あり、日露の役には日本軍こゝに療養所を置き、征塵の罹厄を醫したが、現在は株式會社組織として大いに改造經營してゐる。

その地點は遼陽から南行約一時間、湯崗子驛から東北一粁足らずである。

湯崗子は名ある溫泉場なり、唐太子も駕を駐めたまひきと云ひ傳ふ。

三日の月千歲の溫泉と澄み競ふ　　巖谷小波

奉天驛

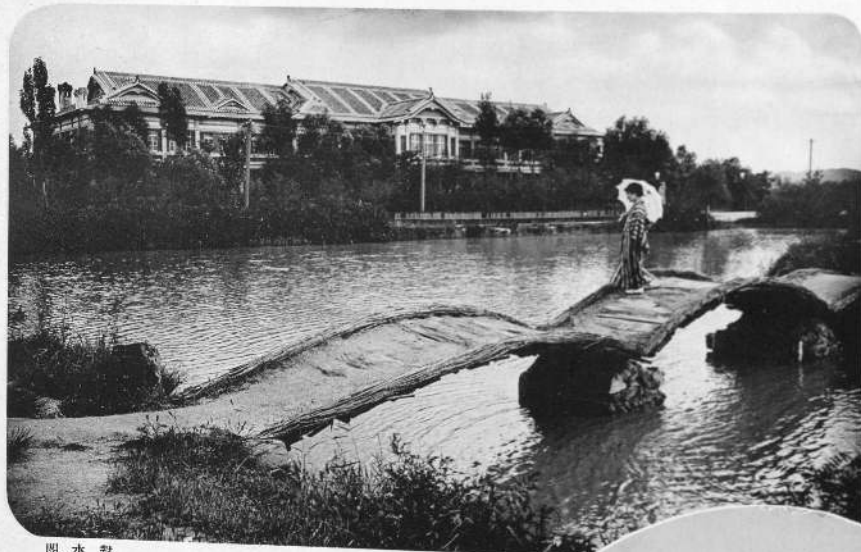
奉天停車場

晴爛色のドーム、白い驛舎、長い〱ホーム。その邊り一面に開けてゐる茫茫たる平野、人力車、馬車、バス、電車、人、人、人の廣場。奉天驛のワン・スナップは簡單にそれ丈けのことを物語つてゐる。スナップはある一角から一秒百分の一である。

若しその一角を無數の多角に、その一秒百分の一を限りない時間に延長するなら、かうしたワン・スナップの奉天驛はどんなになるだらう……?

ピチ、ピチ、活々、躍つてゐる、跳れてゐる。

でもそれが現實の奉天驛なのである。そこから絶えず種々雑多な色彩と音樂が生れて來る、その忙しさ賑やかさが、茫茫たる平野に兀然と現はれてゐる文化都市を想はせるのである。

驛前の景觀

The Station of Mukden.

The station of Mukden is about four hundred kilometre from the station of Dairen. The greatest station-building on the South Manchurian Railway line, is uncomparably magnificent, and also one of the largest in the Mukden city.

This sta ion is situated at an important point where the S. M. R. line connects with the Ho-an line and the Kitsu-ho line at, and is the heart of well-developed communication in South Manchuria and besides is the passing station to Europe, Russia, the inner China and Corea.

奉天停車場

列車は高粱畑打續く一望千里の曠野を走り續けて、滿洲の「華の都」奉天へ着く。そこは大連を去ること約四百粁。恰も東京驛から尾張一ノ宮驛に至る距離に等しい。

奉天に來て何よりも先づ驚くことは、この漠々たる大平原に實に素晴らしい殷賑な文化都市の開けてゐることで、而もこの市街の代表的大建築物である奉天驛の偉觀に、流石「華の都」の偉大さを感じる。

それは南滿洲鐵道本線が安奉線と合し、更に奉山線と相會する地点で、四通八達せる南滿洲交通機關の心臓部とも云ふべく、歐露、支那、朝鮮各地との中繼驛として重要な地点にあり、從つて南滿幹線唯一の大驛として建物の壯麗なることは他にその比を見ないのである。

建物は明治四十三年七月新築落成し、大奉天の一異彩となつたが、それと同時に階上及び階下の一部をホテルとして、所謂停車場ホテルを創設した。今でこそ發展に發展をつゞけて行く奉天のために、堂々たるヤマトホテルを新築して、停車場ホテルは改廢され、驛の事務所となつてゐるけれども、アノ壯大な、奉天中央廣場のヤマトホテルの前身は抑々これである。

驛の玄關に立てば、廣々とした驛廣場に馬車、自動車、洋車、電車等が賑やかに幅輳して、その向ふに大きな洋風の建物がいくつも見事に建並んでゐるのが見える。只だこれ丈けで「華の都」の大奉天、新市街のみで面積二百八十余萬坪有るといふ奉天、そして逐日人口は增大し市街は膨張して、その發展の停止することの知らぬといふ奉天を知るのである。又滿洲事變に際してはわが軍隊輸送の中心点となり大いにその功を奏したものであることが肯かれるであらう。

奉天短信

丁度日の暮の停車場に日本人が四、五十人歩いてゐるのを見た時僕はもう少しで黄禍論に贊成してしまふ所だつた。(芥川龍之助)

曠野の大路

タラ、チラ、チラ、タ……
奉天行進曲は浪速町にワン・ステツプする。
燃えてるやうだ。オヤオヤ、耳に金輪が揺れてゐるぢやないか。
タラ、チラ、チラ、タ……　宵の浪速通、そゞろ歩きは嬉しいな。

The Street of Naniwa-dori, Mukden.

The new city of Mukden expands in the right angular form from the station, and possesses broad paved streets like cobwebs.

The water supply and sewer are perfected and all houses are good and beautiful in the whole city where is busy in traffic and prosperous in trade

Especially the street of Naniwa-dori is the most flourishing part in whcih satnd banks, Post-Office, other offices, large stores and hotels in rows.

Walking on this pavement with street trees, we will be led to the Great Square, and we can't help going through the street, as soon as we arrive at the station.

曠野の大路

平野の中に立つ大きな都、大奉天は分つて城内、商埠地、鐵道附屬地(新市街)の三としてゐる。城内は滿洲人それ自体の街であり、商埠地は各國民居留の街、附屬地は日本の行政地域である。

その新市街は奉天驛を起点として碁盤形に經營され、坦々たる廣い街路は悉く鋪裝され、又上下水道も完備し、市内の建物すべて善美を盡し、交通頻繁、殷賑を極めてゐる。

流石は南滿洲中部の大市場として、年々停止することなく發展しつゝある奉天だと思はせる驛を出て左すれば東西に通ずる一條の放射路、右すれば南北に延びる一條の放射路がある。前者を浪速通りと呼び、後者を平安通りと云ふ。この二條の放射路が驛前直線道路の千代田通りと共に幹線道路として碁盤形の街區を三叉に貫いてゐる。

その中浪速通りは奉天新市街中目貫の場所で、銀行、郵便局、諸會社、大商店、ホテル等軒を連ね、その盛大振りを見せてゐる。街路樹の並ぶ歩道には甃石が敷詰められ、これを辿つて行けば、間もなく大廣場に出る。奉天に着いたものは第一にこの通りを大廣場まで出て見なければならぬ。それには自動車を馳けるのもよからう。又洋車に搖られながら、説明を聞くのもよからう。それに滿洲氣分豐かな幌馬車を走らせるのもよい。尙ほしかし時間に余裕があればテクツて見るのもよい。何れも浪速通りの盛んな光景と、氣持ちの好さを味ふことが出來る。そしてその浪速通りの示す如くに奉天は殷盛で、又氣持ちのよい整然とした市街である。

日本人の商店が見える。料理屋が見える。怪しげな女の冷やかな顔が店先に居るのもある。時節のせいか支那人の商店は殆んど毛皮毛帽を賣る家でまつて居る。今朝の温度は氷点二十六度であるが、その間を日本人は何々樓と書いた半纏一枚を着た若いしゆや、綿入にコオトを着た丈の酌婦が、下駄をちやら〳〵やつて來るのには驚く。彼等は寒さにも慣れたと見え日本に居るのと同じ樣な服裝をして堪へてゐるのである。

(森鷗外)

奉天の偉容

中央廣場に於ける戰役記念碑とヤマトホテル

ヤマトホテル內部

奉天警察署

東洋拓殖株式會社

滿洲醫科大學附屬病院

A Grand sight in the Mukden.

The white tower by Marshal Yamagata's writting of "the Monument of the Russo-Japanese War" stands in the centre of the Great Square in the city of Mukden. It was finished in September, 1919., 60 feet high, to eternally memorize the famous great battle of Mukden in the battle history of the world, and to leave the loyal dead of Japanese officers and soldiers for ever and age.

There are the Yamato-Hotel, the Hospital of the S. M. R. and the Mukden Branch of the East Colonization Co Lit., around the square. Their buildings are a grand sight in the city.

奉天の偉容

白い塔の向ふに、一直線に通つてゐる浪速通りの彼方に奉天驛が見える。

白い塔には「明治三十七八年戰役記念碑」の文字がある。山縣元帥の筆である。大正七年九月竣工、高さ六十尺、世界戰史に有名な奉天の大會戰を永久に記念し、その忠烈なる武勳を千載に傳へんとして、滿洲戰蹟保存會によつて建設されたものである。

その周圍には松の茂つたいくつかの芝丘がある。行きづりに疲れた足を側のベンチに休めてふと見るその向ふに、ヤマトホテルの壯麗な白亞館が、浪速通りの南角を占めて、巍々と聳えてゐるのが見える。

ホテルは滿鐵の經營にかゝるもので、發展に發展をつゞけて行く市街の交通の頻繁に加へ、到底その需めに應じられないところから、從來の停車場ホテルを改廢して、此處に總べてを完備した洋式ホテルを新築したのである。その華麗な食堂を見ても、外觀の美と相俱に、內部の壯麗な結構さが伺ひ知れるでないか。

更に眼を移せば、滿洲醫科大學とその附屬病院がある。赤煉瓦造りに白く縁をとつた美しい建築は、ヤマトホテルの白亞館と相並んで面白い對照をなしてゐる。醫大は滿洲人の子弟をも教育する所に特色がある。又病院はあらゆる最新學術的設備悉く整ひ、海外幾百里の異郷に活躍する在留邦人に不安なからしむべく刀圭の妙を發揮してゐる。

その隣りには東洋拓殖株式會社奉天支店の壯重な、如何にもがッしりした建物がある。

是等は廣場を廻つて、何れも奉天市街の一偉容をなしてゐる。大廣場の奉天警察署は正金銀行に隣して輪奐堂々滿洲警察廳舍中第一の威容を誇つてゐる。

敵が大敗して奉天を退却した當日の光景が思ひ遣られる。奉天停車場を發した最後の列車、それには貨車が五六十台も續いて、滿載されたのは病兵、負傷兵、車內は蒸し殺されるやうに人が詰つて、入口にも足掛にも、屋根にも兵士が蟻のやうに集つて居る。西から南にかけては、我大軍が湖のやうに弧線を畫いて押寄せて居るので、渠等はもう氣が氣でなく、さながら死の神に追ひ懸けらるゝかのやうに、汽車の速力をもまどろしく思つたに相違ない

（田山花袋）

忠靈塔

千代田通滿洲中央銀行

奉天神社

商店街　春日町

千代田公園

The Beautiful Sights, Mukden.

The Monument to the loyal dead, in the south-east part of the new city of Mukden, was constructed at the point of the present principal-gate in 1921, but it was obliged to be reconstructed with large expenses in 1924, for the expansion of the city.

The street of Chiyoda-dori in a bee-line from the station, is so picturesgue as its name awakes us in beautiful feeling.

The Mukden Shrine, east of the Park in the city, was built in December, 1915, and is dedicated to the Sun-Goddess and the great emperor of Meiji.

The street of Kasuga-cho, where many stores stand side by side, are thronged with walkers in the illuminated evening.

The Chiyoda Park is situated in the nieghbourhood of the Monument at the street of Chiyoda-dori, and it is a beautyul park which is suitable to the modern city.

美しき奉天

奉天の美觀を思ふ時、誰しも奉天忠靈塔の床しい姿を眞先きに思ひ浮べるであらう。それは廣い聖域に、美しく立つてゐるばかりではない。嘗つては屍山血河修羅の巷に奮戰し死しては護國の鬼と化した二万三千の英靈を弔つてゐるからである。そこには華々しい愛國の花が忠誠の風に、悠久に薫つてゐるでないか。

塔は奉天新市街東南部にあり、明治四十五年現在の正門の處に造營されてゐたのを、市街の發展に伴ひ、大正十四年巨費を投じて改築したもので、毎年三月十日の陸軍記念日には壯嚴な祭典が執行される。

奉天驛前直線道路の千代田通りはその名も床しく畵に見るような街である。丘陵形に葉を摘んだ街路樹を見てもその感を深くするだらう。道幅二十九米、ドライヴ、ストリートとして颯爽たるもの。

荒寥たる滿洲の朝夕、神社に奉拜する柏手の音は、えも云はれぬ懐しさと心强さを與へる。

奉天神社はその神々しさに亦奉天の一美觀たり得よう。宮は新市街公園の東部、陸軍練兵場の南に鎭座し、大正五年十二月の建立、天照大神、明治大帝を合祀し奉る。

その賑やかな點で美觀の一つとなる春日町は新市街の商店街、夜は電光燦然として人出多く雜沓を呈する。

千代田公園は千代田通りの忠靈塔附近にあり、園内には噴水、花壇などあつて、近代都市にふさはしく美しい公園である。

支那の車夫頻りに乘車をすゝめる。美しい支那の娘さんが通る。南滿醫學堂へも一寸寄つて見る。立派な建築だ。新市街には町割だけでまだ家の建つて居らぬ所もあるが、出來たものは孰れも立派だ。我が銀座街の比ではない和服の人々も折々出あふ。奉天神社に參拜する。日本はどこまでも敬神の國だ。昨日舊市街を見た目でこゝを見ると丸で別の國だ。

（喜田博士）

古を偲ぶ樓門

城門

滿洲人街

滿洲人街小西邊門

The Chinese city, Mukden.

The Chinese city of Mukden is surrounded with the castle wall of 7 miles long, and there are big and small gates in the south-north and west-east sides of the wall for communication.

Looking at congestion in the city, we can not but believe that it has a population of 560,000.

Men and carriges come clamorously gathering to the castle-gate, and clouds of dust float over the whole city.

These special tumultuous sights incite our pequliar emotion in Manchuria, and they tell us that how grand and disorderly the city is as an old town of China.

城內スケッチ

滿洲や支那の舊都市は何れもその周圍に大小の城壁を繞らしてゐる。淸朝發祥の地として、莊嚴華麗な宮殿をもつ奉天の滿洲街もまた、その淸朝時代の建造にかゝる蜿蜒三十支里に及ぶ城壁內に開けてゐる。そして東、西、南、北に各大小二門づゝを設け、城外との往來を通じてゐる。城門を入れば人口約五十六萬といふ審陽、又そこには省公署、市政公署、高等審判廳、大學等があり奉天省の首都をさこそと思はせる人の雜閙がある。城門には轣轆として車馬がひしめき、路上には濛々として黃塵が舞ひ上る。かうした古い形容そのまゝの壯大と亂雜の滿支獨特の都會氣分が如何にも「華の都」たる奉天城內の賑やかな街頭に横溢してゐる。この「外輳門」は城壁諸門中第一の大門である。

城門に上つて街の全景を見れば、たゞ續く甍の波のうねり、そして中央に聳立する黃甍の宮殿。過ぎし三百年の昔より華やかに發展して來たキャピタル、今も尙ほ賑やかに榮えて行く滿洲の大都、文化の中心、流石にと感じられる。

城門を下ると、その裾に夥たゞしい色樣々な宣傳ビラが貼られてゐる。中には商店の賣出し廣告などもある。矢張りどこの都會も同じことだと思ふ。しかし城門以外に交通路のない滿洲街に於て、城門の宣傳廣告はなか〳〵の氣の利いたもの、これも滿洲獨特だらう?

小西邊門は商埠地から城內に通ずる一大關門で、門外には奉山、奉海、兩鐵道の停車場があり、特に車馬の交通激しく、交通巡警により整理されてゐる。この門は以前樓門であつたのを歐風に改めたものである。

宮殿は淸朝第二世太宗の崇德二年の建築だと云へば、今から約二百八十年前で、丁度我が島原の亂の起つた年だ。當時まだ全支那統一の場合には遠かつたが、流石に破竹の勢を以て領土を擴張し、明國に壓迫を加へた新興帝國の皇帝として、其の規模の雄大壯麗、十分に尊嚴を示すに足るものがある。之をわが平安京に比べて見れば、內城は大內裏に當り、宮殿は內裏と朝堂院とを兼ねたものに當るであらう……

而も其の宮殿が今は參觀者の泥靴に踏まれて、奉天全市を眺望指示するの場所となつたも悲慘だ。

(文學博士　喜田貞吉)

奉天城內四平街

城門

豪商の街

Commercial Scene of the Wealthy Merchants

The Castle-gate is the only passage to the Manchurian quarter of Mukden. At each side of the ramparts there are a one big and a one small gates numbering eight in all. Among these the Tai-hsi-pien and the Hsiao-hsi-pien gates cause the intense communications as these direct to the S.M.R. zone.

Ssu-pie street is the main marketing location of the Manchurian quarter. There you will see street venders shouting to the passer-bys the good articles and the low prices. And the people, horses, and vehicles crowd the way causing traffic disturbances.

The Chi-shun-ssu-fang is the largest department store which it extends you all the services. As yon will find in this picture the building is magnificent, and it is the pride in the castle. From the 5th story balcony the action inside of the castle-wall can be overlooked, and in the midst the Royal Palace stands majestically.

豪商の街

城門は奉天城內の滿洲人街に通じる唯一の通關で、方形に繞らされた城壁には一方に大小二門があり、總てゞ八門ある。中でも大西邊門と小西邊門とは附屬地に通じてゐるので、交通頗ぶる頻繁である。

四平街は城內滿洲人街に於ける最も殷盛な商店街で、大阪の心齋橋筋で見るやうな綺麗に飾り立てた商舗が櫛比し、人、馬、車織るが如く非常な雜沓を呈してゐる。

その通りには鐘樓と鼓樓があり、鐘樓の蔭には露天商人が喧しく喋りながら物を賣つてゐたり、又それらと並んで賣卜者が道行く人を呼び止めて天眼鏡を覗いてゐたり、鼓樓ではそのアーチを縱橫に潛ぐる人々で混雜してゐたり、凡そ滿洲の近代都市として最も特色のある雜閙が見られる。

デパートメント・ストーア「吉順絲房」は四平街第一の百貨店で、この寫眞にも見られるその壯大な建物をもつて、城內商店街の誇りとなつてゐる。その五階バルコンは奉天城內を展望するに格構の場所で、市街の甍の波を衝いて空高く聳える宮殿の威容が望まれる。

この「吉順絲房」はデパートとしての內容を十二分に備へてゐて販賣法は昔ながらの顧客式で大變に愛想がよいので、ワザワザこの店で求めた日本製品を內地の土產にするやうなこともある。

奉天の支那市街は私の來た當時よりよくなり、殊に滿鐵經營の新市街は大變よくなつた。それにひきかへ奉天の宮殿は殆んど昔の面影なく亂雜になり市街は此處に接近して來た。これらは最も惜しむ可きことである。奉天はこれから滿洲の中心地であつて、南滿洲鐵道會社の地方部の如きはせめて此處に移つて來なければなるまい。否な將來は滿鐵の本社も此處が大連より大切な所とならう。

（文學博士　鳥居龍藏）

舊宮城鳳凰樓

舊宮殿玉座

小河沿

史跡を訪ねて

孔子廟

西塔

法輪寺 天地佛

Seeking Historical Relics

In the center of the walled city there is the Palace which is spproximately 300 years old. The stone-steps are carved with dragons, and the throne is ornamented with Jewels. The writing of the emperor is treasured as the rare antique of that time.
In the southeast corner of the walled city there is the park with a picturesque lotus pond which is enjoyed by the many Manchurians.
Since the establishment of Manchuria the old Confucian shrine is remembered yearly.
The north, outh, east, and west towers were erected during the eventful festival of Chin dynasty. They now stand lonely in the thickets.

史跡を訪ねて

宮殿は奉天城の中央にあつて、約三百年前の建造である、初め清の太祖が明の舊城を修理して極めて質素な宮殿としたのであるが其後康熙帝の全盛期に大改造を加へ面目を一新した。その正門たる大淸門を入ると彫龍の石階があり、これを昇れば崇政殿がある。こゝは皇帝が諸臣を召して親ら政を聽いたところで、彫龍鏤玉の玉座が備つてゐる。その崇政殿の後には高宗皇帝の直筆「正大光明」の扁額かゝる鳳凰樓が空高く聳え、又その後には皇帝の寢殿であつた淸寧宮があり今は淸初の神を祀つてゐると言ふ。その他壯重典麗なる殿樓夥多並び、何れも淸朝の歷史を追憶させて感慨が深い。

小河沿は城内の東南隅にあつて、瀋陽八景の一とされる名所で、「荷花滿沼、畫舫如織、採蓮而歌」と言はれ、蓮花美しい滿洲人の公園である。

文廟は新滿洲國の創建と共に滿洲國の建國精神が王道である關係から孔子祭を國祭と定めたので、長らく荒廢してゐたのが復興され、每年九月五日の孔子祭には盛大なる祭典を擧げ、奉天省長が百官を率ゐて參拜することになつてゐる。

天地佛は大北門外の法輪寺内にあつて、男女二体からなる佛体が相擁し奇怪な姿態に陰陽二性の愛を表徵し天地創造の神意を現してゐる。

西塔は淸の太宗時代に都城鎭護の爲めに建てられた東、西、南、北四塔の中の一で、大西門外の延壽寺内にある。今は生ひ茂る草木に荒廢を委ね、廢塔のもの淋しさを見せてゐる。

柳條溝鐵道爆破地点

北大營

事變を思ふ

靖安軍歩兵隊

獨立守備隊

元東北大學

Recollection of Manchurian Event

At night of Sept. 18, 1931 the preparative Chinese soldiers exploded the S.M.R. mainline which is about 30 meters from the Pei-tai barracks. Lia-tiao-kou became known from this time of explosion. It is located north of Mukden and near the Pei-tai barracks.

The rapid action of the Japanese soldiers controlled the anticipations of the Chinese soldiers and took possession of the Pei-tai barracks where it is now used by the Japan-Manchuria army.

The Independent Garrison Headquarters was previously a mansion of Tang-yu-lin, the then governor of Jeho province.

Using patriotism as his name Chang-hsiao-liang taught Chauvinism at the Northeast University which is now used by the Japanese soldiers. In the future this may be reformed as the first Manchurian University.

滿洲事變を思ふ

柳條溝は奉天北郊、北大營の近くにあり、滿洲事變勃發の直接動因となつた鐵道爆破事件によりその名を知られてゐる。問題の箇所は北大營から三十米ばかり離れた南滿洲鐵道本線で、昭和六年九月十八日夜、北大營の支那兵が計畫的に爆破したものである。

北大營は柳條溝の南滿鐵道爆破と同時に日本軍警備兵の神速果敢なる行動により、支那軍策動の機先を制して日本軍のため占據され、重大なる陰謀を曝露したところである。今は日滿人協調の滿洲國基幹軍隊靖安軍第二隊、騎兵隊、中央陸軍訓練處等の兵舍となつてゐる。

靖安軍は滿洲國の治安を維持し國防の任に當る基幹軍隊で、その歩兵第一隊は靖安軍の前身たる靖安游擊隊が大同元年一月十日奉天に呱々の聲を擧げたところである。日々喇叭の音も勇しく嚴しい教練に新興滿洲國守護の任を負ふ軍隊として潑剌たる氣分に滿ちてゐる。

獨立守備隊司令部は滿洲事變前まで公主嶺にあつたが、事變後奉天に移り、滿洲各地の鐵道の警備、電線保護の任に當つてゐる。その廳舍は舊軍閥時代、熱河省長として暴威を振つた湯玉麟の邸宅で、彼が省民の膏血を搾つて建築したもの丈けにその結構實に宏壯善美である。

元東北大學の跡は現在その一部を奉天地方警備のわが皇軍の兵舍に當てゝゐるが、近き將來には滿洲國の最高學府として改めて開學の運びに至るであらう。張學良華かなりし頃、彼は愛國救國の美名によりて排外主義教育を行ひ、專ら排日宣傳機關として利用したもので、その廣大な校庭と堂々たる講堂は當時の有力さを彷彿する。

北陵 隆恩門

北陵前庭の石獸

黃甍美しく

The North tomb.

The North tomb, about four miles north of Mukden Station, is the tomb of King Bunko, in the period of Shin, and is called "Shoryo" in another name.

The large premises are surrounded by the green pine-trees peculiar to Manchuria. Going through the front gate, the principal gate and the third gate, the Ryuon-mon gate stands very high among the green grown pine-trees before our face.

It is three storied front tower and is of exquisite warkmanship showing as an artistic relic of the flourishing period.

The distant view of the gate is like a mirage or the building of Nikko, Japan.

黃甍美しく

嘗つて日本軍が、この密林中にあつて、數日間進出しなかつたといふ、それほど深い大きな松林がある。全く滿洲の野に珍らしい松林だ。

丁度奉天驛から北方六粁の所、八粁余に亘る廣い境內、この松林に包まれて北陵がある。淸の太宗文皇帝の寢園で、一名を照陵と云ひ、丘を隆業山と名付けてゐる。今から二百七十年前に造られたものである。

隆恩門は陵の入口の大牌樓から正門を拔けて、更らに第三門を過ぎると、蒼く繁つた松樹の間に斷然高く聳えてゐる。

三層の巨大な藝術品、そこに發揮された精巧な伎倆、それは帝業隆んだつた太宗文皇帝の世を想はせて余りがない。黃甍美はしく、朱樓優麗、遠く望めば宛然蜃氣樓の如く、これをわが日光の建築物に較べて、結構の善美、彼我相似たるに一入懷しさを覺える。

たゞ惜しいことはこの歷史的藝術品も、修繕の行屆かないのと、昔は漆をもつて丹精に塗つてゐたのを、漆の代りに安物のペンキをそゝくさに塗りつけてゐるので、著しく當時の俤を失つてゐることである。

隆恩門に達する前庭には豹、獅子、馬、駱駝、象等石像が松樹の蔭に配列されてゐる。その精緻な丹精の跡を見て、過ぎし二百七十年の昔、かくも隆んだつた淸朝初頭の文化に敬服せずにはゐられない。

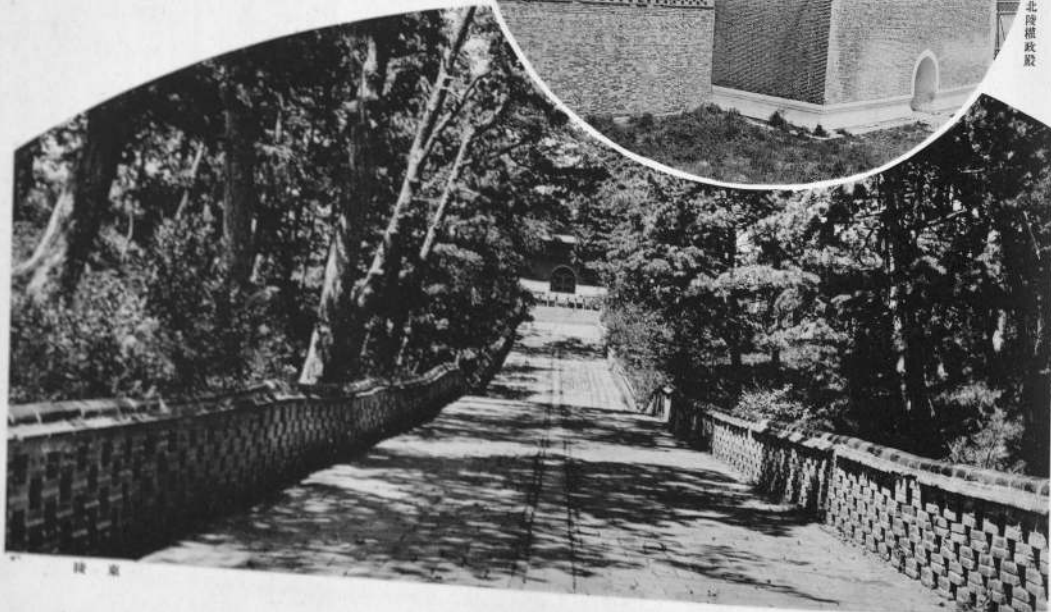
塋域のめぐりの木立冬枯れてしたしまむ色の松のみぞ青き　（橋田東聲）

北陵牌門

北陵正門

北陵全景

北陵權政殿

東陵

In the North tomb.

The front gate is the beautiful marble gate which is towring for several hundred years not injured by wind and rain for our wonderful sight.
The principal gate, the second to the front gate, is grand and possesses side-walls embossed dragons.
The gigantic marble elephant, in the front yard of the third gate, becomes moss-grown exposed to wind and rain.
The Gonseiden (or Shinden) is the greatest building in the tomb, after which there is the Shin-en inhumed the King.
The East tomb (or the Fukuryo tomb on the mountain of Tenchusan.), eight miles east of Mukden, is the tomb of the King Ko-o,

陵は尊し

太宗文皇帝の永遠に眠る北陵、文華燦然たりしその昔も、今はたゞ陵に殘る影次第に薄く、隆替興亡の世の有爲變遷をうつして悲し、——

牌樓 美麗な大理石をもつて築造し、陵の入口にあり、幾百年來風雨に曝されて尚且つ褪色せず、異常な美觀を呈してゐる。

正門 牌樓をくゞれば、間近く正門がある。なんといふがッしりした門であらう?文壯麗な門であらう?その側壁にさへ龍の浮彫がある。隅から隅までかくも丹念に美術の粹を凝らして華麗な裝飾を施したものだと感心させられる。

石象 大理石で作られた巨大なもの、第三門の側近く立つて居る。風雨に曝らされて、苔さへ付き、廢れて行く陵の悲しさをしみじみ想はせる。

寢園 太宗文皇帝の眠ります寢園の前に權政殿がある(寢殿とも云ふ)。寢殿の内部には大理石で作つた丈余の大石碑あり、梵、蒙、漢の三文を以つて「太宗文皇帝之陵」と記してある。然し滿洲國今はこゝに皇帝の偉業僅かにその面影をのこすのみ、陵や悲し、太宗の靈何處ぞ。然し滿洲國の創建によつて今後この陵も大いに保護營繕を加へられることであらう。

東陵 太祖高皇帝の陵墓、天柱山福陵とも云ひ、奉天の東方十二粁にあり、北陵に比し規模稍小であるが、全丘老松を以つて蔽はれ、積翠碧瓦朱壁相映じる美しさ、風水の爽快と共に三陵中の首位にある。

東陵には北陵のやうなあゝした靜かな林と草叢とはなかつたけれども、それでもそこから見晴した渾河の眺めは、彼になくして此にあるものと云つて好かつた。ひろびろとした野の向うに、長白山脈の支派輝山々脈の蜿蜒として連つてゐるさまを眺めた形は、旅客の心を爽やかにするに十分であつた。陵の規模は北陵に比してやゝ小さかつたけれども、私には見事なものが多かつた。ことに、陵前の二三樹のあの大きさは、それはとても北陵では見ることの出來ないものであつた。

(田山花袋)

錦州市街

山海關

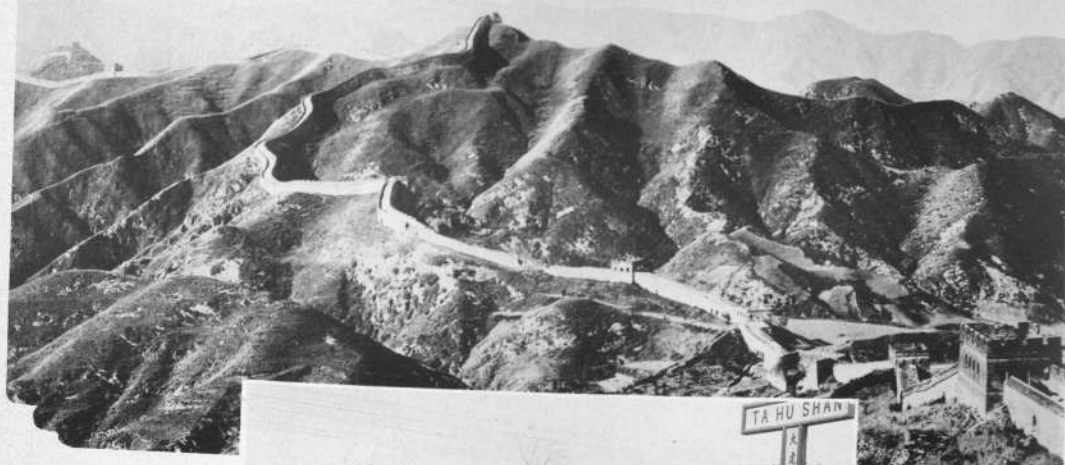
盤山驛

溝帮子市街

萬里長城

打虎山驛

葫蘆島築港

北鎭城内の白塔

Along the Feng-Shan Line

Ta-hu-shan is a small collection and distribution center of farm produce and stocks for the surrounding. It is also known as the attacking place of the Japanese soldiers.

The principle station of the Feng-shan line is Kou-psng-tzu where prosperous business is carried on and where it sends out merchandise to Jeho province.

The seat of public officials is found in Pan-shan. It is the center of cotton produce and progressive future is seen.

The relics of ancient time are found in Pen-chen where commercial engagements and foreign agencies are instituted.

Chin-chou is the principle city or the Feng-Shan line. It is the place where Chang-hsiao-liang's army fought the last battle against the Japanese force in vain.

奉山線に沿ひて

打虎山は奉山線の一驛で人口二千、打通沿線よりの農畜產物の小集散地である。その名は滿洲事變に皇軍進擊の地として聞え、又彼の張作霖が無暴にも滿鐵の併行線として建設し問題となつた打通線の發起点としても知られてゐる。

溝帮子は奉山線の主要驛で、營口支線の分岐点、人口六千に余り附近物資の大集散地として商况盛んである。亦北鎭、東蒙地方、熱河方面への雜貨仕向地としても活氣を呈してゐる。滿洲事變に際しては一時皇軍の駐屯地であつた。

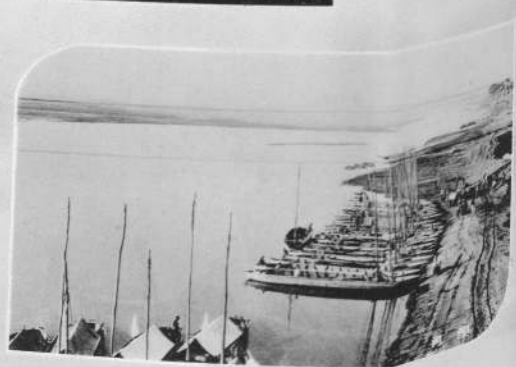
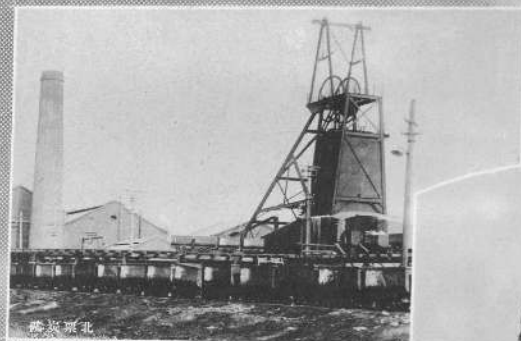
盤山は營口支線中の主要驛で、滿洲事變には激戰地として聞えた、人口約五千、盤山縣公署の所在地で、豐沃なる遼西地方の農產物、殊に前途益々有望なる棉花の集散地である。

北鎭は溝帮子驛の北方約十五哩、北鎭縣公署の所在地で人口約二萬、遼金時代から廣寧府として知られた古都、流石に古建築物の見るべきものが多い。商工共に殷賑、燒酒工場、油房或は外國商店の代理店などがあり、亦附近には梨の栽培が盛んに行はれてゐる。

錦州は滿洲事變に際し張學良が兵を集結して最後の一戰を構へ、皇軍の急襲によつて一堪りもなく關內へ退却して終つたところである。又嘗て淸の太祖が明の守將袁崇煥を此處に攻めて奪取した滿漢兩民族爭鬪史の一節を爲す所でもある。市街は人口十萬を超え、奉山線中最大の都會で、縣公署はじめ各種官公署、學校等文化施設整ひ、北は北票支線によつて義州、朝陽、阜新方面の、西は女兒河の炭鑛支線によつて錦西方面の物資を集散して商况頗る繁盛である。

胡蘆島は奉山線連山關から分岐する支線の終端にある。李鴻章以來幾度か莫大なる費用を投じて築港工事を進めたが、或は革命により或は內亂により途中頓挫して完成せず、張作霖はこれを軍港として築造すべく計畫し、學良又その意味を含めて築港工事を起したが、工事の內容を絕對秘密に附してゐた。滿洲國はその一部を變更して純開港場と爲すべく工事を繼續し最近遂に完成した。今後打通線地方の發達と北票支線延長による開發によりその前途を期待されてゐる。

山海關は奉山線の終点で人口約三萬の都市、商業も盛んであるが、元來水陸の要害として前から爭奪の的となり、屢々紛騷の巷となる。

萬里の長城はこゝを起点として走り、城門の樓上には明の蕭顯の筆になる一字の大きさ約一坪あると云ふ「天下第一關」の額が懸つてゐる。

Going to Jeho

The coal-mine is found in Pei-piao where in July 1932 a liaison member of the Japanese force was captured and killed by the bandits. This started the battle between the force and the Jeho army.
Chao-yang is an old city where Manchurians, Chinese, and Mongolians reside. Various trading firms are in existence.
Chih-feng, a great city next to the capital Cheng-te or Jeho, is an old trading center where wool and leather are the main products. Consul General and S.M.R. buildings are located here.
Ku-pei-kou, on the way to Peiping from Chengteh, is the gate village of the Great walls of China together with Hsi-feng-kou on the bank of R.Luan-ho coming down trom Chengteh and both of them are noted for the place. The Nippon army has violently fought with its enemy through the Manchuria affair.
Pingchuan, 55 kil. east of Chengteh, has the popnlation of about 40,000 and is the cross town to Chihfeng north, Tienchin south and Chaoyang east. Gathering and distributing the staples of the neighbourhood there is activity in Mongolian trade.

熱河の邊り

北票は錦州から六十二粁、北票支線の終点で、北票石炭で有名な炭坑地、昭和七年七月我關東軍連絡員石本氏が此處より朝陽への途中匪賊に拉致せられ、遂に尊き犧牲となり、我軍と熱河軍の衝突を惹起したことは未だ邦人の記憶に新たなる所である。

朝陽は北票から再發する約三十二粁の鐵道によつて達し、遼金時代既に最も榮えた古城市である。人口約二萬、滿漢蒙各種族混住し、蒙古貿易を主として商業盛んである。古都の遺物としては三座塔の中二座の白塔が今尙、市街の空高く聳えてゐる。

赤峰は熱河の首都承德に亞ぐ熱河省内の大都會で人口四萬、約二百年前蒙古貿易の前線地として開市し、今ではその中心地となつてゐる。取引物產の主なるものに羊毛、獸皮があり、又多量の甘草を集散するので知られてゐる。此處には日本領事館や滿鐵の貿易館がある。

古北口は承德から北京へ通ずる途上、長城に寄る關門の一邑。喜峰口は承德を潤す灤河が流下して長城にかゝる所、古北口と同じく關門の一邑であるが、共に熱河討伐の我軍が敵を追擊して猛烈に砲火を交へた所とて名高い。

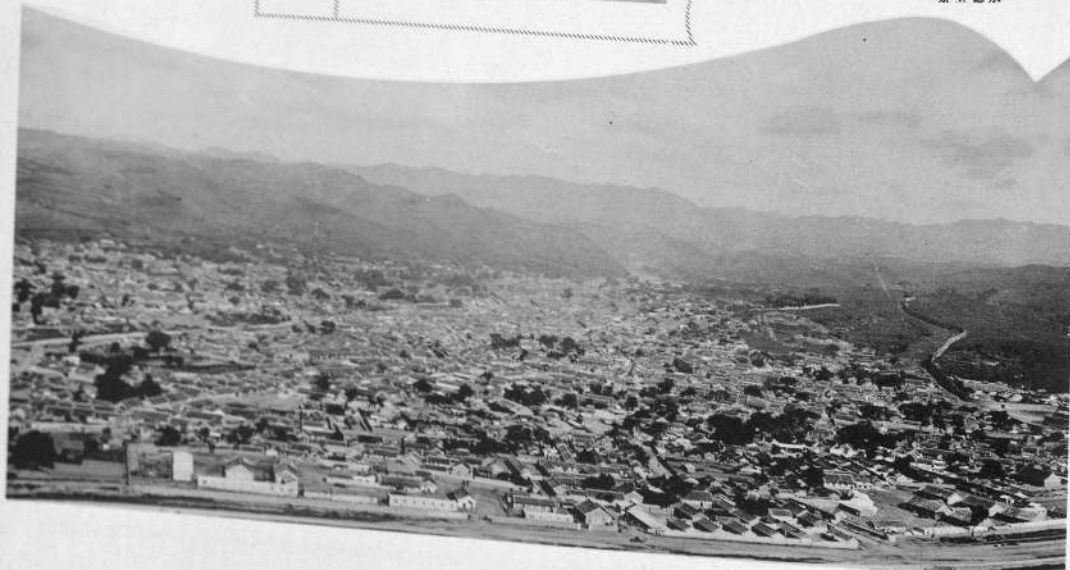
平泉は承德から五十五粁の東方にあり、人口約四萬、蒙古街道の十字路に當り、北は赤峰、南は天津、東は朝陽に通ずる要衝で、附近の農畜產物、薪炭、粟、高粱等の雜穀及び家畜、皮毛等を集散して蒙古貿易盛んである。

承徳を訪ねて

承徳離宮内苑

承徳離宮内苑

承徳市街

承徳全景

Visiting Chengteh

Chengteh is the capital of Jehol province and constitutes a strategic point being connected with Chihfeng and Peiping via Kupeikow. After the pacification of the province by Manchoukuo, the city has become the political centre of the province. Kaoliang, millet and wool are staple products of the city. There is the old summer palace built and used by Manchu rulers, besides historic Lama temples and other relics. The population is about 20,000.

The old summer palace was first constructed in 1703a,d. and the site is about 3 kil. around. Stone-walls, hills, large and smallponds and pagodas, halls in verdue still tell us that of the palacehas been large and the structure has been fine.

In the province it is taken as the best scenic beauty.

承徳を訪ねて

承徳は熱河省の首都で、單に熱河とも呼ばれてゐる。四面山を廻らし、中央には熱河の江水あり山水相和する景勝の地である。

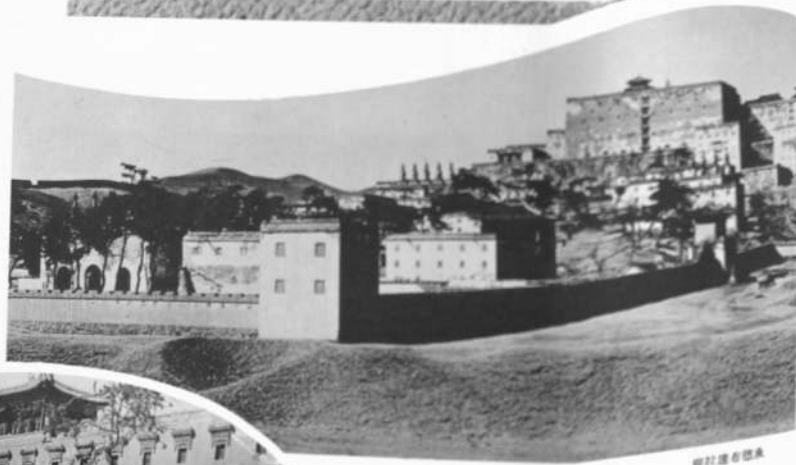
雍正元年(西紀一七二三)初めて熱河廳が設けられ、乾隆四十三年承徳府と改められ更に民國十八年(西紀一九二九)熱河省設定と同時に省政府の所在地となつた。滿洲事變後、滿洲帝國の熱河省となり、同政府はその省公署を矢張り此地に置いたので、今尚ほ省行政の中心地であると共に、事變前まで許されなかつた日本内地、鮮人の居住が開放されたので、俄然本邦人の來住を増加し既に内地人約三百、朝鮮人約五百を算してゐると云ふ。全市の人口約二萬、日本側の重なる機關として師團司令部、關東軍特務機關、帝國領事館出張所、滿鐵駐在員所等がある。

丁度、赤峰、朝陽等から北京へ通ずる要路に當つてゐるので昔からこの方面との往來頻繁で、その中央大通りには糧店、客棧、車店、炭店、錢換店、糧棧、驟局(貨物輸送保護に當る)等が軒を並べてゐる。然し、商業都市と云ふよりも寧ろ昔ながらのお役所の町で、お役所と寺院と離宮の大建築物が市街の壓力となつてゐる。特產物としては附近に罌粟の栽培が行はれ、多量の阿片を生産し、事變前には年々二千萬元に達するその阿片の特別收入が各軍閥の囑望の的となつてゐた。

離宮は避暑山莊として康熙四十二年(西紀一七〇三)に肇建され、四十七年に竣工したが全部の完成は乾隆帝の末年であると云ふ。その周圍約三粁、石墻を繞らし、山丘を取入れ、大小の池沼を配し、老樹蒼々たる中に幾多の殿堂樓閣が建ち、規模の宏大、結構の善美は既に多く頽廢したとは云へ尚ほその頃の豪華さを想像するに難くない。恐らく熱河省内隨一の名勝として何人も看過することが出來ないであらう。

喇嘛寺院

承德普樂寺

承德須彌福壽廟

Lama temples of Jehol

In Jehol Province are many Lama temples. Chengteh has eight large temples and counts over twenty of them in and out of the city.

They were built by Emperors Yungcheng and Kanlung who were very much concerned about Mongolians' doings on the Imperial throne. They tried to control Mongolians well by means of construction of the tem. les in which Mongolians are absolutely faithful. But they are not perfect now as they have not been taken care of and they have been exposed to all weather since Chiaching era.

It is sad to think that in only 300 years these temples are laid to waste, ignoring the two great Emperors' wills.

喇嘛寺院

熱河省には喇嘛寺が多い。殊に承德には八大廟などがあり、市の内外には二十を超える寺廟を擁してゐる。これは滿洲人が北京に定鼎して、中國に君臨した時、最も危惧された蒙古人を馴致牽制する爲めに康熙帝は既に離宮を設け、この地を神聖なる地として商賈の出入を許さなかつたが、雍正、乾隆兩帝は亦西藏式の大喇嘛寺を多數に造營して、數千の喇嘛僧を安住させ、その深遠なる考慮を拂つた結果である。

然しそれらの寺廟も當時は隨分壯大莊嚴なものであつたであらうが、嘉慶(西紀一七九六—一八二〇)以後殆んど顧みられず、自然の頽廢に委されてゐたので、今では完全なものがなく、訪れる者は僅か三百年足らずの間に王業の苦心經營がかくまで荒廢しなければならなかつたかと、その余りにも激しい衰頽の姿に驚かされ且つ嘆息させられる。

溥善寺及び溥仁寺は共に康熙五十二年(西紀一七一三)の建立で、皇帝六旬の壽に當つて蒙古王公等が之を祝福する爲に建てたものである。

普寧寺は離宮の東北獅子溝にあり、木造の大佛があつて、大佛寺とも呼ばれてゐる。乾隆二十年準噶爾平定の成功を記念して建てたもの、大佛は高さ七丈二尺の立像で、台の高さ一丈、試みに拇指の指頭を計ると周圍一尺二寸余もあつた。玆には約百名の喇嘛僧がゐる。

安遠廟は乾隆二十四年の建立、準唱爾台吉の達仕達瓦の妻が部屬數千を率ゐて歸順した爲め之を獅子溝に住居させ、彼等の信奉する喇嘛廟を建て彼等を慰安する目的で造營したものである。

殊像寺は乾隆二十七年皇太后が山西の五台山に幸され文珠菩薩が示現されたと稱する珠像寺に參詣された。その記念として乾隆三十七年建立されたもの故に五台山の殊像寺に模して造られてゐる。

普樂寺は都爾伯特、哈薩克、布魯特等の歸順したのを機會に乾隆二十二年から十四ケ年余を費して建立した、各殿の結構宏大莊嚴を極めてゐる。離宮の北にあつて、今尙百六十余人の喇嘛僧がある。

廣安寺は乾隆三十七年皇太后七旬の壽に當りその福祉を祈る爲めに建てられた。

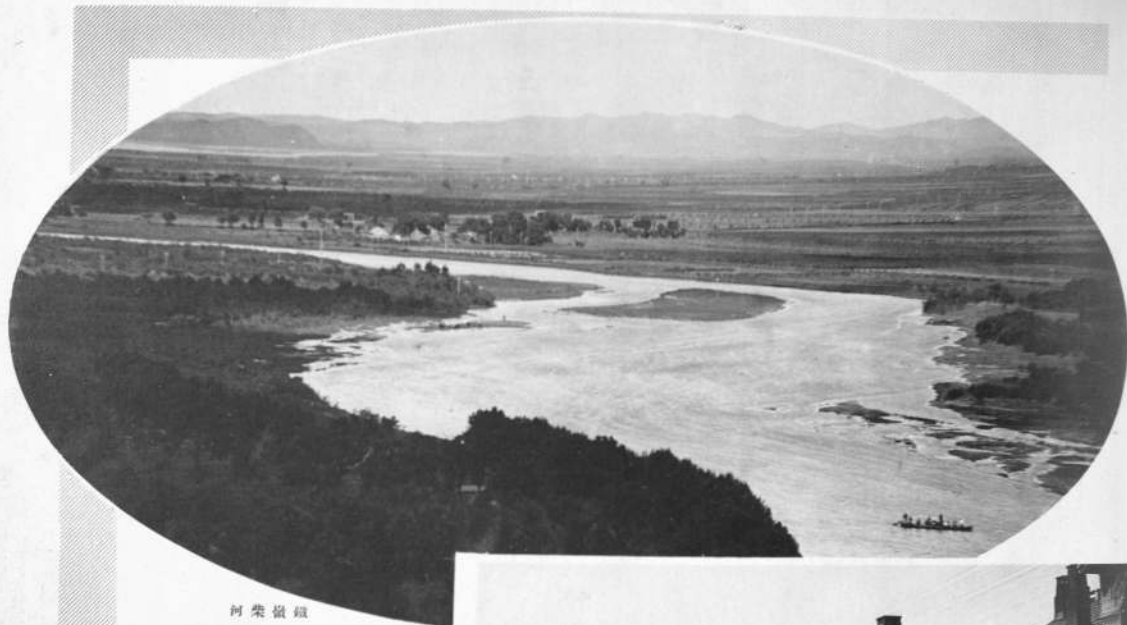
須彌福壽廟は離宮の北、普陀宗乘廟の東隣にある。乾隆四十五年皇帝七旬の萬壽を祝する爲めの造營、皇帝は離宮に行幸される每に必ずこの廟に參拜されたと云ふ。佛像中には貴重なる黄金造の佛も相當あつたと云ふが袁世凱が離宮内の寶物と共に悉く北京に移送して終つた、現在百名の喇嘛僧がゐる。

鐵嶺柴河

鐵嶺停車場前

鐵嶺の塔

鐵嶺停車場

開原の街

Towers by the Chai River

Overlooking the wilderness of Manchuria from a hilltop the Chairiver meanders from the plateau. It is like the Milky Way in the autumnal night. And in the yonder the old towers standing in the air indicate quietness of the town.
Among the old towers are the Lama tower in the castle and the steeple on the Ryn-shu hill. These denote the ancient era of 1200 years ago.
The Tieh-ling station is 468 kilometers from Dairen. The silent station and the old buildings state calmness of the town.
Before the construction or the railroads the town had been a lively scene of business. But now since the waste of the water transportations the town is almost deserted.
Kai-yuan is now a civilized land which is $33\frac{1}{2}$ kilometers from Tieh-Ling. The land is rich and produces agricultural needs.

柴河の流

天に連る銀河の如く、高原を流れる柴河は「古塔の街」鐵嶺の北を潤し、本流の遼河に注ぐ、鐵嶺郊外龍首山頂から眺める柴河の景は水に乏しい滿洲の曠野に、白く／＼と水の光を見せて慕はしい。

鐵嶺は「古塔の町」と云はれる程、其處には古塔が多い。郊外龍首山上の古塔、城內圓通寺の喇嘛塔等、何れも鐵嶺の千二百年に亘る古都としての面影を語つてゐる。龍首山上のものは八角九層高さ七十尺である。

鐵嶺の驛は大連から四百六十八粁にあり、約そ東京、彥根間の距離に當つてゐる。驛は靜かな鐵嶺の町にふさはしい落着のある建物で、驛頭には饅頭笠の滿洲車夫がずらりと洋車を揃へて客待ちをしてゐるのは偉觀である。

城內は元、方形の城壁に包まれてゐたが、今は取毀されて殆んどその姿を失つてゐる。鐵道開通以前は河運による重要物產の集散市場として奉天以北第一の商業市場であつたが、鐵道開通後は遼河利用の水運頽れて余程淋れた。

新市街は日露戰役後最も早く日本商人の定着を見た爲め商工業に根抵は深いが、開原の發展に伴ひ幾分退嬰の氣味がある。此處には綠樹爽かな公園があり、運動場、蓮池等を備へ、市民好個の遊步場となつてゐる。また園內には鐵嶺神社、橋口少將表紹碑がある。

開原は鐵嶺から三十三粁五、鐵道開通前までは草深い一小農村であつたが、今やその勢は鐵嶺を凌駕し、まだまだ發展しようとしてゐる。背後に滿洲屈指の豐穰な農產地方があり、每年結氷期には此地方から夥しい馬車が收穫の產物を齎し、每日開原の街に列をなして雪崩れ込む。その賑やかなこと、盛んなこと、開原の急速な發展もさこそと肯かれるものがある。

喇嘛塔の丘もはるかに雲に入る南滿洲の廣き野の旅　（沖野岩三郎）

公主嶺種畜場

四平街停車場

公主嶺停車場

北満をめざして

四平街市街

Pointing to North Manchuria

Ssu-ping-chieh is an entrance leading to interior Mongolia and North Manchuria. Before the building of the railways it was only a small village which is now a city of modern structures and streets. The railroads run inland to both regions where Ssu-ping-chieh supplies with the merchandise and receives the products.

At the ridge of north and south Manchuria is a town called Kung-chu-ling where treaty was made between Russia and Japan. After under the S.M.R. management not only the Russians but other races entered and is now a flourishing town.

The experimental farm had been opened by Count Goto who wanted to lead the primitive ways of farming to improvement.

北満をめざして

四平街は内蒙古と滿洲を繫ぐ玄關口で、南滿、四洮兩鐵道の接續地点である。四洮鐵道は此處から鄭家屯を經て洮南へ達してゐるが、鄭家屯では打通線の通遼へ連絡し、洮南では洮安を經て一方は昂々溪から齊々哈爾方面、北滿の奧深くへ、一方は索倫方面、蒙古の內深く入つてゐる。それ丈けに四平街の市街は北滿、內蒙古の物產を吸收し、又同方面への物資を供給して實に目覺ましい發達を遂げた。元々、荒原の一部落に過ぎなかつたのが鐵道の開通によつて開けたので、市街は總て近代都市の体裁を備へ道路なども整然として廣く、立ち並ぶ建物も壯麗で歐米風のものが多い。又此處の新滿洲街は大正十年の建設で、賭博場、遊里を默許し烟館を建てさせる等當時の滿洲らしい繁榮策を講じた爲め附近の商賈集り次第に繁榮を呈するに至つた。

公主嶺は南滿中の最高地帶で、南北滿洲の分水界となつてゐる。市街は嘗つて露西亞が東清鐵道敷設と共に建設したもので、當時の遺物は今に市內の各所に見られる、又日露戰役には兩國の媾和成るや兩國委員が此處に會して鐵道の授受を行つた歷史的に記念すべき地でもある。然しその露治時代には露西亞は市街に外國人の居住を許さなかつたので發展しなかつたが滿鐵が附屬地として經營することゝなつて以來、日滿商工業者の移住夥しく俄に發展した。現在では滿鐵沿線に於ける特產物市場として第三位を占めその取引高は一年一千萬圓に達してゐる。又工業地として油坊、燒酒工場多く、豆油、豆粕、燒酒の年產額は相當巨額に上つてゐる。

農事試驗場は滿鐵の經營で、驛の西約半粁にある。門前のドロの並木美しく、各種の研究室、溫室、陳列室などを參觀した上、露台から廣い場內を展望すればその規模の壯大なのに驚く、又馬車を驅つて緬羊群れる牧場を訪れると其處にはミレーの繪を見るやうな美しい敬虔な光景がある。これは滿鐵總裁たりし後藤伯が滿洲は滿鐵の營業地であるからその地主に對する御禮として地方の原始的農業を改善せねばならぬと巨費を投じて設立したもので、今ではその目的を果しつゝ滿洲の農業に偉大なる貢献をなしてゐる。

新京停車場

首都のプロフヰル

日本橋通り

驛前滿洲宿引の群

滿洲人街

吉野町

Profile of the Capital

Hsin-king, the metropolis, is located in the center of Manchuria. It is 700 kilometers from Dairen. The grandeur of the Hsin-king station beautifies the gateway of the city. This building was constrncted in 1914. The platform comprises all railroad lines to various directions. The vastness of the platform is more than one can imagine.

The city is divided into 3 sections: the in-wall, the S.M.R. zone, and the foreign settlement. According to the city projections the city is growing widely. The Nihon-bashi street is located at the left of the station front, and it is running diagonally. Traffic is crowded with hustling and bustling of the people. At one glance one sees liveliness of the place. The Japanese find restfulness and yearly many are making settlements.

首都のプロフヰル

愈々南滿洲鐵道の最北端に來た、大連から約七百粁、大滿洲國の中心、國都新京である。

新京驛は大正三年の建築で國都の玄關を飾る壯大なもの、南北滿兩鐵道の連結点であり、又日本内地への最捷徑たる京圖線の發起点で、それらの諸線を含むプラットホームの宏大なこと實に驚くばかりである。プラットを出て驚かされるのは滿洲人宿引の一列横隊で、銘々旅館名を大きく染め抜いた半纏に職業意識を見せ、我一にと客を迎へる様は眞に盛んなものである。

市街は城内城外に分れ、城外は商埠地、鐵道附屬地、寛城子の三區となつてゐる。城内は今大都市計畫によつて首都の面目を發揮すべく諸工事の進捗中で、これが完成の曉には實に素晴らしいものが出現するであらう。鐵道附屬地たる新市街は驛を基点として日本橋通り、中央通り、敷島通りの三幹線道路に碁盤形の中小路を作つてゐる。

日本橋通りは驛前から向つて左に斜め南へ走り、途中綠芝美しき南大廣場の街上庭園を經て商埠地の目貫通り北門外大街を過ぎ、現在城内の最大繁華街たる北大街、南大街に通じ、新市街の最重要幹線をもつて任じてゐる。それ丈けに街路整然、街路樹美しく、人車絡繹として賑つてゐる。吉野町は新市街の商店街で、堂々たる洋館建ち並び、内地氣分の横溢した町である。元來新京は長春時代から概して歐露氣分の濃厚な街で、日、滿、露の三國人が相交錯して商況頗ぶる盛んであつた。殊に滿洲の各地で腰掛的氣分の多い日本の内地人も此處では落着き安く永住する者が多いと云はれてゐる。搗て新興氣分燃ゆるばかりの折柄とて内地人の移住者夥しく、その數は激增に激增を重ねてゐる。

國都の偉觀

宮內府

關東軍司令部

國務院

日本大使館

國都建設局及文教部

司法部及國道局

Magnitude of the Metropolitan Skyscrapers

The new born Manchuria pointed out Hsinking as its capital where it is to be populated with 2 million people in the future. The citizens raised voices of cheers and are making rapid movem nts toward a finer and a greater city.
The Kwanto Army H:adq :arters had been transferred fr:m Port Arthur. After the establishment of the country the Commander had the combined duty of the army and the ambassador. The Embassy was posted there and this was the formal expression that Japan recognized first Manchuria as a nation in the world.
The Empero was regimed at the provi ional palace where executive movements were in force until the enforcement of the Imperial government. The Imperial procession was on March 1. 1934. The Imp riel Palace is being made now. It is expected to be a beaut iful and a modern building.

國都の威觀

昭和七年三月一日滿洲國の新生と共に國都を長春に奠め、新京と改稱した。其處は國の略ほ中央にあつて地勢上は勿論、一國統治の中樞として理想的の位置にある。今や新京は三千萬民衆歡びの聲湧く中に、新興の氣燃ゆるが如く二百萬大都市めざしてその建設を急ぎつゝある。又首府として既に國家の樞要機關が集り、他都市を壓する威容を見せてゐる。

關東軍司令部は事變前まで旅順にあつたが、滿洲事變によつて暫時奉天に進出し、滿洲國の新京奠都と共に新京に移轉した。司令部は滿洲に於ける日本陸軍の最高機關であつて、滿洲駐屯の諸部隊を統率してゐる。その舘頭高く燦として煌く菊花の御紋章に吾等は無上の威嚴を感じて誇らしく思はざるを得ない。

日本大使館の建物はもと駐劄聯隊將校集會所で、昭和七年十一月二十五日初めて滿洲國に大使舘を設けることゝなり、その初代大使として關東軍司令官武藤大將が現職兼任で駐劄を仰附けられた。これは世界の各國に率先して日本が滿洲國の承認を正式に表明せるものであつた。

假宮殿は新京奠都後帝政實施まで執政府たりしところで、宮殿の完成まで一時的に用ひられてゐるもの　皇帝陛下には康德元年三月一日(西曆一九三四)この御內廷にて齊戒沐浴、壯麗なる鹵簿に召され國都南郊の郊祭場へと進み受天之命の璽を受けられ、玆に曠古の大典を擧げ帝位に卽かせられた。宮殿は目下大都市計畫によつて首都の中心に建設中であるが、出來上れば近代的摩天樓として壯觀を極むることであらう。

國務院は皇帝陛下の大命を承け、文敎、司法、交通、實業、財政、軍政、外交、民政の各部を指揮監督し國家行政の機務を掌理するところである。建物は將來宮殿に附隨して新築されることゝなつてゐる。現在のはそれ迄の假廳舍である。

司法部と文敎部は既に新國都建設計畫によるその位置に建ち、早くも堂々たる國都將來の片鱗を示してゐる。又現在司法部の建物には外交部が寄合世帶をなし、文敎部の廳舍には國都建設局が便宜併設されてゐる。

滿洲中央銀行總行は城內北大街にあり、半官半民の株式會社組織で、從來複雜混淆してゐた幣制の統一と共に國內の通貨流通を調節し、その安定を保持し、金融を統制するのを目的としてゐる。

懐しき新京

新京神社

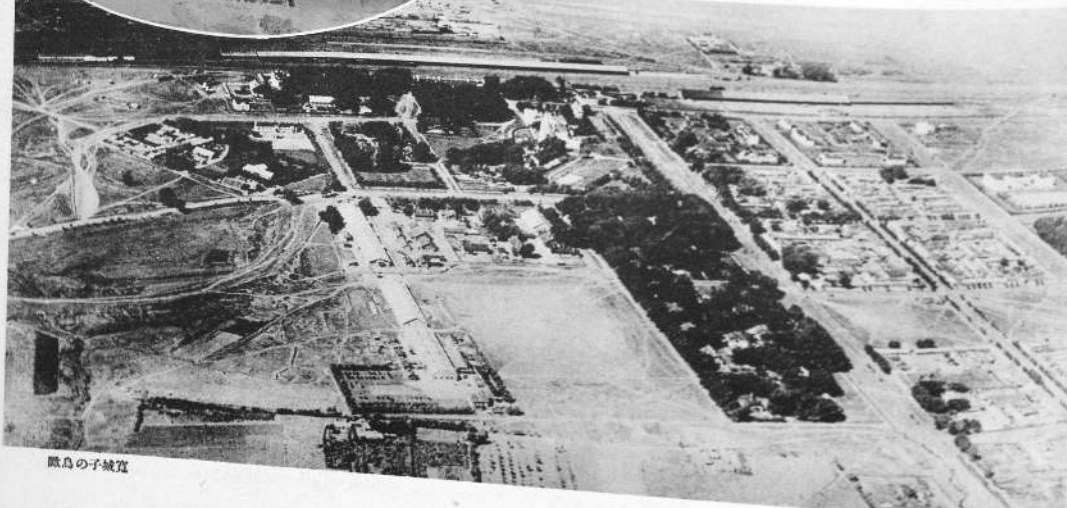
新京飛行場

西公園の池

西公園誠忠碑

南嶺兵舎

西公園のスケート場

寛城子の鳥瞰

Beloving Hsinking

At the southwestern section of the city and near the West Park is the Hsinking Shrine which is surrounded by all freshness and is adored by the Japanese.
The West Park is situated one kilometer south of Hsinking station. The area of the park is about 83 acres. In the park is the big pond which during summer it is used as the boating scene and during winter as the skating rink. There is also a zoo farm where there are various animals.
Kuan-cheng-tzu barracks is found in the north of Hsinking station. It is the well known place where the Japanese soldiers fought during the Manchurian problem.
Nan-ling barracks is two kilometers from the south gate of the walled city.
Hsinking aerodrome is situated in the suburbs of the city. It is the Manchou Aerial transportation Co's, and the centre air-port of the Nippon-Manchou air-route.

懐かしき新京

新京神社は新市街の西南部、西公園の近くにある。神社としては新京唯一のもので、境域まことに清新、邦人の崇敬をあつめてゐる。

西公園は新京驛の南方約一粁のところにあつて、新市街の西南隅、面積十萬坪を占める近代的設備を有する公園で、かゝる宏大瀟灑な公園を持つことは在留邦人の誇りとされてゐる。驛から中央通りを一直線に通り抜けると公園の正門があり側には平和を象徴する等身大の女神像が立ち、園内には至る所に翠綠滴る樹林があり、百花亂れ咲く花壇があり、又溫室あり、池あり、池には噴水があり、樹林の中には檻を設けて狼、熊、鹿、猿、兎等大小獸類小禽などを飼ひ、あやめ咲く池、瓢箪の池、その畔には潭月橋が架り、小亭の設があり、夏はボートに、冬はスケートに市民の感興を呼んでゐる。又小高い台地には寛城子事件の犧牲となつて仆れた人々を弔ふ誠忠碑が建ち、訪れる者にありし日を偲ばせる。

寛城子兵舍は新京驛の北方にあり、その附近には露治時代の市街が佗しい姿を止めてゐる。滿洲事變の當時わが長春駐屯軍が逸早く駈けつけて占據したのはこの兵舍であつた。滿洲國では兵舍附近に約八萬五千坪の土地を買收して飛行場と滿洲國官吏の宿舍を建設する計畫を建て着々その歩を進めてゐる。

南嶺兵舍は城壁の南門から東南約二キロにあつて、滿洲事變に於ける有名な激戰地である。當時長春はこの南嶺兵舍と寛城子兵舍に挾まれて最も脅威を感じてゐたので、我軍の出動がもう數時間遲れてゐたならば、想像も及ばぬ大事に至つてゐたであらう。この事は多大の感銘と共に特筆大記されなければならない。

新京飛行場は新京郊外寛城子にあつて、滿洲航空輸送會社の飛行場である。乃ち日本航空輸送會社と提携して日滿空の連絡を計る滿洲國内の中心で、日本からは、大連、奉天、新京と連絡し、新京からは哈爾賓、綏化、海倫、克山、齊々哈爾、佳木斯、富錦、寧安へ又吉林、新站、敦化、龍井村、灰漠洞へ飛んでゐる。

松花江を溯る

吉林河南街

吉林市街

吉林松花江上の汽船

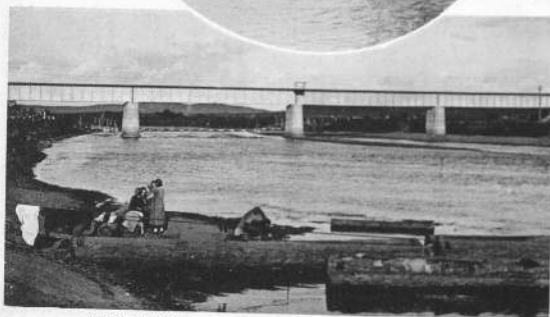
拉法驛より拉法山を望む

敦化驛附近の京圖線牡丹江鐵橋

敦化驛

小盤嶺より見た京圖線

圖們の町

京圖線圖們國際鐵橋

Up the Sungarri

Kirin is often times called the Kyoto of Manchuria. Its three sides are surrounded by the mountains and the Sungarri on its south. The logrolling occupation is carried on. The Consul General office is found here.
Tun-hua became the important station after the main railway line ran through. The city is 1½ kilometers from the station. And outside the city limit is a famous carrot farm.
The Mu-tan is an useful river where precious pearls are found.
Tu-men is the place where it is the end of the Hsin-tu line from Hsinking. The boundary line is distinguished by the great iron birdge which divides Manchuria and Chosen.

松花江を溯る

吉林は滿洲の京都と呼ばれ、山紫水明の郷である。山は東西北三面を繞り、南に松花江が開けてゐる。川はこのほとりを二うねり大きくうねつて下り、江面一つぱいに夥しい木材を浮べて流れてゐる。流石、「木の都」吉林らしい、松花江上流地方の大森林から伐り出される木材は總て此處に集り、此處から水路ハルビンに或は鐵路新京及び北鮮へ搬出されるのだ。城内は吉林省を支配する將軍の居城であつたし、今尙省公署の所在地とて巨商豪舖軒を並べ殊に河北街などは人車絡繹として商況頗る殷賑である。商埠地は城外の東北部で、吉林停車場があり、日本領事館もある。主として邦商の店舖はこの區街に集つてゐる。

敦化は淸祖發祥の靈地で、久しく吉敦線の終点となつてゐたが京圖線全通の爲めその主要線となつた。市街は驛の東南一粁半余にあり、周圍に三粁半の土牆を繞し、五つの城門を開いてゐる。市街中央の十字街は商舖を集めて最も繁盛である。附近は一帶に地味肥沃、農林産物頗る豐富であるが特に敦化の人蔘とて一根數百圓の貴重なる天然人蔘を産して有名である。

牡丹江は敦化城外を流れてゐるが、舟揖に便でない。然し水産豐かで特に高貴なる眞珠を産し、又流域の農耕地を潤し非常に有用である。

圖們は圖們江の左岸にあつて京圖線の終点、此處から新京まで約五百四十七粁である。圖們江には新裝美しき國際鐵橋が架り渡れば朝鮮、咸鏡本線に連絡してゐる。京圖線は所謂滿蒙五鐵道の一として問題となつたものであるが、今では却つて日本内地と滿洲の中樞を繋ぐ最捷徑として重視され、今後の發達を期待されてゐる。

國士は薫る

ハルビン郊外志士の碑

伊藤博文公胸像

建國記念碑

驛前通りより滿鐵公所

The Patriots not died in Vain

Transferring from the S.M.R. to N.M.R. line brings Harbin in a beautiful sunset. The Harbin station recalls sad memory of the death of Duke Ito of Japan. He was mercilessly killed by a Korean. His bust remains as a memorial in the Japanese Residents Hall.

The Manchurian Railroad building is located at the right side of the street running directly ahead from the station. Its white building reflects the national activities it gives.

The monument for the six patriots who were honoured as displaying Japanese spirit is found 2 kilometers from the station. It stands in the exact ground where they were executed.

國士は薫る

新京で南滿鐵道から北滿鐵道へと乘換へすつかり露西亞臭くなつて、紅い夕陽さす高粱の原を漸くハルビンへ着く。

ハルビン驛は伊藤博文公最後の地としてその悲しい思ひ出に胸を打れる。明治四十二年十月二十六日、六十九才を一期として去つた伊藤公の、その射殺された現場、改札口に近い右より數へて三番目の太柱は當時を語るが如く今尙ほその悲しみを傳へて殘つてゐる。北滿鐵路はこの驛で丁字形に分れてゐる、その新京間を南部線と呼び、ボグラニチナヤへ向ふものを東部線、滿洲里へ向ふものを西部線としてゐる。今は三線共に日本と歐洲を聯ぐ立派な國際鐵道であるが、元々露西亞の東漸主義によつて工事を起し、西曆千九百二年に全線開通したものである。ハルビンの市街はこの鐵道によつて、高粱の草に紛れた小部落から一躍「滿洲のシカゴ」として今日の大をなすに至つたので、それ丈けにハルビン驛の活躍には目覺しいものがあり又實に重要な位置を占めてゐる。

伊藤公胸像はモストワヤ街のハルビン居留民會々館階上に安置され、その惜しみても余りある悲しき最期を記念してゐる。

建國記念碑はハルビン驛前に立ち、大滿洲國の隆々たる建業を誇示する如く、儼として北滿の大都市に臨んでゐる。

滿鐵公所はハルビン驛前のワザルヌイプロスペクト(車站大街)にあり、その重々しい白亞館は滿鐵の國家的活躍を想はせて街頭に威容を示してゐる。ワザルヌイプロスペクト(車站大街)はアスファルト高級鋪裝の道路で、明るい感じのよい大通りである。ハルビン驛からこの通りを一直線に、その突當りの廣場には中央寺院がある。

志士の碑はハルビン驛から市街を西南へ約二粁足らずにあつて、日露の役に際し惜しくも散つた志士、横川省三、沖禎介、松崎保一、中山直熊、脇光三、田村一三の「日本魂」を傳へてゐる。碑の立つてゐる所は志士が悲噴の銃殺に處せられた刑場であるといふ。

七十に片足を掛けたる老齢の身を提ぐること火の玉を提ぐるが如く、熱烈精刻、幾たびか海を渡つて鷄林の雲に入り、激徒刺客其血を望んで喉を鳴らすの間に處しつゝ、日々激務に當つて朝の九時より夜中の二時に至り、或は徹夜十三日に及び、而もなほ足れりとなさずして、病後の身を萬里の朔天地に晒らし、而して哈爾賓原頭秋もなほ冬に似たる所、五尺のダイヤモンドの如き寶軀を、刺客一發の毒丸に授くるに至つて始めて休しぬ。嗚呼、斯くて公は竟に瞑しぬ。

（伊藤銀月）

北滿の大都

市街の鳥瞰　埠頭區の景觀　キタイスカヤ街　滿洲人街傅家甸　中央寺院　イベルスコイ寺院　北滿鐵道クラブ　郊外極樂寺　北滿鐵道廳

Harbin of Today

It is the cosmopolitan city where all nations' Consul Generals are seated. The city developed through the constructions of the railways by the Russians who aimed to create a Moscow of the East. In 30 years the unfamiliar small village grew into a big metropolis of 450,000 populations.
The Harbin night is said to surpass that of Paris. The Roman Catholic churches give an air of a Russian City.
N.M.R. building is in the center of the city. Its N.M.R. club is the only place where people obtain amusements.
Kitaiskaya street is a Ginza of Harbin. Many of the Japanese merchant stores are conducted here.

北滿の大都

露西亞が満國と密約を結んで東清鐵道(今の南北滿兩鐵道)の敷設權を得たのは西暦千八百九十六年、(明治二十九年)であつた。その頃ハルピンは實に名もなき一寒村で、今日の素地となる何ものもなかつたが、露西亞は同鐵道を敷設する中心を此地に選んで工を起し、又將來は「東洋のモスクワ」たらしむべき新市街の建設を此處に選んで工を進めたので、俄然大發展を見るに至り、その間北清事變、日露戰爭、勞農革命等によつて多大の打撃を受けたが、それでも僅々三十年間に人口四十五萬の大都市を實現せしめたのである。それ丈けにハルピンの市街は純然たる露西亞街で、そのスケールの大なることなど總て大陸的である。又三十ケ國以上の民族が雜居してゐるといふコスモポリトな市街で日、米、英、佛、伊、獨、露、白、波、ラトヴィア、チエッコ等各國の領事館もある。殊に夜のハルピン、歡樂のハルピンはパリー以上であるといふ。

キタイスカヤ街は埠頭區にあつて、ハルピンの銀座である。各國の代表商館は多く此の通りに集つてゐる。邦商の松浦、熊澤、梅原等の大商店も此通りにあつて幅を利かしてゐるが、中でも松浦商會の尖塔はその高きことハルピン第一と言ふから、日本人としては痛快だ。又夜半のキタイスカヤ街はパリのモンマルトル、ベルリンのライプチヒ、ストラッセ、ロンドンのピカデリー等の氣分を湛えて豪華盛美なる歡樂の巷である。

埠頭區はハルピンの下町とも言ふべき商業區で、ハルピン驛前一帶の新市街を山の手とすれば之と對比される街區である。

傅家甸は純然たる滿洲街で、露治時代に新市街や埠頭區に居住を許されなかつた支那人が此處に集つて街區を作つたものであるが、現在では却つて新市街や埠頭區を凌ぐ殷盛さを見せてゐる。

北滿鐵路廳は新市街の中央にあつて、その社屋は東洋有數の大石造建築物として有名である。北滿鐵路俱樂部はハルピンに於ける中流以上の家庭人士唯一の娛樂場で、此種の施設に於て恐らく東洋一だらうと云ふ宏大さを持つてゐる。入場料を拂つて入るのであるが、庭園丈けの散步を目的とするもの、料理の賞味を目的とするもの等々で大いに繁昌してゐる。

中央寺院、イベルスコイ寺院は共に舊敎を信ずること深い露西亞人の典型的な敎會で、その建築樣式にはロシア氣分が横溢してゐる。

極樂寺はハルピン郊外にあつて、滿洲人の寺院として代表的なものである。

こゝでは私はロシア人の色彩で滿された公園と全く別な區域に築き起された支那町と大きな小學校と楡や白楊で圍まれた家屋と銀座通りに似た賑やかな街と、何となくさびしい人氣のない日本町と、滿鐵營業所の三階の一室にゐる例の評判のアンナと、そこの壁にかかげてある金色の小さな聖母の像と、丸石を敷つめた歩きにくい道路と此の市街での三越と云はれるM商會の五階の上から見た見事な展望と、其他にもまだ見たものは澤山あつたけれども、しかも私の心を最も深く動かしたのは、その停車場と、舊市街の向うにある志士の碑と、帆船や汽船で滿たされてゐる松花江の流れに架けた大きな鐵橋とであつた。(田山花袋)

春來りなば

松花江の新鐵橋

松花江鐵橋

松花江の夏

氷上交通橋の客待

傅家甸埠頭

松花江上のボートの群

ロシア婦人

ロシア少年

ロシア娘

Sighs of Spring!

The green grass!
The willow trees!
The twittering of the birds!
What joy it brings to all hearts!
But lo! summer is quickly here and realm of dreams are shattered.
But the two months of summer can be enjoyed with boating and swimming in the cool river Sungarri. Russian beauties can be seen sun bathing by the banks of the river.
Autumn calls at the end of the August, end by the middle of September winter is here.
Skating and sleighing are en hused by the laughing boys and girls.

春來りなば

春に夏に秋に冬に、と言つても冬の長い春秋の極めて短い北滿のことであるが、それにしても四季を通じて交通に運搬に行樂に遊戲に利用されるところの多い松花江の流はハルピンにとつて欠くことの出來ないものである。

ハルピン驛を離れて歐洲へ向ふ北滿鐵路西部線は埠頭區の東側を進んで間もなく松花江の大鐵橋にかゝる、その長さ三千百九十呎、八ケのアーチスパンがあつて、大松花江を跨いでゐる。

春が來て河の氷の解けはじめるのは三月頃で、それから四月頃氷がすつかり解けて終ふと、急に草、柳など青い芽が一氣に萠え出で春と一緒に夏が訪れる。その頃、松花江の堤を冬から解放された歡びに彼方此方行樂するロシア人が參々伍々連れ立つて樂しく打ち興じてゐるのが目に附く。

六月、七月、ハルピンの本格的の夏はこの二月の間である。華氏百度を過ぎる酷夏は日に日につゞく、江上には幾つも幾つもボートが浮ぶヨットが走る、又水着姿のロシア美人が幾人も幾人も岸に甲羅を乾してゐる。全く夏の松花江岸は裸女の陳列、稍々ともするとイットの氾濫だ。それにしても夏の松花江の水はハルピンの人達には堪えられない魅惑なのだ。

秋はもう八月の末に訪れる。そしてそれは周章しく過ぎ冬は九月の半に顏を出す、十一月の初め松花江は既に氷で固く閉されて終ふ。すると、舟行に代る橇の交通が頻繁となり、江岸の所々に橇の乘合場が設けられ幾つかの橇が肩を並べて乘客を待つてゐる。又スケーティングが盛に行はれる。

此結氷期を外にして松花江を上下する汽船、ジャンクその他の船は總て傅家甸の埠頭に連繫を持つてゐるので、埠頭は常に帆檣林立して活氣を呈してゐる。

松花江の新鐵橋は拉賓線のハルピンに於ける終端、三果樹驛から更に進む呼海線に繫かる松花江上を跨ぐ鐵橋で、北滿鐵路西部線の松花江鐵橋より約二粁下方に架せられ、その規模の宏大なると設備の最新式なるとによつて滿洲第一の鐵橋とされてゐる。

「どうか僕にも異國情緒を味はしてくれ、あゝロシア娘が見たい。」と駄々をこねた。眼鏡の中には其の時眼が細うなつてゐた。……… Nの偵察の眼は其の度に動いた。けれども默つて見過してゐた。Aは時々「今行つたのは美人だつたになア——。」など幾組となしに美しいロシア娘が通つた。と暗にNが當つて見てくれゝばいゝのにと云つた樣な口吻を洩らすと、

「あれは他所のお孃さんだよ。」と、窘められて、

「ロシアではお孃さんでも、何んでも招かばなびくと云ふぢやありませんか、新聞にそんなことが出てゐましたよ。」………

（奥野他見男）

Interior of Northern Manchuria

Sui-hua is an organized town of 18,000 people. The land is rich and by the extension of the railroads it has a prosperous future.
Hai-lun is reached three hours from Sui-hua. At the beginning the colonial soldiers and the exiled farmers cultivated the land.
Pai-chuan is the most fertilized land of Hei-lung-kiang province. Bean raising is operated and oil, powder are the by-products manufactured.
Ko-shan is the terminus station of the Chi-ko line. This is the spot where a connection may be made with the Ko-kai line. It is yet a meager land with a population of 4,000, but under cultivation it is likely to be the trading center in the future.

北満深く

綏化は北團林子とも言はれ、哈爾賓の北方賓北線の一驛である。七十年前の同治頃から勃興した市街で、人口約一萬八千、官公衙教育其他の諸機關も一通り整ひ、その中央區たる東西大街は商業區として殷盛である。何しろ廣漠、豐穰なる北滿の農耕地を周圍に持つ都邑とて、農產物の集散夥しく、昭和三年賓北線の前身、呼海線の開通によつて運輸の利便を增し、益々發展しつゝある。

海倫は賓北線の終点で、綏化から三時間余で達する。淸の初、少數の屯田兵と流刑農民によつて開かれ、光緖二十九年副都統府の設置となつて急に發展した。今は海倫縣公署の所在地で人口約二萬、市街の規模は綏化より大きく、所謂北滿の穀倉たる豐穰地の中にあり、物產の集散頻繁、從つて商業盛大である。又製油、製粉工業も他地方に比し著しく發達してゐる。

通北は通北縣公署の所在地であるが、未だ市街としての完全なる体裁を整へず、僅かに附近部落との物資需給市場として立つてゐる。然しその附近には廣大、肥沃なる未開墾地があり、これが開發と賓北線全通の利便によつて將來の發展を期待される。

拜泉は人口約一萬縣公署の所在地、商業の殷賑なることはこの地方稀れに見るところである。元來この地方は黑龍江省中最も肥沃なる農耕地とされ、農產の豐富、近隣諸縣に其比を見ない。從つて大豆原料による製油、製粉、製粕の工業頗る盛んで、製品は殆んど齊々哈爾、ハルビン、新京方面へ移出される。

克山は久しく齊克線の終点であつたが、今は呼海線と連結して齊北線と改稱され、その一驛となつてゐる。人口四千、未だ貧弱なる小邑であるが、齊北、賓北兩線の結合全通を見たので今後黑河沃野の未開墾地の開拓により、その中心地として物資の集散、商工業の發達にその將來を期待さる。

泰安は齊北線の一驛で、事變前まで黑龍江軍の兵營があり、飛行場もあつた。今は皇軍の一部と滿洲國軍が警備してゐる。

寧年站は齊北線の一驛で、訥河への支線が此處から分岐してゐる。

拉哈站は訥河支線の一驛である。事變當時皇軍の精鋭に追究された敵は途中此邊りの鐵道を破壞しつゝ潰走した。訥河近くの鐵橋等も全く破壞され、皇軍によつて應急修理を加へられたものであつた。

訥河は訥河支線の終点、宣統二年訥河直隸廳が設けられ、民國二年縣城となつた。人口五千、商業は附近の農民を顧客として營まれてゐる。一般農產物の外葉煙草、麻、獸皮類を特產する。

興安嶺白樺の林

蒙古包

海拉爾驛

興安嶺トンネルの入口

興安嶺ループ線

昂々溪驛

チハル日本領事館

洮南驛

滿洲里停車場

チハル市街

興安嶺を越ゆ

Beyond Hsing-an Range

Cheng-chia-tun is a progressive city of trading market to Mongolia. The streets are not systematic, but the storemen and the street venders are busily performing their duties. In 1918 the railway connections were made between this city and Ssu-ping-chieh.

Tao-nan grew rapidly when the railroad traffic was opened in 1924. The city is surrounded by the clay walls.

Ang-ang-chi is known as the hard fighting field at the time of the Manchurian case. It is a terminal point of Tao-ang route and is conjuncted thereon to Chi-chi-ha-erh. Rnssians and Manchurians are residing, and it shows the atmosphere of Russia with Roman Catholic churches and so on.

Chi-chi-ha-erh is the capital of Hei-lung-chiang province. The walled city swa built to check the invasion of the Russians. And 200 years ago the general of the Hei-lung-chiang army paved way to settlement and developed into a official seat for the political and military affairs.

935 kilometers from Harbin Manchuli is situated where it is the terminal station of the N.M.R. line. Being the borderline it is the land of importance in all politics, economies and communications. The city is almost surrounded by the mountains. Population is about 13,000.

興安嶺を越ゆ

鄭家屯は蒙古の貿易市場として發達した市街で、大正七年(西曆一九一八年)四平街との間に鐵道が開通してから更に發達し今では人口五萬を有してゐる。市街は不規則であるが、商業區として北大街、南大街があり、特に南大街には各種の市場が開設され、皮革を賣る店、農具や馬具を列べた露店、蒙古語や西藏語の看板を揭げた商店など連り、その間を紫や黄色の長い着物を着た蒙古人や荷を積んだ駱駝が去來して賑かにも珍らしい街觀である。

洮南は大正十三年(西曆一九二四年)全通した四洮線の終点で、その鐵道によつて急激に發達した新興都市である。人口約四萬、東部内蒙古の物產を集散して商況盛大、市街の周圍に高さ丈余の土壁を繞らし、その四方に大小二門宛を開いてゐる。街區は碁盤形に整然としてゐるが未だ空地多く、新築家屋でドンドン埋めつゝある。鄭家屯と同じく蒙古色頗る濃厚で、索倫邊りから出て來る者の珍奇な風俗に接することが出來る。

昂々溪は洮昂線の終点で更に齊々哈爾へ連絡してゐる。滿洲事變の激戰地としてその名は高い。北滿鐵路の昂々溪は此處から五キロ北方にある。一般に昂々溪の市街といふのはこの北滿鐵路附屬地で、其處には滿露兩國人が混住してゐる。人口約一萬六千、ロシア氣分の濃厚な市街で、舊教の教會の尖塔や製粉會社の煙突が空高く聳えてゐる。

齊々哈爾は黑龍江省の首府である。往年帝政ロシアの北邊侵畧に對して建られた城市で、二百余年前黑龍江將軍が墨爾根から移住して發達した。人口約七萬、市街は二重の城壁で圍はれ、城内を官衙、住宅地とし、城外は商業街となつてゐる。附近の農耕地は貧弱で、工業生產も云ふに足らず、產業都市としてよりも專ら政事及び軍事の都會である。その西郊に龍沙公園があり、市民愛好の遊歩地となつてゐる。

札蘭屯は北滿鐵路の一驛で、人口約三千、この邊りから既に大興安嶺の一端にかゝつてゐる。その山容水態掬すべく特に避暑地として知られてゐる。

北滿鐵路の列車は札蘭屯邊りから漸次興安嶺にかゝり博克圖附近では次第に嶮岨な山となる。こゝから十二粁、里白樺の密林などあつて風景絶佳、有名なループ線があり、二回の大旋回の後長さ三キロに亘る大トンネルに入る。このトンネルを出ると興安嶺を越したことになる。

海拉爾(ハイラル)はコロンバイルの政治的、經濟的の中心で、蒙古人統治の政廳所在地である。人口約一萬、滿露人を主として蒙古人も相當にあり、わが邦人も百名位居住してゐる。蒙古貿易によつて商業頗る盛んである。又皮革、罐詰、製粉等の工業も盛んである。

滿洲里(マンチユリー)は北滿鐵路の終点、哈爾賓から九百三十五粁、國境丈けに政治、交通、經濟の各方面に亘つて重要な地である。市街は殆んど山で包まれ、コバルト色に塗つた教會のドーム二つと給水タンク二つが空高く聳え、家は赤煉瓦で彩られてゐる。人口約一萬三千、露人八千、滿人五千、日本内地人百五十、鮮人六十。

Rotembori.

No one visiting the Fushun coal, can see the Rotembori (open-air-digging of the coal-mine) without astonishment. Many mine-workers dig coal in an open mine like a valley under the blue sky there.
It is the easy mine which is shallow to the coal-bed. There are two Rotembori in Kojoshi and Senkinsai and other mines have galleries of the general way.
But these general mines are being changed one after another to an open mine, and even the Fushun city was forced to be removed for carrying out the plan of a large Rotembori.
Shales on the coal-bed which must be took away to dig coal are the useful oil-shall charged with six per-cent oil.

蒼穹の下に

撫順に來て露天掘に驚かぬものはなからう。青天井見晴しの大きな谷を作つて、石炭を採つてゐる。これは炭層が地表に近いので、表土さへ剝がせば直ぐ石炭を得ることが出來る便利な炭山であるからだ。尤も露天掘は古城子、千金寨の二ヶ所で、其他は普通行はれてゐる坑道による採炭である。然しこの坑道によるものも漸次露天掘とされつゝあり、大露天掘計畫遂行のために、從來建設されてゐた市街さへ移轉するの止むなきに至つた程である。

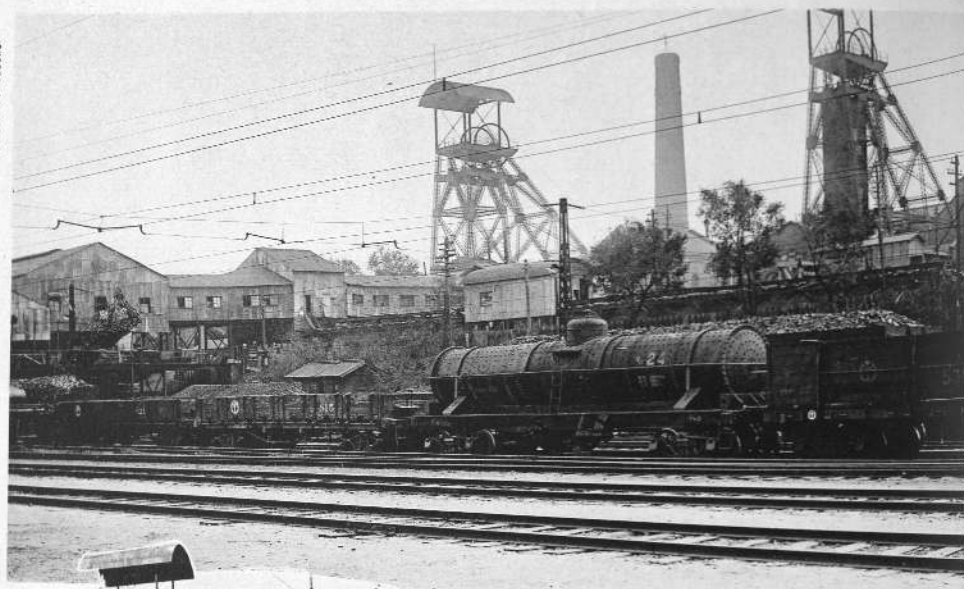
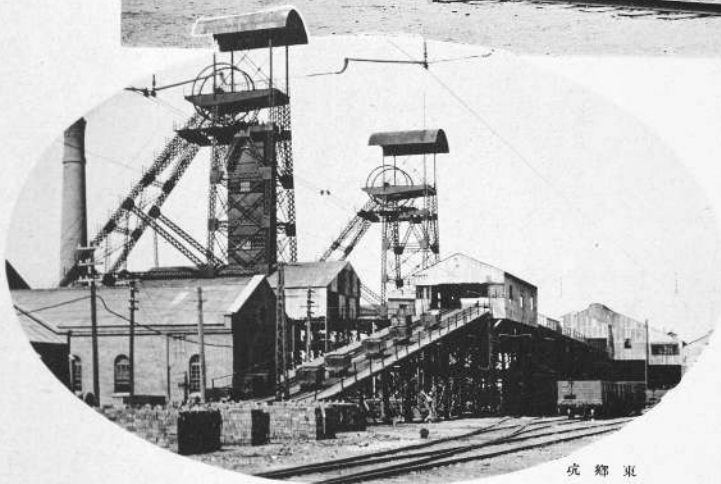
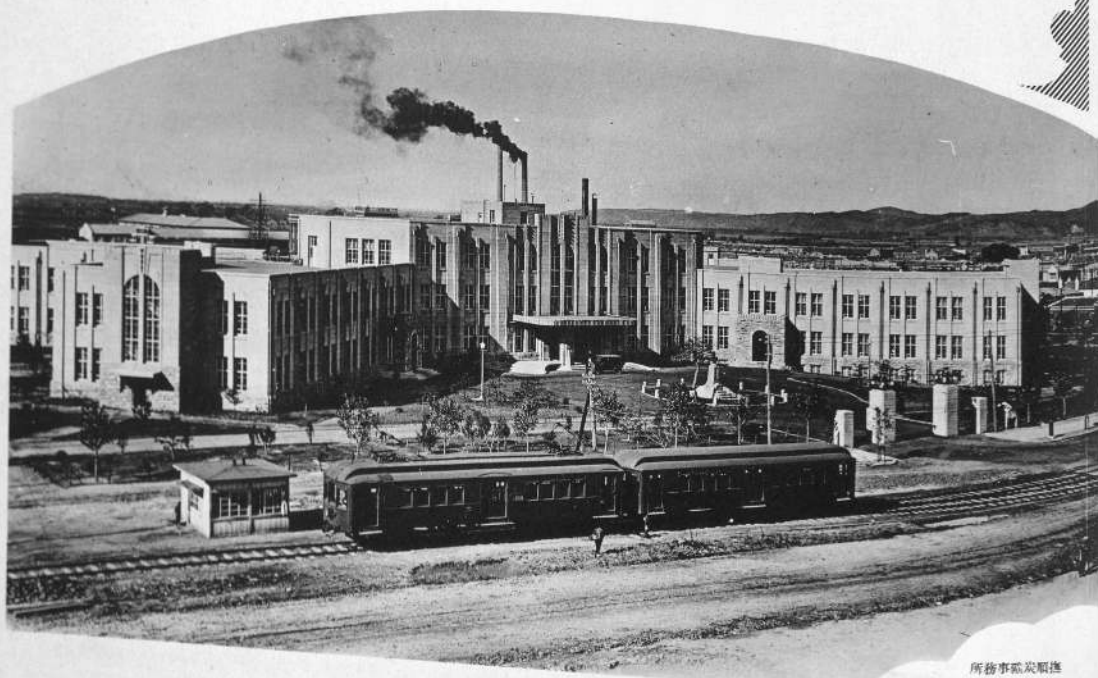
露天掘には種々な機械力が利用されてゐる。地表の土や岩を剝ぐのにエキスカベーターやスチームショベル、電氣ショベルが用ひられ、又一端黑色火藥で緩められた炭層は、電氣ショベルで採掘されてゐる。それからエンドレスロープ運炭機で炭は搬出されて行くのである。

かくて撫順に於ける最近の採炭量は一ヶ年七百萬噸内外に達してゐる。埋炭量は九億五千萬噸と云はれ、其中既に採炭したもの六千七百余萬噸であるから、未採掘量は八億八千余噸で、現狀よりすれば未だ百二十年間採炭出來る。炭質は「撫順炭」として定評ある如く窒素分多く灰分僅かで、火力熾烈な良質である。

露天掘の爲め取除かねばならぬ炭層上の岩石は六パーセントの石油を含む油頁岩で、その埋藏量五十億噸と見られ、わが海軍用重油等のため大いに期待されてゐる。

露天掘の光景は壯觀である。數百メートルの深さに、階段狀に地中に掘り下げた、眞黑で巨大な穴の底を、時々一齊にダイナマイトで破壞する。百雷の轟く反響と共に、濛々たる黑煙が孔口に騰つてくる。そのあとには、蟻の如く小さく見える數千の坑夫が機械的に活躍して、粉碎された石炭を運炭車に積込む。やがて石炭車が何輛となく連結され、百足の如くに石炭層の階段をうねくり登り、ある一定の場所からケーブルにて地上に設けられた選炭機の上部まで引揚げられ、自動的に石炭車は轉覆し、空の炭車は飛龍が九天より直下する勢で、穴の底に落ちてゆく。その電光石火的活動と、採炭法の雄大な点でも世界無比である。先年パナマ運河の開鑿者スティーヴンは、親しくこれを見て、「撫順の露天掘に比すれば、自分の仕事などは何でもない」と驚歎した。

（世界地理風俗史）

大山坑

東鄕坑

撫順炭礦事務所

The Fushun Coal.

The Oyama and Togo mines in the Fushun coal were to dig under the management of the S. M. R. in 1911, after Japanese army had obtained the coal by Russia following the Russo-Japanese war.
So they are named after General Oyama and Admiral Togo, the commanders of the Japanese army and navy in the war.
And the coal had been carrying out 300 ton coal a day, before it could get 4000 ton coal a day at a bound to dig them.
Coal in the two mines is abundantly stored, and the digging way is very large there.
The office of the coal has a magnificent building as a pride in the Fushun city.
Not only it manages the coal, but also it gets the sulphuric-acid factory, the coke factory, the power station, the electric railway, and the oil-shale industry in busy bussiness.

地底に採る

大山坑、東鄕坑、共に日露戰役後露國の手から、わが海軍に委ねてゐたのを滿鐵會社が經營するに當つて、明治四十四年開鑿した炭坑である。そこで當時海陸の首將であつた大山、東鄕兩將の名を冠したものである。然かもこの兩坑の開鑿によつて從來一日僅か三百噸内外の出炭であつたものを一躍四千噸に達せしめた。

それほど大山、東鄕兩坑の埋藏量は多く、從つて採掘規模も大である。そこには堅坑捲上機や扇風機、喞筒等蒸氣力や電力で動かされてゐる樣々な機械が備つてゐる。そして電氣軌道が開かれて掘出された石炭は直ちに市場へ送られるのである。

炭鑛事務所は撫順の町にその宏壯な建物を誇つてゐる。こゝでは炭坑の經營ばかりでなく、それに附帶する硫酸工場、コークス工場、發電所、電氣鐵道、オイルシエール(油頁岩)工業を經營してゐるので、日々に繁瑣を加へる事務を處理するのに忙しい。

撫順炭坑は聞きしに勝る大規模なり。導かれて千二百尺の地下に降る。寒からんと思ふに大違ひ、地熱人に迫つて寒暖計は華氏の七十五度を指せり。

外套ぬ脫ぐや地獄の門口に　(巖谷小波)

撫順市街全景

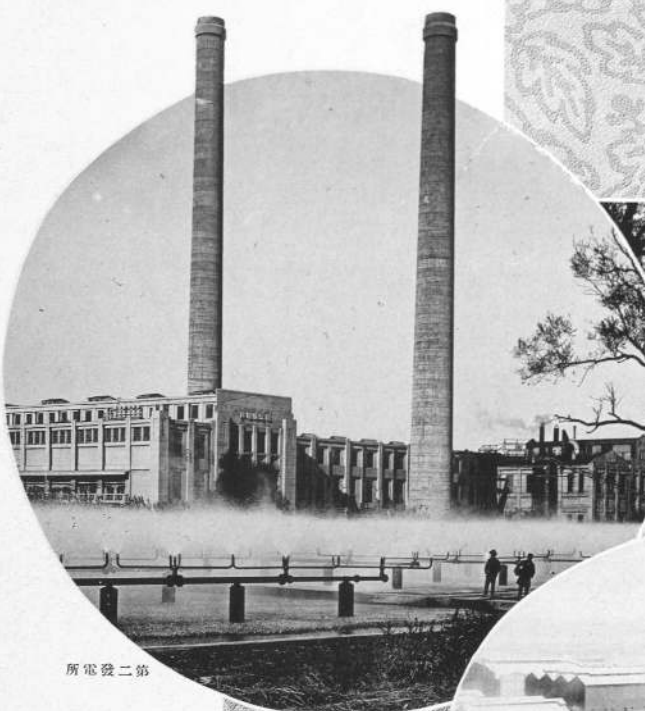
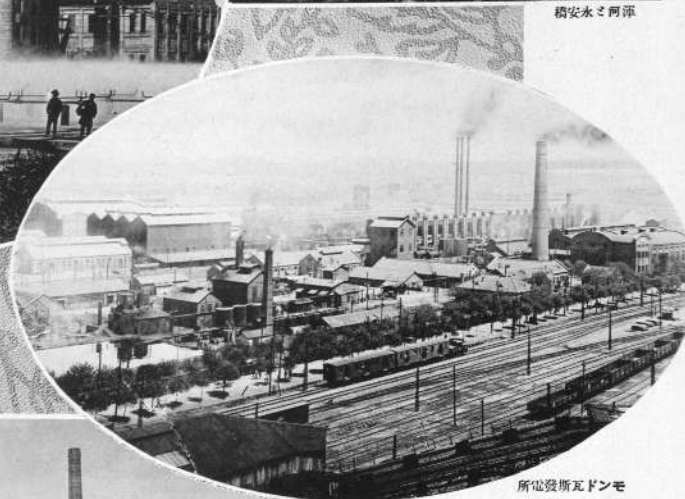
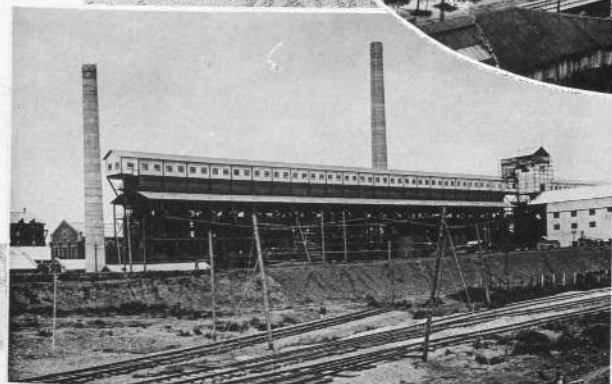
撫順城

渾河ミ永安橋

第二發電所

モンド瓦斯發電所

オイルシエール工場

炭に榮ゆる

The prosperous city for coal.

The prosperous city of Fushun for coal was removed to the present place from the city where leaves China streets to expand the Rotembori in 1924.
The new city is fine and regular as one of the cities in Manchuria.
There is the castle of Fushun north of the city. The China town in the castle had been flourishing before all offices and large stores in the town removed to Senkinsai.
The river Konka runs between this castle and the new city, and the Eiankyo bridge is laid across the river.
The views in this neighbourhood are beautiful and peaceful.

炭に榮ゆる

石炭に榮える撫順の新市街は大正十三年に露天掘擴張の爲め舊市街千金寨に民國街を殘して現在のところへ移轉した。市街は滿洲の各都市に見るやうな碁盤形に整ひ、新しい丈けに氣持ちのよい市街である。その北に撫順城がある。今は城内の諸機關が千金寨に移轉してゐるので淋れてゐる。城門に見る樓閣の所々風雨に荒壞してゐるのも、廢都を思はせて哀れを止める。丁度この撫順城と新市街の間に渾河が流れてゐる　，そこに永安橋が架つてゐる。橋畔の眺め亦美しく靜かである。

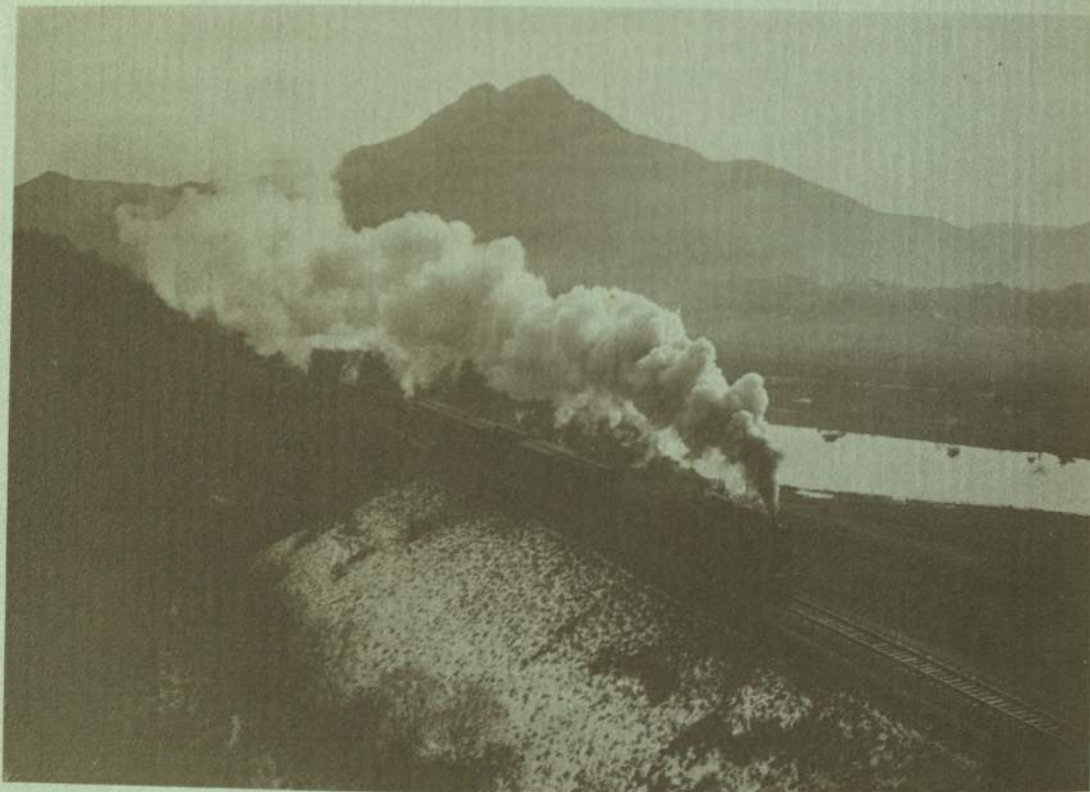
撫順炭礦の附帶事業である發電所は、モント瓦斯と大官屯の二ケ所にある。モント瓦斯工場は一萬五千キロワット、大官屯工場は三萬キロワットの發電能力がある。電力は炭坑關係諸機關に使用される他か奉天、遼陽、煙台へ送電してゐる。發電はモント瓦斯工場では石炭を氣化して機關の燃料とし、火力發電機を動かす。又大官屯工場では石炭を粉碎して百分の一吋の微粒とし、汽罐の燃料として、殆んど瓦斯のやうに完全燃燒させ發電機を動かす。尙ほオイルシエール工場は油頁岩を粉碎して乾溜し、重油を採るのであるが、これによつて生産される重油は一ケ年五千四百噸である。

實際撫順のあの炭鑛といふものは大したものだつた。第一あの露天掘の規模の大きいのを見給へ。………今の市街の下もすべて石炭で滿たされてゐると云ふではないか。撫順の市街は從つて活氣に富んでゐる。支那街なども中々賑かである女なども澤山ゐる。

（田山花袋）

安奉線を行く

終りたる旅を
見かへるさびしさに
さそはれてまた
旅をしぞ思ふ

― 若山牧水 ―

The Ampo line.

The Ampo Railway line, 260 kilometres between Mukden and An-tung, first was laid down as a military light-railway by the Japanese army in the Russo-Japanese war, and then under the management of the S. M. R., many large and small tunnels were ariven in Fukkinrei and Keikwanzan and other mountains and many iron bridges were laid across the river of Taishigawa and other rivers on the line, and besides the railway was reconstructed on the standard gauge.
The construction was completed November 1st. 1911, after three monthes and two years.

安奉線を行く

さらば奉天よ。新京へ、ハルピンへ行くのにも通つて行つた奉天、そこから引返へして撫順へ行くのにも一寸寄つた奉天、いよ〳〵今度こそはおさらばだ。旅歸へる路を安東へ。再び引返すことなき奉天、滿洲の旅は遂に終りへと近づきつゝある。

列車は山の中をひた走りに走つた。今迄の荒凉とした平野は一變して、松、楢、橡などの疎らに生えた山また山を、或る時は蒼水淀む深淵の畔を、或る時は細流淸らかな谿谷の上を、又或る時は岩石迫る懸崖の下を機關の音勇しく驀進した。白い煙は、黑い煙はモコ〳〵と山峽に長くつゞいた。風のない時はいつまでも〳〵山の裾に棚引いて殘つてゐた。

この安奉線は奉天、安東間二百六十粁だつた。最初軍用の目的で明治三十七、八年戰役の頃わが日本軍の手によつて輕便鐵道として建設されたものであつたが、滿鐵會社の經營となつて以來、福金嶺、鷄冠山等の大小幾多の隧道の開鑿を行ひ、又太子河その他の鐵橋を架け、世界標準軌間四呎八吋半といふ廣軌式に改め、明治四十四年十一月一日、滿二ケ年三ケ月の日子を要して是等の工事は完成したのである。沿線には煤鐵の都あり、淸落な水鄕あり、山容氣高き名峯あり、野趣豐かな溫泉あり等々旅行く者の心を慰さめる樣々な天然の美、人工の華があつて、今旅歸へる路にして、一層名殘りを止めるのである。

曠野行く汽車のごとくにこのなやみとき〴〵我の心を通る
（石川啄木）

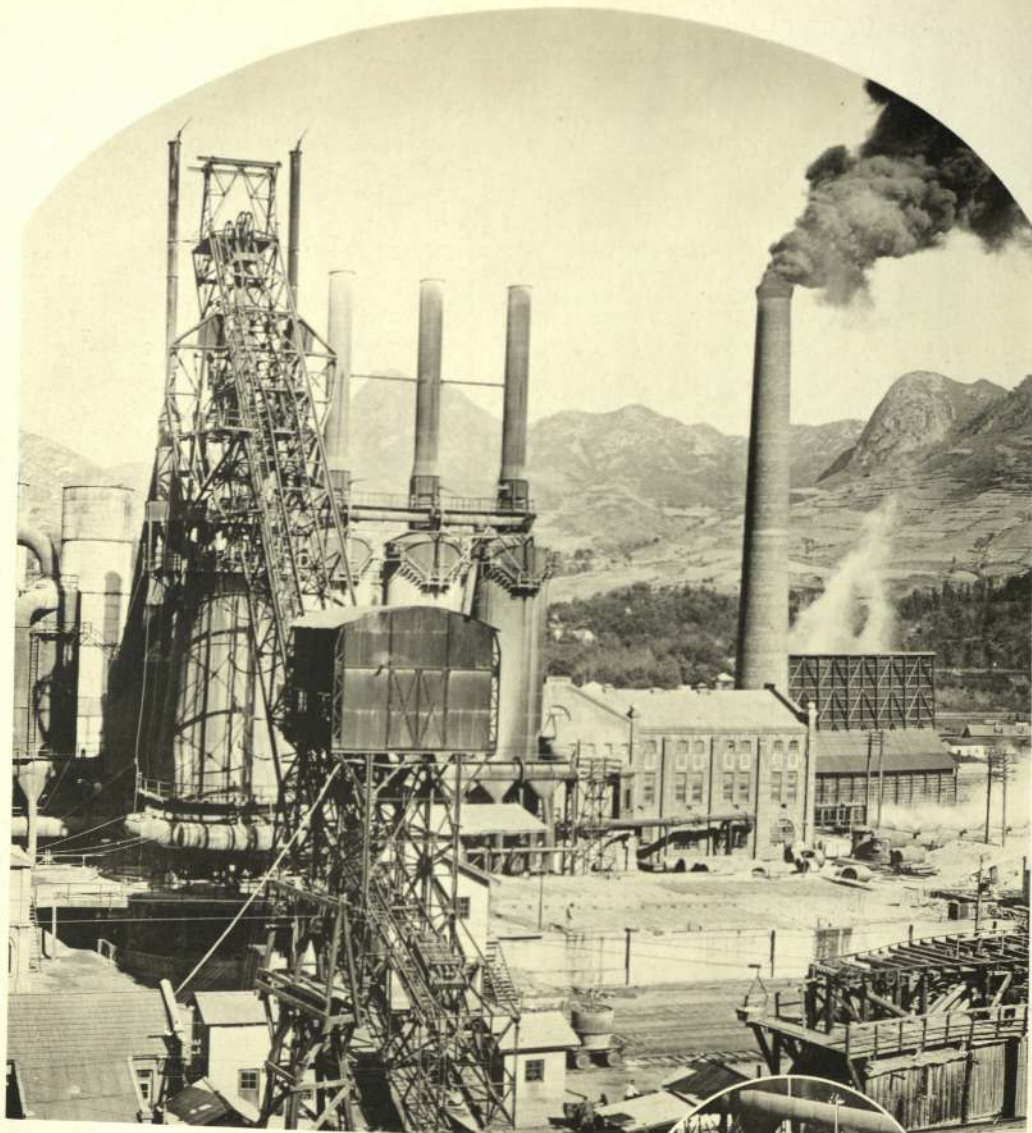
わが汽車の野をゆき居ればあとの驛よ他へ行く汽車の笛聞ゆ
（中村憲吉）

わがうたひすてゆく聲もおもはるれ冬の曠野の旅のかなしみ
（富田碎花）

煤鉄の街

本溪湖製鐵所

石灰岩採取

製鐵作業の一部

本溪湖驛

本溪湖公園

Penhsihu.

The Penhshihu station is principal on the Ampo line and the city is industrial and important for product of coal and iron.
The city, 40 miles south east of Mukden, is surrounded by mountains and is flourishing with workes and is actively in trade.
Coal is stored 250 million tons there and it is an suitable, well burned, semismokeless coal for the iron works and the coke factory.
Now it is being digged 60 thousand tons a year, and is almost offered to the Anshanchan iron works,
There are iron ores stored 80 million tons there, and they are charged with 70 per-cent iron.
The Penhsihu iron works bring forth 80 thousand ton iron a year from the ores.

煤鐵の街

煤鐵の都——どこにそんな重寶な街があるだらう?撫順は石炭だけ、鞍山は鐵だけ、然かも本溪湖はその何れをも兼備へてゐるのだ。そして石炭はあらゆる文明の原動力である。又鐵はあらゆる文明の資源である。その尊い富を持つてゐる本溪湖は、なんと惠まれた市街でないか。

それは奉天から東南約八十粁、四圍、山をもつて繞らされ、恰も谷の底に開けてゐる街である。けれど眺め麗はしい太子河の流れがあり、又天に聳ゆる鎔礦爐から、盛んに噴出する濛々たる煙は、四圍の山を壓して、如何にこの街が繁昌してゐるかを物語つてゐる。谿谷を拓いて造られた新市街も、その面積は僅か二十九萬坪であるが、整然とした街衢には上、下水道が完備され、上水道の如きは太子河から取水塔で吸水し、濾過機を通して一般に給水してゐる。又山の自然を巧みに取入れた公園があり、そこからは綺麗に開けた市街や、谷峽を廻ぐる太子河の流れを眺めることが出來る。その人口約五千五百人の中内地人約二千九百人と云へば、殆んど半數以上日本人で占めてゐる譯けだ。

その昔、大倉組の石炭採掘に始つて、今は日滿合辨事業となつてゐる採炭、製鐵の事業も逐日發展するばかり、その石炭は實に二億五千萬噸の埋藏あり、現在一ヶ年六十萬噸を採掘してゐるが、すつかり取盡すまでは何百年かゝることやら?又鐵の埋藏量は八千萬噸と云はれ、その鐵鑛は七十パーセントの鐵を含み、鞍山の貧鑛に比し頗る良鑛である。これによつて製鐵所では一年十二萬噸の製産をしてゐる。文字通り「煤鐵の都」は炭と鐵で榮えて行く。

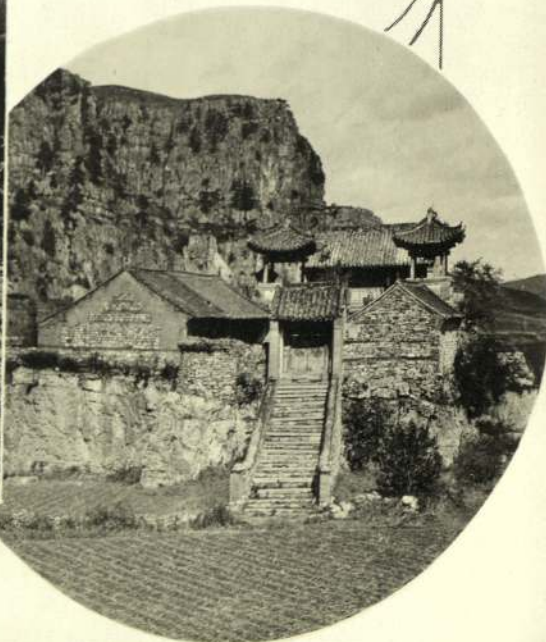
本溪湖地方は太子河の兩岸共に半無煙の炭田で附近に鐵鑛も夥しい。現に千年の昔から高麗民族が鑄鐵工業を營んだ形跡あり、地帶一面に、鐵鑛を熔かした坩堝の破片が無盡藏に採掘され、民家の墻壁はこれで築いてゐる。この坩堝は直經一五〇ミリ、高サ二メートル余もある圓筒形の完全な耐火煉瓦である。

「世界地理風俗大系」より

釣魚臺の壯觀

岩に題して

釣魚台の風光

釣魚臺の奇勝

The quiet views of the Chogyodai.

The train runs through the quiet ravine where is about 20 miles along the clear stream of Saikawa between Kyoto and Bunsuirei on the Ampo line.

The quiet ravine, called the Yabakei (in Japan) of Manchuria, possesses a rare beauty of the glene in Manchuria. Especially the views of the Chogyodai is the most picturesgue.

There is the Fussai-ji temple standing by a clear stream through the ravine and its lone temple, under a window of the train running on the large curved way, makes one of the quiet views of the Chogyodai.

岩に題して

「何といふ清冷な眺めでせう？ 滿洲にもこんな所があつたのですか。アラ、靜かに聞いてゐて御覽、どつかで鶯が鳴いてゐますョ。」

耳を傾けると本當に鶯が鳴いてゐる。懐しい、優しい聲だ。ホホ………と長く引つぱつてゐる。ケキョ〳〵と滑かに囀る。それが遠くの岩の間で鳴いてゐるようでもあり、近くの松で歌つてゐるようでもある。あまり邊りがひつそりし過ぎてゐるからだ。そこには鶯の渡る美しい谿がある。青々とした清潭がある。白くさら〳〵流れる溪流がある。岩に泡する悍湍がある。亦奇岩岸に迫つて懸崖をなしてゐる。

釣魚台だ。――

安奉線橋頭から分水嶺まで細河の清流に沿ふ二十哩ばかりの間、列車は靜かな峽谷を縫ふて走る。そこは滿洲耶馬溪とさへ云はれ、曠野ばかりの滿洲には別天地の觀ある谿谷である。殊に釣魚台は最も眺め澄らかな處で、峽中の絕景である。こゝを大きく屈曲して走る鐵道の下に溪流間近く普濟寺がしよんぼり立つてゐる。その物淋しい姿も釣魚台の絕景に点する一ツの風致である。

――

冬山の國ざかひなるいたゝきた搖れまがりつゝ行けるわが汽車

（若山牧水）

鳳凰山遠望

國境の出湯

五龍背温泉

五龍山遠望

鳳凰城

五龍背驛附近

The Goryuhai hot-spring.

The Goryuhai hot-spring, 200 meters east of the station, is situated on the bank of the Saka river flowing at the southern foot of Goryusan the famous mountain in the neighbourhood.

The hot spring is alkaline, transparent and is good for Rheumatism, skin disease, disease of women, hemorrhoids, etc.

There is a calm, natural park there with a lotus pond to angle for carps and gibels, and passes through green-trees.

The spring was discovered by a company commander in Japanes army in the China Japanese War 1895, and now is the most idyllic of the three great springs in Manchuria.

國境の出湯

五龍背の驛の附近は楡や、白楊、アカシアの林があつて、そこを通つて田舍道らしい道路がある。文化都市のマカダム式鋪道や、アスファルト道路をばかり踏んでゐるものにはしみ〴〵土の親しみを感じさせるような道である。

驛から東へ二百二十四米二、そこには五龍背温泉がその附近の名山五龍山の南麓を流れる沙河の畔に湧出してゐる。泉質はアルカリ性、無色透明、リユウマチス、皮膚病、婦人病、痔疾、腺病等によく効く。

温泉場には公園があつて、蓮池を造つたり、そこで鯉や鮒などを釣るようにしたり、綠樹を縫ふて散策の道を開いたり、自然の風物を其儘に仕立てた閑靜なところで、南滿三溫泉中最も野趣深い溫泉である。

今は大正七年來滿鐵の經營するところとなつて、絕えず浴場の改造、新泉の掘鑿等大いに誘客の策を講じてゐるので、四季ともに浴客の足を絕たない。そしてこの溫泉の發見にはこんな挿話がある。

明治廿七年日淸の役にわが五師團第十一聯隊の第九中隊兵站部がこゝに駐屯した時、中隊長が或る朝早く、丘に登つて邊りを見れば、眼近かの田圃から湯氣が立つてゐる。試みにそれを掘ると果然溫泉が噴出した。そこで支那船を徵發し、その底を拔いて地に埋め、それに泉湯を溜めて濁を澄した後、支那甕を風呂として湯を汲みとり、一同征塵を洗つたと云ふ。

やま峽に日はとつぷりと暮れたれば今は湯の香のふかゝりしかも
山ふかく谿の石原しら〳〵と見え來るほどのいとほしみかな
（齋藤茂吉）

鳳凰山（一）

秀麗の峯

鳳凰山（二）

鳳凰山の奥深く取殘された城趾、荒れ果てる儘さなしてゐる城趾、榮えた昔さへ忘られさうな城趾、そこには淋しく虫が鳴いてゐたりする。私は榮枯盛衰の常ならぬことさなしみじみさ思つた。高勾麗がこゝに唐の太宗を攻閉して擊退した、そしてその高勾麗が亡び、幾代か後、明の成祖が百八城の一さして城を築いたのである。しかしその明もいつか滅びてしまつた。それから幾星霜城は既に昔の面影をさめない……。それは高峯の奥深く永遠に朽ち果てゝしまふのであらう。

Mt. Hoo.

Mt. Hoo, south east 5 miles of Hoo-jo, near the frontier of Corea, is an unworldly mountain together with Senzan in Manchuria.
The rocks, at the distant view of it, tower just to the sky as the clouds in summer and it seems to be rather proud of the beauty of rocks than the trees, but also there are the beautiful red-leaves among the mountain and the rustling clear streams through the ravine and the sound of whispering pines on the summit.
Then several old temples and the ruins of a castle stand among the mountain to the summit.
From the summit, the town of Hoo-jo, the prominent city along the Ampo-line, seems to be a small clod.

秀麗の峯

なんといふ壯嚴さであらう?氣高さであらう?鳳凰の美はその偉容にある。ヂッと眺めてゐると水々しい神仙さが自ら胸に迫る。そこに鳳凰山の永久に變らぬ秀麗な崇高さがあるのでないか。

鳳凰山は朝鮮國境に近く、千山と共に滿洲での仙境である。鳳凰城の市街から東南へ八粁、遠く望めば恰も夏の雲がむくむくと湧き起つてゐるように、岩石が群立して見える。それは樹木の美より、岩石の雄を誇つてゐるかのようである。然し近寄れば谷には紅葉の美を藏してゐる、せゝらぐ淸流がある、絕壁の頂上に樹つ松樹に鳴る風籟がある、又山頂へかけて處々古刹があり、城址あり、そのかみ唐の太宗高勾麗を征して、却つてこの山に圍まれ、敗退したといふ昔物語りもある。山は大理石より成り、その山頂に立てば安奉線に沿ふ附近の高原廣濶として展け、靉河の流れは紆餘曲折して細白く光つてゐる。

遙か鳳凰城の街は小さな土塊のやうに見える。この街は安奉線屈指の都邑である。古來東邊の要地として極めて重要視され、光緒の始めまでは商業も繁盛であつたが、近時安東の發展にやゝ後れて、ありし昔の發達を見ることが出來ない。

白は涯もなくつゞく
道のつゞくかぎり微風は吹く
微風の吹くかぎり、道のつゞくかぎり旅人の心は躍る。
歩一歩、人を思ひつつ、旅人は歩む、
白い埃の道にのこされた草鞋の跡、
そこには古き思ひ出の俤が刻まれては消えて行く、
歩一歩、旅人は憂ひつゝ、思ひつゝ、なつかしみつゝ
悲しみつゝ、山を見、雲を見る。
風は忽然として心頭を滅し、道は悠久につゞく、
旅人は風の果を追ふ。

（吉田紘二郎）

鴨綠江大鐵橋

大江を渡る

鴨綠江上の家付筏

江上のジャンク

The Yalu river.

The Yalu river ,500 mile long, empties into the Yellow sea from Mt. Hakutozan with the Kyosenko, the Choshinko, the Konka, the Aika and other many branches, and is disturbed to flow through three rivers named the Joko, the Chuko, and Tsutenkaw which run into one at Sakachin (or Antoken) on the flowing way by sand-bars, and also is separated to the sea by a delta.

Junks, peculiar Chinese vessels, can not sail more than 100 mile up the river, but other small vessels can get to about 250 miles.

大江を渡る

『アラ、チョイ〳〵……』いつまでも賑やかに歌はれる鴨綠江節、その歌と共に知られてゐる鴨綠江、それは朝鮮と滿洲を界に、日滿兩國々境に跨る大江である。遠く白頭山に源を發して途中、虚川江、長津江、渾河、靉河、其他幾多の小流を合はせて流れ、三角洲のため三流となり、それを上江、中江、通天河と名づけてゐる。それが安東縣沙河鎭に來て合流し、再び三角洲のため分流し黄海に注いでゐる。歌には二百里余(八百粁余)とあるが、その實百四十里(五百六十粁)で、滿洲特有のジャンクは上流百六十粁の地點まで溯江することが出來る。尤もそれ以下の小さな船は四百粁近くまで揖艫の便をつないでゐる。又江口は一帶に淺いので、大船巨舶の出入するには不便であるが、幸ひそこに多獅島といふ島があつて、船舶はその島に碇舶して、そこから發動機船や艀船で輸出入貨物の積卸しをしてゐる。

『流す筏はアリヤよけれども、………』の此の鴨綠江は、春の來るのを待つて、夥しい流す筏で賑かである。アラ、チョイ〳〵と歌つてゐるような、そんな悠長さは迚てもなかつたり、又あつたりして幾日も〳〵かゝつて下つて來る筏は、鴨綠江沿岸の森林から伐り出されるのであるが、今ではその源の長白山の密林にまで侵入して伐採をつゞけてゐる。

江上を走るジャンクはその重苦しい帆に滿洲風を孕らませて幾つも〳〵下つて來る。そして時には珍らしい家つき筏も下つて來る。家つき筏は滿洲獨特のもので、長い〳〵江上の生活に、いつかすつかり筏をわが家として終つたものである。その家には鷄や豚まで飼つてゐるのがあるといふ、不思議なほど奇妙な筏である。

支那筏に便乘させて貰ふ事になつた。………

日本筏には一人の筏夫しか乘つてゐないが、驚くべし、支那筏には九人の筏夫が乘つてゐる。大卯子(水先案内)小卯子(筏夫)先生(會計)太師(飯炊)などゝいふ素晴しい名目の人間共が乘つてゐる。發せんとするや、彼等は岩上の水神に三拜の禮をなし、爆竹を鳴らし、「水神老爺、願くば水上無事、安東縣に着けさせ給へ」と、口々に唱ふるも殊勝らしい。

筏は徐々として下り初めた。近頃は鴨綠江も水痩せ石出で、時々筏は江底に刷れて戞然として聲がある。下る一里筏を岸に繋いだ。一時の休息かと思つたら、早や此處に碇泊するのだと云ふ。日本筏は一人で百三、四十里も下るといふに、九人で一日一里とは、さすが大陸國民だけあつて悠長なものである。

(滿蒙探險記深谷松濤)

安東驛プラットフォーム

國境を渡る列車

國境第一驛

The Station of the Frontier.

"Kah-n, kah-n,............"

The bell of our train is ringing, and we are approaching to the station of the frontier.

Perhaps it is the last station to us who have seen all beloved sights of Manchuria. Its very lonesome melody, we can not bear to hear long it.

And our train has gotton to the platform of the An-tung station.

Noisy bustle, and passenger's flood on the platform, there are, instead of bell sounds which have gone away.

"At last, we have be unable to hear that lonesome melody." thinking, we went to the branch office of the customhouse where our hand-baggages were censored.

國境第一驛

大連を出てから何百里、幾十日を要したことか、殆んど南滿洲の地は殘る隈なく行つて終つた。そこには東洋一の埠頭があつた。その昔の淒慘を止める戰跡があつた。白塔があつた。古い城があつた。華麗な陵があつた。恰も山中暦日なきかの如き深奧な山があつた。又鑛山や、製鐵所があつた。そして淡い旅愁を慰める幾つかの温泉があつた。その何れもが青々と連なる高粱の原にあつた。一望無涯の漠々たる高原にあつた。雄大な大陸の上にあつた。鐵道はそこを勇ましく走つてゐた。そして近代文明の恵澤を齎らして行つた。そこに美しい幾多の文化都市は開かれたのである。

かうした滿洲のあらゆる思ひ出を乘せて汽車は走つてゐた。刻々と近づいて行く國境、刻々と離れ去る滿洲、戀しい故國に近づく歡喜と、なつかしい思ひ出を殘す滿洲に、今は別れて行くその悲しみに似た哀愁が、どちらが濃く、どちらが薄くともなく彿々として胸に湧くのである。

カアーン、カアーン……汽車の鐘は鳴つてゐる。國境の驛が近づいたのだ。恐らくそれは名殘惜しい滿洲の最後の驛となるだらう。澄んだ高い空に響くその物悲しい寥々たる韻律、迚ても長く聞いてゐられないような物悲しさである。

と、早くも汽車は安東のプラットに辷り込んだ。いつか鳴り止んだ鐘の音、それに代はる騷々しいざはめき、足音、ゾロ〲ホームを行く夥しい人の流れ。

「アヽ、もうアノ淋しい鐘の音も聞かれないのだ。」

と思ひながら、直ぐ税關檢査所の嚴重な檢閲を受ける。

國境の街

安東新市街全景

江岸埠頭

滿洲人街

The An-tung city.

The An-tung city, 16 knots off the mouth of the Yalu river, is one of the three great ports in South Manchuria with together Dairen and Yingkan, and is famous for abundunt rafts and the largest iron bridge in the East. It is said "the city of wood" where has grown in the distribution centre of flowing rafts, and it possesses the China streets and the new city.

The new city had been commenced to build during the Ruso-Japanese War, and was completed in the regular form with sewers and wharfs, since Japanese had resided there 1904.

The China streets, on the confluent bank of the Saka and the Yalu, is called Saka-Chin or Antoken and is active in trade with Corea.

國境の街

國境の街、安東は朝鮮を經由して滿洲に入るものには最初の街であるが、大連を經て既に南滿一帶を旅して來たものには、名殘り惜しい滿洲で見る最後の街である。

それは大連、營口と並んで南滿三港の一とされ、市街は鴨綠江口を溯る二十八粁の地点にある。筏と東洋一の大鐵橋とによつて有名なほど、流す筏の集散市場として發達して來た「木の都」である。市街は滿洲街と新市街とに分れ、新市街は日露戰役中に開拓されたもので、明治三十七年に日本人の入市を見たが、爾來銳意市街建設に努め、排水、築堤の工事を竣り、碁盤目形の整然たる市街を建設した。市場通りは安東市中最も繁華な通りで、排水溝の完備した点や、道路の淸潔さが一極目立つのである。

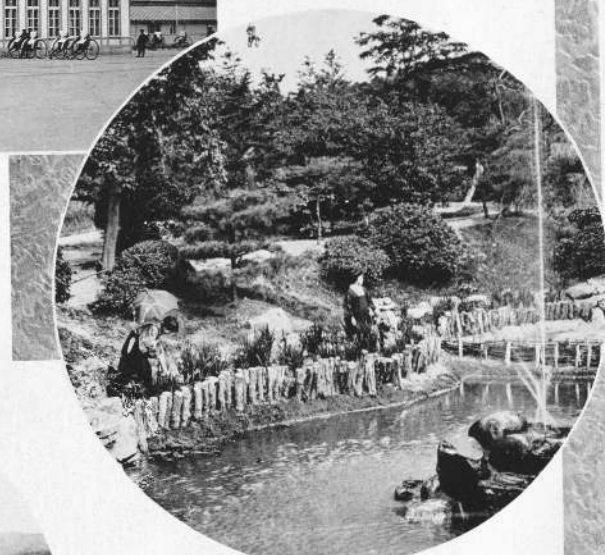
埠頭は江淺く吃水一米二以上の汽船の出入困難な爲め、多くは發動機船、艀船、ジャンクのみであるが、それでも重要物產の集散地として非常な賑ひを呈してゐる。

滿洲街は沙河鎭と呼ばれ、即ち安東縣である。沙河と鴨綠江の合流点にあり、朝鮮地方との貿易が盛んに行はれ、ジャンクの輻輳最も頻繁である。殊に鴨綠江鐵橋の開通により、急激な發展を示し、商賈の取引盛んに行はれ、滿洲主要都市で見る滿洲街以上の堂々たる百貨店などがある。概して安東は國境の街として永住氣分の濃厚な、親しみ深い市街である。

久方の空はろかなり鴨綠の流れのはてに低き山一つ　（鳥木赤彥）

安東素描

鎮江山公園

安東停車場

鎮江山公園

天后宮

安東ホテル

An-tung and its neibourhood.

The Chinkozan Park is the hill behind the new city of An-tung. It is a suitable strolling place in the neighbourhood of the city and is a well-accommodated park under the management of the S. M. R.

There is the monument to the loyal deads of 1080 Japanese soldiers who were bravely killed in the Russo-Japanese War at the hillside.

The mountain of Gempozan, 200 metre high northeast of An-tung, is "the An-tung Fuji" in another name, and possesses a fine view of the An-gi plain on the top.

The An-tung station, 95o kilometres off Fuzan, 580 kilo. off Changchun and 640 kilo. off Dairen is the Corean style building to be strange against the station of Changchun and Mukden.

安東素描

鎮江山公園　安東新市街の背後にある小高き丘で、安東の市街からは適當な郊外散策地である。滿鐵會社が公園として開拓し、諸種の設備を施してゐる。丘の上から安東市街は一望の下に俯瞰され、鴨綠江の流れと、それに沿ふ龍巖浦や三道浪頭の諸港が眺められ、尙ほ遠く白馬山を望むことが出來る。それは滿洲へ初めて入るものにも、滿洲を去るものにも非常に感慨深い國境を渡る氣分の濃厚な眺めで、「滿洲八景の隨一」と稱へられるのも偶然ではない。夏の來る頃、園內の樹木はすつかり若葉の裝ひを凝らして、靜かな池の緣に咲く菖蒲の色に懷かしい內地のことが偲ばれたりする。又その山腹に日露の陣歿者千八十余名の靈灰を納めた表忠碑がある。

元寶山　安東の東北にあり、一に安東富士と云はれ海拔百八十一米八。山上より安義一帶の平野を展望することが出來る。山腹は天然の公園を成し、その麓に滿洲寺天后宮あり、寺內に關帝廟がある。

安東驛と安東ホテル　安東驛は釜山から九百五十粁。長春から五百八十粁。大連から六百四十粁である。驛の建築物は長春や奉天、ハルビン等の驛を見た眼には一風變つたものである。けれどその前の安東ホテルを見た時、流石は滿鐵一方の大玄關に立つホテルであることを思ふ。

鎮江山に上り禪宗妙心寺を訪うた。此處は、樹木が多く山門もあり、何だか日本の寺院の樣な氣がする。尙ほ此處から下を見ると、安東の市街は固より、近く鴨綠江の流れて居る所から、附近一帶の狀態が手に取る樣に見える

これから更に支那市街を見物したり、支那書籍あさりなどした。近いうちに仲秋十五夜の名月が來るから、菓子屋の店頭には月一餅と云ふ菓子を色紙に包んで賣つてゐるのは面白い。

（文學博士鳥井龍藏）

鴨綠江氷上運動會

吹雪の中を行く江上の橋

鴨綠江鐵橋の正面

夏の鴨綠江

結氷せる江上の交通

The Largest Iron Bridge.

The largest iron bridge in the For East, acrossing the Yalu river between the Antung station in Manchuria and the Shingishu in Corea, is 3098 feet long with 12 trusses and a train runs through the side-ways each 8 feet wide on it. It was paid ¥2,390,000. to finish in October 1911 since August 1909.

At that time, a middle span 300 feet long is opended for an hour four times a day, abundant junks which have been waiting there sail up and down the river with rush. The sight is very rare.

But now this sight canrit found there for the middle span is forbidden to open after April, 1934.

國境に跨る

東洋一の大鐵橋は滿洲安東驛と、朝鮮新義州驛との中間鴨綠江に架つてゐる。洵、それは國境に跨つてゐるのである。全長三千九十八呎、十二のトラスを連ね、中央に鐵道を通じ、兩側に幅八呎の步道を設けてゐる。明治四十二年八月起工、四十四年十月竣工したもので、總工費二百三十九萬圓を要した。それに中央三百呎の橋桁が每日四回、各一時間づゝ十字形に開放する。東洋一を誇るも無理はない。そして、その時まで、その開放を待つてゐた多くのジャンクは、それッ！とばかりに航行する。それは此處でなければ見られない珍らしい光景である。

然し近年帆柱を倒すことの出來る船が多くなつたので、時間外にも橋下を潜つて自由に航行する船が多く、開閉橋の開閉を利用するものが漸減して、最近では殆んどその必要を認められなくなり、遂に昭和八年四月をもつてその開閉は中止された。時代の變遷の然らしむるところ又止むを得ないとは云へ久しく鴨綠江の名所として、國境風景を飾つてゐたその開閉の今後再び見られないことは誠に惜しいことである。

鴨綠江は每年十一月から翌年二月まで結氷するので、結氷すればその上でスケート大會など冬らしい運動會が催される。殊に氷上には幾筋かの橇の道が造られ、却つて船の航通よりも便利な橇の交通が開かれる。安東などはこの季に地方から出る大豆、豆粕、米等の橇による輸送で、貨物取引が最も繁忙を極めるのである。吹雪の中を雪靴を履いて、眼ばかり出した橇を牽く人、それに乘つてゐる人が右往左往してゐるのは、冬だつて決して衰へない、否寧ろ盛んとなる滿洲の活動を物語つてゐる。

因みに鴨綠江の鐵橋を渡れば、標準時の關係で時計の時間を改める。滿洲へ渡ると一時間遲らせ、朝鮮へ渡ると一時間進めるのである。

神功皇后征韓の際に新羅王忽ち降服して、たとへ河の砂が天に上つて星とならうとも、阿利那禮河の水が逆に流れることがあらうとも、決して朝貢を絶つ事は致さぬと誓約した。當時新羅王が誓に立てた河ならば、いづれ洛東江あたりのものであらうと思はれるが、此の鴨綠江の名がアリナレに似てゐるのは面白い。ナレは朝鮮古語で河の義であるは勿論だが、アリは或は大の義を示す語であつたのではなからうか、もとアリに近い音の語があつて、それが河についてアリナレ河とも訛り、ことに鴨綠江の名を遺してゐると解して見たい氣がする。

（文學博士喜田貞吉）

△滿洲の展望▽

昭和九年八月一日　印刷
昭和九年八月十日　發行

編輯兼印刷者　和歌山市小松原通一丁目五番地　山崎鋆一郎

印刷所　和歌山市小松原通一丁目五番地　大正寫眞工藝所

發行者　和歌山市小松原通一丁目五番地　山崎鋆一郎

發賣所

大連浪速町一三八番地　大阪屋號書店　振替大連五五番　電話(代表)五一八八八番

本店　東京市日本橋　振替東京一三七五番　三七三七番　三六八九番　電話㉔四五三五番

同　大連常盤橋　振替大連二二七番　電話六一五〇番　六一五三番

同　旅順青葉町　振替大連八五番　電話三五一番

同　奉天(銀座)春日町　振替奉天三三一番　電話二五二九番　四二七五番

同　新京中央通　振替大連三八〇三番　電話二三二一番

同　京城本町二丁目　振替京城二五七三番　六八四番　電話本局二〇八六番